

Sitecore CMS 6.6

コンテンツオーサーリファレンス& クックブック

Sitecoreのコンセプト概要と活用のための実践ガイド

目次

Chapter 1	イントロダクション	5
Chapter 2	Sitecore	6
2.1	ログイン	7
2.2	ロールと機能	8
2.3	アイテムのロック	9
2.3.1	ページエディターでのアイテムのロック	9
	最小限の機能のページエディター	9
	限定機能のページエディター	9
	アイテムのロック解除	10
2.4	書式設定	11
Chapter 3	ページエディターを使用したコンテンツ管理	12
3.1	ページエディター	13
3.2	ページエディターでアイテムを編集する	15
3.2.1	シンプルテキストフィールドを編集する	15
3.2.2	リッチテキストフィールドを編集する	16
	リンクを挿入する	17
	画像を挿入する	18
	画像またはファイルをアップロードする	19
3.2.3	リッチテキストエディターでリッチテキストフィールドを編集する	21
3.2.4	ページエディターで Word フィールドを編集する	22
	Word フィールドを構成する	22
	Word フィールドを編集する	24
3.2.5	画像アイテムを編集する	26
	画像のリンクを編集する	26
	画像を変更する	27
	画像の外観を変更する	28
3.2.6	ページをプレビューする	28
3.3	ページエディターで新規アイテムを作成する	32
3.3.1	アイテムを挿入する	32
3.4	コンテンツの削除	34
3.4.1	アイテムを削除する	34
3.5	アイテムにプロファイル値を割り当てる	35
Chapter 4	コンテンツエディターでのコンテンツ管理	37
4.1	コンテンツエディター	38
4.1.1	ページエディターとコンテンツエディター	38
4.1.2	コンテンツツリー	41
	コンテンツツリーで検索する	41
	抽出条件を追加する	42
	追加の抽出条件を削除する	43
4.1.3	コンテンツエディターでロックする	44
	アイテムをロックする	44
	アイテムをロック解除する	45
4.2	コンテンツエディターでアイテムを編集する	47
4.2.1	コンテンツエディターでリッチテキストフィールドを編集する	47
4.2.2	コンテンツエディターで Word フィールドを編集する	49
4.2.3	画像を使う	51
	画像フィールドの画像を変更する	51
	画像をアップロードする	52

画像のプロパティを編集する	52
画像を編集する	53
4.3 コンテンツエディターで新規アイテムを作成する	55
4.3.1 新規アイテムを作成する	55
サブアイテムを挿入する	55
4.3.2 既存のアイテムを複製する	57
アイテムを移動する	58
4.3.3 アイテムを他の場所にコピーする	59
4.3.4 テンプレートをもとにアイテムを作成する	60
変更をプレビューする	62
4.4 コンテンツエディターでアイテムを削除する	63
4.4.1 アイテムを削除する	63
4.5 アイテムのクローン	64
4.5.1 アイテムのクローンを作製する	64
4.5.2 クローンとオリジナルアイテムはどのように作用するか	65
4.5.3 子アイテムのクローン	68
4.5.4 クローンとバージョン管理	69
オリジナルアイテムに新しいバージョンを追加する	69
オリジナルアイテムのバージョンを削除する	70
4.5.5 アイテムをクローン解除する	70
4.5.6 オリジナルアイテムを削除する	71
4.5.7 クローンとワークフロー	71
4.5.8 __Source フィールド	72
4.6 アイテムにプロファイル値を割り当てる	73
Chapter 5 リッチテキストエディター	75
5.1 リッチテキストエディターを使う	76
5.1.1 テキストの編集	76
Word からコンテンツを貼り付ける	76
5.1.2 リンクの挿入、削除、管理	76
内部リンクを挿入する	76
外部リンクを挿入する	77
ハイパーリンクの管理	78
リンクを削除する	79
Chapter 6 メディアライブラリ	80
6.1 概要	81
6.1.1 メディアライブラリを開く	81
6.2 メディアライブラリのユーザーインターフェース	82
6.2.1 メディアライブラリで新しいフォルダーを作成する	83
6.3 メディアファイルをアップロードする	84
6.3.1 ファイルのアップロード	84
6.3.2 ファイルのアップロード (複数 - 高度な設定)	85
複数のファイルをバッチアップロードする	87
6.3.3 ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードする	88
6.4 メディアアイテムを編集する	92
6.4.1 メディアファイルとメディアアイテム	92
6.4.2 イメージエディター	92
メディアブラウザー	93
6.4.3 編集のオプション	93
6.4.4 メディアアイテムの編集にドラッグ&ドロップを使用する	95
ドラッグ&ドロップアプリケーションオプション	95
ドラッグ&ドロップウィンドウからファイルを編集する	96
6.5 メディアアイテムとバージョン管理	98

6.5.1	バージョン管理されたメディアアイテムとバージョン管理されたメディアファイル	98
6.5.2	メディアアイテムのバージョン 2 を作成する.....	99
6.5.3	バージョン管理可能なメディアファイルを使う	100
	ドラッグ&ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する.....	100
	アップロード (複数 - 高度な設定) を使ってアイテムをバージョン管理可能に設定する	101
Chapter 7	RSS フィード	102
7.1	RSS フィード.....	103
7.1.1	RSS フィードを設定する.....	103
	アイテムがもとになっているテンプレートを識別する	108
7.1.2	RSS フィードへのリンクを作成する	109
	RSS フィードをプレビューする	110
	さらに複雑なシナリオ	110
7.1.3	RSS フィードを購読する.....	111
7.2	Sitecore クライアントフィード.....	114
7.2.1	アイテムフィード	114
	Sitecore ワークフローフィード	116
	RSS フィードを使う.....	117
7.3	セキュリティとクライアント RSS フィード	119
Chapter 8	コンテンツエディターのワークフロー.....	120
8.1	ワークフロー	121
8.1.1	ワークフローを実装する	121
8.1.2	ワークフローを使う.....	122
	ワークフローに沿ってコンテンツアイテムを送信する	122
8.2	ワークボックス	126
8.2.1	ワークボックスを使用する.....	126
8.2.2	複数のワークフロー	128
Chapter 9	インターフェースのカスタマイズ.....	129
9.1	ブラウザを使う	130
9.1.1	全画面表示モード.....	130
9.1.2	Sitecore デスクトップ	130
	デスクトップの背景を変更する	130
	パスワードを変更する	132
	個人情報を変更する.....	132
	地域および言語オプションを変更する.....	133
	デフォルトの設定を使う.....	134
9.2	コンテンツエディターをカスタマイズする.....	135
9.2.1	リボンをカスタマイズする	135
	リボンを非表示にする	135
	タブを非表示にする	135
	自分用のツールバーを作成する	136
9.2.2	コンテンツツリーをカスタマイズする.....	137
	コンテンツツリーを非表示にする.....	138
	コンテンツツリーのサイズを変更する.....	138
	クイックアクションバーを構成する.....	138
9.2.3	アプリケーションオプションを変更する	140
	アイテムの表示名を設定する	143
9.3	ページエディターをカスタマイズする	144
9.3.1	リボンを使う.....	144
	リボンを非表示にする	144
	インターフェースを変更する.....	144

Chapter 1

イントロダクション

コンテンツオーサークックブックはコンテンツ作成者が Sitecore CMS を使用して日々の業務を行う際に必要な情報を提供するように制作されています。このクックブックは基本的なコンピューター知識のみをもつコンテンツ作成者を対象として Sitecore が備えるツールの使用に関して解説することを主な目的としています。しかし、この文書で解説されている内容は、経験とテクニカルスキルを備えたコンテンツ作成者であっても、Sitecore の提供するツールに関しては知識のない方には有益です。

コンテンツ作成者は組織の Web サイトまたはイントラネットの既存のコンテンツを更新したり、新規のコンテンツを作成したりする必要があります。このクックブックはそれらの作業をページエディターとコンテンツエディターという Sitecore の 2 つのツールを使用して実行するための方法を説明しています。またこれらのツールを使用して既存のアイテムを編集したり、新規のアイテムを作成したりする具体的な方法について解説します。また Sitecore が備えるさらに進んだ使用法や機能についても紹介します。

このコンテンツオーサークックブックには次の章があります：

- **Chapter 1—イントロダクション**
この章はこのマニュアルの内容、目的、対象とする読者について説明します。
- **Chapter 2—Sitecore**
Sitecore の基本的な機能について紹介します。これにはアイテムのロックや書式設定などがあります。
- **Chapter 3—ページエディターを使用したコンテンツ管理**
ページエディターを使用してコンテンツを作成し編集するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 4—コンテンツエディターでのコンテンツ管理**
コンテンツエディターを使用してコンテンツを作成し編集するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 5—リッチテキストエディター**
同一アイテムの異なるバージョンおよび同一アイテムの異なる言語バージョンを作成するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 6—メディアライブラリ**
メディアライブラリを使用するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 7—RSS フィード**
RSS フィードを作成するための具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 8—コンテンツエディターのワークフロー**
ワークフローを作成して使用するの具体的な手順について解説しています。
- **Chapter 9—インターフェースのカスタマイズ**
コンテンツを Web サイトにパブリッシュするための具体的な手順について解説しています。

Chapter 2

Sitecore

この章では Sitecore の基本的な機能について紹介します。この章ではログインの方法、アイテムのロックの仕組みについて説明します。またロールによって Sitecore CMS で利用できる機能がどのように異なるかについても解説します。

この章には次のセクションがあります。

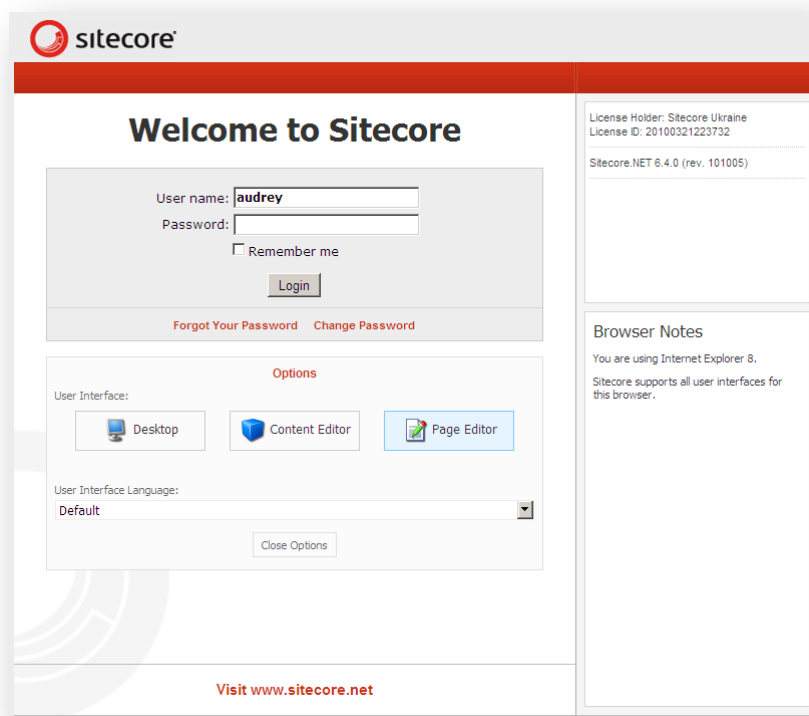
- ログイン
- ロールと機能
- アイテムのロック
- 書式設定

2.1 ログイン

Web サイトのコンテンツを編集するためには Sitecore にログインする必要があります。

下記の手順に従って Sitecore にログインします：

1. 編集する Web サイトの名前に続けて Sitecore と入力します。たとえば、<http://www.mywebsite.net/sitecore> と入力すると、ログイン ページが表示されます：



2. 実行するタスクを選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。ログインすると Web サイトの編集を開始できます。
3. 使用するユーザーインターフェースを選択し、ユーザー名とパスワードを入力し、[Login] をクリックします。ログインすると Web サイトの編集を開始できます。

メモ

このマニュアルではデモサイトとして Sitecore のトレーニングサンプルサイトを使用します。

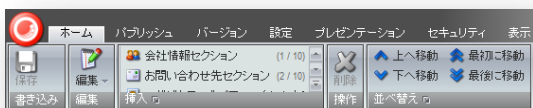
Internet Explorer で Sitecore を構成する

Internet Explorer で Sitecore クライアントの構成上の問題が発生した場合には、<http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese.aspx> から『Internet Explorer 構成リファレンス』を参照してください。

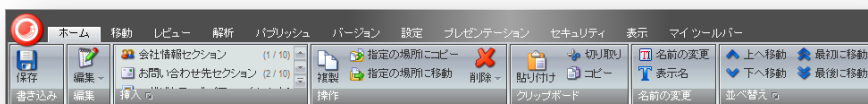
2.2 ロールと機能

Sitecore は経験の豊富なコンテンツ作成者と経験の少ないコンテンツ作成者のどちらにとってもふさわしいツールを備えています。コンテンツエディターは経験の豊富なユーザーのための編集ツールです。しかしユーザーに割り当てられているロールによっては、そのユーザーが利用できる機能はこの文書での説明と異なる場合があります。

たとえば、あるロールを割り当てられているユーザーはコンテンツエディターで次のようなりボンとなる場合があります。



一方、別のロールを割り当てられているユーザーはコンテンツエディターで多くの機能を持つ次のようなりボンとなる場合があります。



さらに、Sitecore デスクトップにログインした場合、Sitecore メニューに表示されるアプリケーションの種類はユーザーに割り当てられているロールによって異なる場合があります。次の画面例は異なるロールを割り当てられた 2 人のユーザーの Sitecore メニューを示しています。



2.3 アイテムのロック

同時に 2 人のユーザーが同一アイテムを編集しないようにするために、Sitecore はアイテムのロック機能を使用します。何らかの理由により同時に 2 人以上のユーザーが同一アイテムを編集した場合には、最後に [保存] をクリックしたユーザーによる変更のみが保存され、他のユーザーによる変更は失われます。

編集するアイテムが他のユーザーによって同時に編集されることを防ぐためには、そのアイテムをロックします。編集が終了した後に、そのアイテムをロック解除します。

アイテムのロックの動作は使用するツールによって異なります。

- ページエディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「可能」です。
- コンテンツエディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「必要」です。

2.3.1 ページエディターでのアイテムのロック

ページエディターでのアイテムのロックの動作は割り当てられたアクセス権によって異なります。

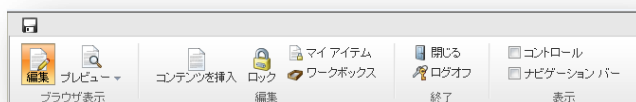
最小限の機能のページエディター

最小限の機能のページエディターのみアクセス権をもつ場合、リボンにアクセスすることはできず、編集前に手動でアイテムをロックすることはできません。対象のアイテムがすでにロックされている場合には、そのアイテムを編集することはできません。

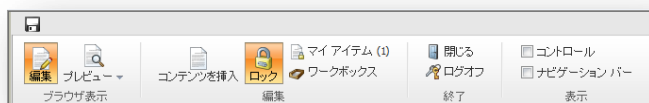
限定機能のページエディター

限定機能のページエディターのアクセス権をもつ場合、アイテムをロックすることなく直接、編集することが可能です。アイテムを保存するときに Sitecore がそのアイテムをロックします。対象のアイテムがすでにロックされている場合には、そのアイテムを編集することはできません。

アイテムを編集する前に [ロック] をクリックして、手動でアイテムにロックをかけることが可能です。



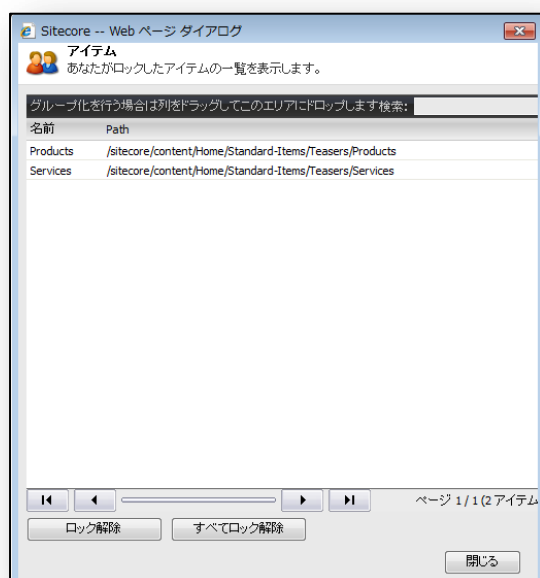
アイテムをロックした場合には、それをリボンの[マイアイテム] ボタンから確認することが可能です。この画面例ではユーザーは 1 つのアイテムをロックしています：



アイテムの編集が終了した後に、必ずロック解除を行い、他のユーザーが編集可能であるようにしておく必要があります。

アイテムのロック解除

ロックしたアイテムのロック解除を忘れずに行う必要があります。アイテムをロック解除するためには、アイテムを選択して [ロック] をクリックします。多くのアイテムをロックして編集した場合、詳細が分からなくなる場合もあります。自分がロックしているアイテムを確認するためには、[編集]グループで [マイアイテム] をクリックします。



[マイアイテム]ダイアログボックスは自分がロックしたすべてのアイテムを一覧表示します。

1 つまたは複数のアイテムをロック解除するためには、アイテムを選択し [ロック解除] をクリックします。すべてのアイテムのロック解除をするためには、[すべてロック解除] をクリックします。

2.4 書式設定

Sitecore では Web サイトに表示されるコンテンツの書式設定は通常は、システム管理者、デザイナー、プログラマーなどによって定義される Web サイトのスタイルシートに制御されます。

コンテンツ作成者は作成するページが閲覧者にどのように表示されるかということにあまり気を使わずに、コンテンツの品質に集中することができます。

テキストを太字にしたり斜体にしたりなどのスタイルの変更を行うことは可能です。さらに、HTMLの知識がある場合は、コードを編集してコンテンツの表現を操作することも可能です。一般に、コンテンツ作成者は表示されるべき素材に集中ことができ、書式設定に関してはあまり気に留める必要はありません。

Chapter 3

ページエディターを使用したコンテンツ管理

この章ではページエディターとその機能について紹介します。シンプルテキストフィールドとリッチテキストフィールドを編集する方法など、既存のアイテムの編集方法について詳細に説明します。ページエディターで画像を管理する方法についても説明します。新規のアイテムを作成する具体的な手順についても解説します。

この章には次のセクションがあります。

- ページエディター
- ページエディターでアイテムを編集する
- ページエディターで新規アイテムを作成する
- コンテンツの削除
- アイテムにプロファイル値を割り当てる

3.1 ページエディター

一般にコンテンツ作成者は、Web サイトのデザインやスタイルやレイアウトではなく、サイトに表示する素材の品質と正確性に集中します。このため、多くのコンテンツ作成者はこの要件を満たすプログラムで業務を行うことを好みます。これは Web サイトを作成する開発者やデザイナーの要件とは異なります。

この要件を満たすため、Sitecore CMS ではコンテンツ作成者は、ページエディターを使用して Web ページ上で直接アイテムを編集したり作成したりすることが可能です。ページエディターは Sitecore が備える最も簡易な編集用のツールです。経験の少ないコンテンツ編集者がページ上で直接コンテンツアイテムを編集したり書き込んだりするためのツールです。WYSIWYG (What You See Is What You Get) エディターであり、ユーザーに提供される機能は限定的です。

ページエディターにログインすると、割り当てられたセキュリティロールによって、またアクセスする Web サイトで行われているカスタマイズによって、利用できる機能が異なります。

ページエディターにログインすると Web ページの上部にリボンが表示されます：





最も少ない場合には Web ページの上部に次の画面例のようなボタンがあります：



さらに多くのアクセス権がある場合には、コマンドのリボンを使える場合があります。たとえば、下記の例のようなリボンが表示されます：



リボンがどのような状態の場合でも、左上の隅には必ず [保存] ボタンがあります。

アイテムの編集中にリボンのトグルボタンをクリックすると、一時的にリボンを非表示にして作業スペースを広くとり、少し簡潔なレイアウトにすることができます。再びリボンのトグル ボタンをクリックすると、リボンを再表示します。

ページエディターの持つすべての機能へのフルアクセス権をもっている場合には、すべてのタブをリボンから使用することができます：



このリボンには 4 つのタブがあり、タブのそれぞれがコマンドの集合になっています。

3.2 ページエディターでアイテムを編集する

ページエディターは、ページ上で編集を直接行うコンテンツ作成者のためのツールです。

ページエディターはページ上で直接変更を確認することのできる WYSIWYG エディターです。これにより、経験の少ないユーザーでも自分の担当するコンテンツアイテムに行った変更点を管理することが容易になります。

ページエディターでは次のものを編集することが可能です：

- 単純テキストフィールド、複数行テキストフィールド、日付フィールド、リンクフィールド。
- リッチテキストフィールド：リッチテキストエディターで編集できるフィールド。
- Word フィールド：Microsoft Word で編集できるフィールド。
- メディアアイテム：各種の画像アイテムまたはサウンドファイル。

ページエディターでは現在のアイテムのフィールドだけでなく、ページ上にレンダリングされている任意のアイテムのフィールドを編集することが可能です。たとえば、ページ上のメニューに製品アイテムのタイトルが含まれている場合、製品アイテムに移動することなくそのタイトルを編集することが可能です。



メモ

このマニュアルに記載されているすべての手順では、デモサイトとして Sitecore のトレーニングサンプルサイトを使用します。

3.2.1 シンプルテキストフィールドを編集する

シンプルテキストフィールドを編集する手順：

1. ページエディターにログインします。
2. 編集するアイテムに移動します。

3. アイテムの中で、編集するシンプルテキストフィールドを選択します。



4. ページ上でテキストを直接編集します。テキストフィールドは入力したテキストに適合するように自動的に拡大します。
5. テキストの編集を終了した後は、別のテキストブロックの編集を行うか、または [保存] をクリックして変更を保存し、編集モードを終了することができます。または [閉じる] をクリックしてアイテムを閉じることも可能です。ページ上で変更を行った場合には、次のようなダイアログが表示されます：

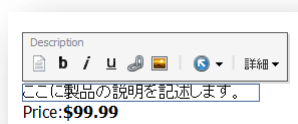


3.2.2 リッチテキストフィールドを編集する

リッチテキストフィールドを使うと Web ページ上でテキストをどのように表示するかをさらに詳細に制御することができます。

リッチテキストフィールドを編集する手順：


1. リッチテキストフィールドを選択すると Sitecore は追加の選択肢を表示します。



メモ

フローティングツールバーで使用できるオプションは、実行している Sitecore CMS のバージョンによって異なる場合があります。

テキストをページ上で直接、またはリッチテキストエディターで編集することが可能です。

テキストをページ上で直接編集するためには、編集する行をクリックして入力を始めることができます。リッチテキストエディターを使ってテキストを編集するためには、テキスト編集ボタン  をクリックします。

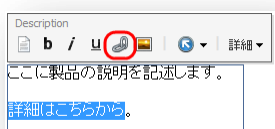
2. ページ上で直接リッチテキストフィールドを編集する場合には、テキストを編集するだけでなく、その書式設定を行うことも可能です。テキストを太字にしたり、斜体にしたり、下線を引いたりすることが可能です。

リンクや画像やアイテムを挿入することも可能です。

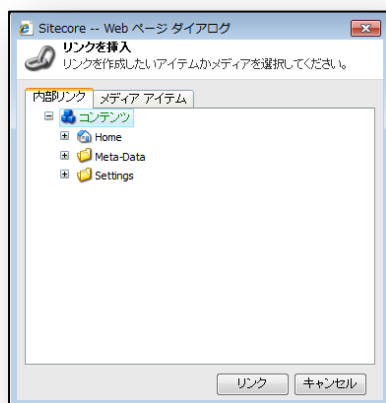
リンクを挿入する

リッチテキストフィールドにリンクを挿入する手順：

1. リンクボタン  をクリックします。

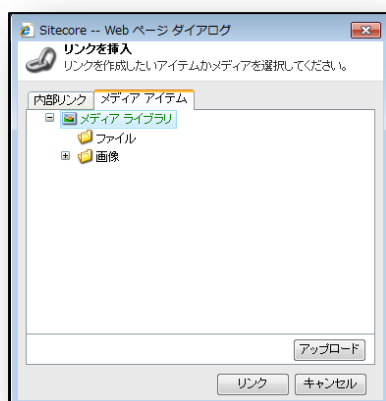


[リンクを挿入] ダイアログ ボックスが開きます。



2. [リンクを挿入] ダイアログボックスでコンテンツツリーを展開し、リンクの作成先とするアイテムを選択します。
3. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。


4. リンクの作成先とするアイテムが画像またはメディアファイルである場合、[メディアアイテム] タブをクリックします。

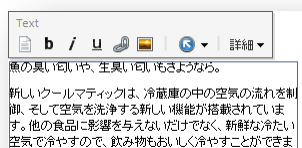


5. コンテンツツリーを展開し、リンクの作成先とするメディアアイテムを選択します。
6. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。

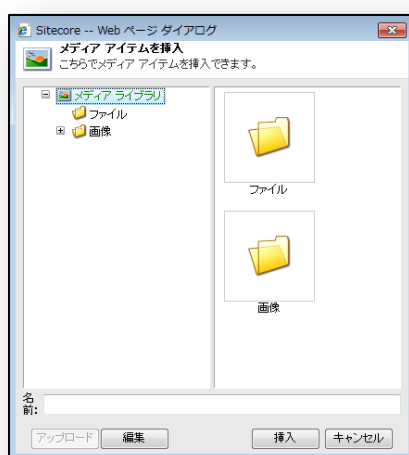
画像を挿入する

編集しているリッチテキストフィールドに画像を挿入する手順:

1. 画像の挿入ボタンをクリックします。



[メディアアイテムを挿入] ダイアログ ボックスが開きます。



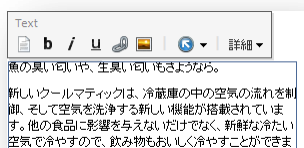
2. コンテンツツリーを展開し、挿入する画像またはメディアアイテムを選択します。
各種のメディアをアイテムに挿入することができます。アニメーション、フィルムクリップ、サウンドファイルなどを挿入することが可能です。
3. [挿入] をクリックしてリッチテキストフィールドに画像を挿入します。

画像またはファイルをアップロードする

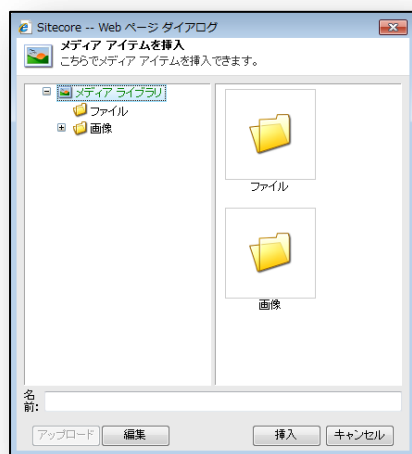
使用するメディアファイルがメディアライブラリに存在しない場合には、メディアライブラリにアップロードする必要があります。

画像またはファイルをメディアライブラリにアップロードする手順:

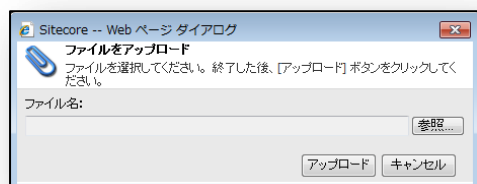
1. ページエディターで画像の挿入ボタンをクリックします:



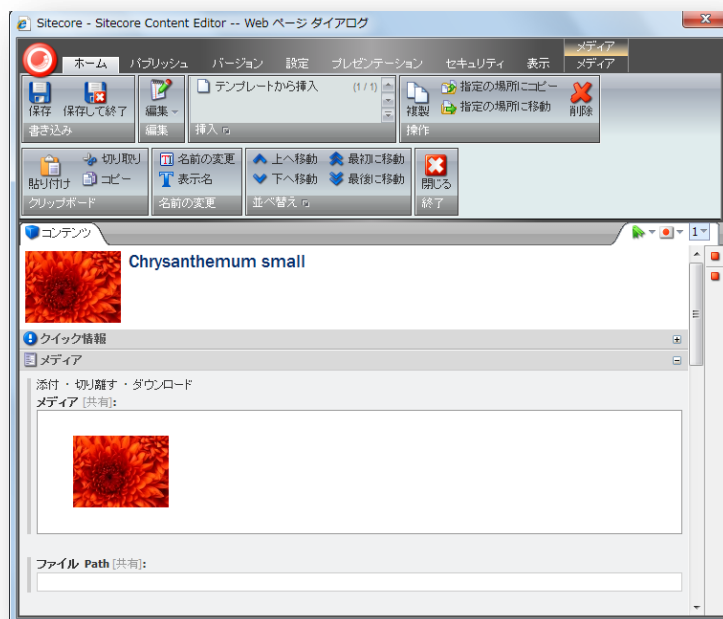
[メディアアイテムを挿入] ダイアログボックスが開きます。



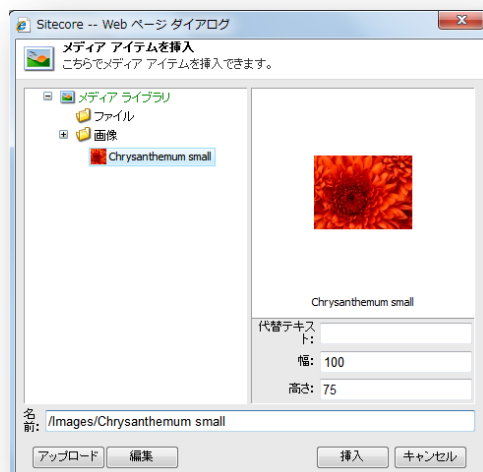
2. [メディアアイテムを挿入] ダイアログボックスで [アップロード] をクリックすると、[ファイルをアップロード] ダイアログボックスが開きます。



3. [ファイルをアップロード] ダイアログボックスで [参照] をクリックして、使用するファイルを検索します。ファイルを選択して [開く] をクリックします。[コンテンツエディター] ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで画像をロックして保存する必要があります (画像以外の他のアイテムでも同様です)。



4. [保存して閉じる] をクリックした後に、メディアアイテムはメディアライブラリにアップロードされます。

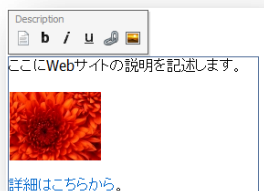


メディアファイルがメディアライブラリで利用可能となると、そのファイルへのリンクを作成したり、それを使って Web サイトに画像を挿入したりすることができます。

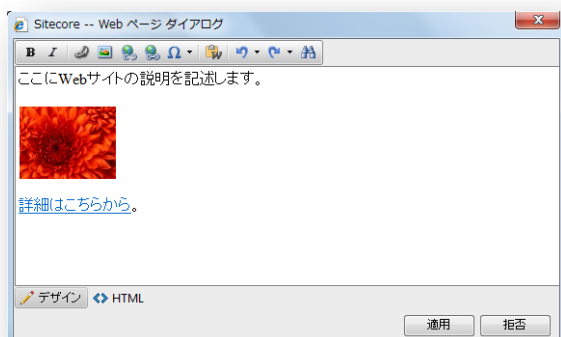
3.2.3 リッチテキストエディターでリッチテキストフィールドを編集する

リッチテキストエディターでリッチテキストフィールドを編集することも可能です。

1. 編集するリッチテキストフィールドを選択します。



2. テキスト編集ボタン  をクリックしてリッチテキストエディターでテキストを開きます：



3. このウィンドウでアイテムを編集することができます。

リッチテキストエディターではインライン編集よりもさらに多くの機能を使用することができます。次のことを行うことが可能です：

- Web サイトの他のパーツ、または外部の Web サイトへのリンクを挿入または削除する。
- 画像または他のメディアアイテムを挿入する。
- テキストにシンボルを挿入する。
- Microsoft Word からテキストをアイテムに貼り付ける。

必要であれば、Microsoft Word を使用してテキストをアイテムに書き込んだり、それをリッチテキストエディターに貼り付けたりすることも可能です。

- アイテムのテキストを検索したり置換したりする。
- 行った操作を元に戻す、または再実行する。

4. リッチテキストエディターでアイテムの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存します。

さらに HTML の知識があり、テキストを HTML フォーマットで編集する場合には、アイテムを HTML フォーマットで表示することも可能です。

メモ

Sitecore のシステム管理者がリッチテキストエディターで利用可能な機能を制御します。さらに機能が必要な場合には、システム管理者に依頼してください。

リッチテキストエディターについての追加情報は、Chapter 5「リッチテキストエディター」を参照してください。

3.2.4 ページエディターで Word フィールドを編集する

Sitecore はテキストエディターとして Microsoft Word の使用もサポートしています。Word に親しんでいるユーザーは長文のコンテンツの編集に Word の使用を好む場合があります。Word フィールドは Web サイトを作成する開発者がテンプレートで定義します。

ページエディターで Word フィールドを編集することが可能です。

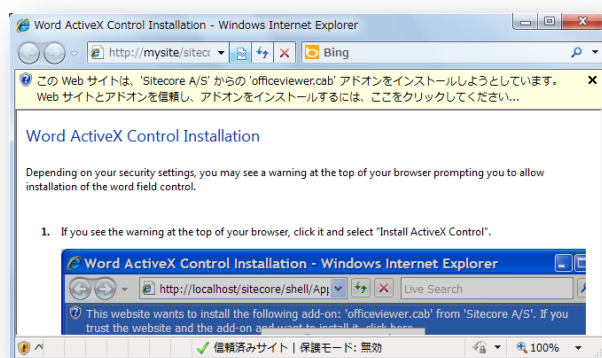
重要

Sitecore で Word フィールドを編集するためには、Microsoft Word 2007 がインストールされている必要があります。

Sitecore Word フィールドは Internet Explorer 7 以降のみでサポートされます。

Word フィールドを構成する

Internet Explorer 8 を使用している場合、最初に Sitecore で Word フィールドにアクセスする際に、セキュリティ設定のためにページ上の ActiveX コントロールを実行できないというエラーメッセージが表示される場合があります。

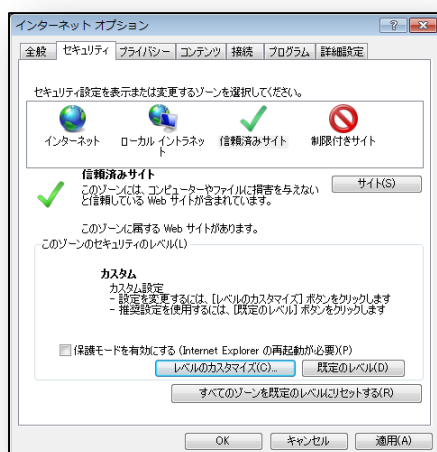


その場合には、Sitecore の Word フィールドをサポートするように Internet Explorer を構成する必要があります。

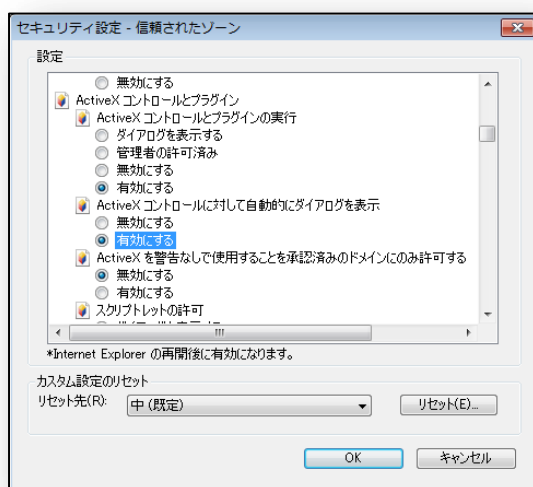
Word フィールドをサポートするように Internet Explorer を構成する手順:

1. Internet Explorer のインスタンスを 1 つだけ開いていることを確認します。

2. Internet Explorerで [ツール] をクリックし (またはALT-T)、次に [インターネットオプション] をクリックします。



3. [インターネットオプション] ダイアログボックスで [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックします。
4. [このゾーンのセキュリティのレベル] セクションで [レベルのカスタマイズ] をクリックすると [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログボックスが表示されます。



5. [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログボックスの [設定] セクションで、[ActiveX コントロールとプラグイン] ノードまでスクロールします。
6. [ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示] セクションで、[有効にする] をクリックします。
7. [OK] をクリックして変更を承諾します。

これで Sitecore から Word フィールドにアクセスすると、ActiveX コンポーネントをインストールするようにダイアログが表示されます。



8. [インストールする] をクリックしてコンポーネントをインストールします。

コンポーネントがインストールされた後に、Word を使用してフィールドを編集することが可能です。

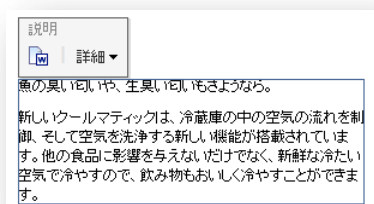
メモ

この ActiveX コンポーネントをインストールした後に、行った変更をやり直して元のセキュリティ設定に戻してください。

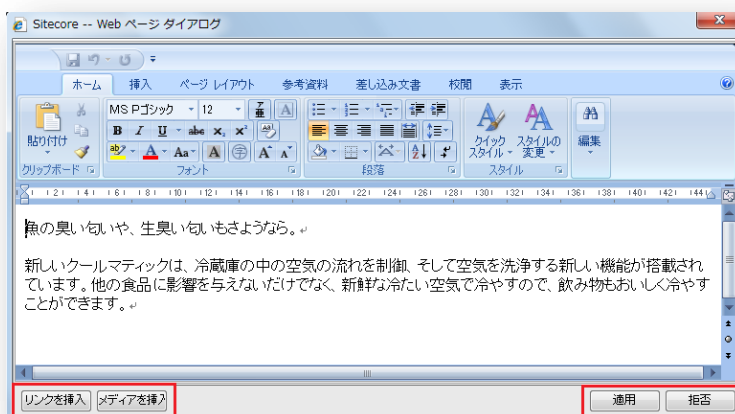
Word フィールドを編集する

ページエディターで Word フィールドを編集する手順:

1. ページエディターで、マウスを Word フィールドの上に動かすと、Word のアイコンが表示されます。



2. [編集] をクリックすると、このフィールドのコンテンツを表示する新しい Word のウィンドウが開きます。

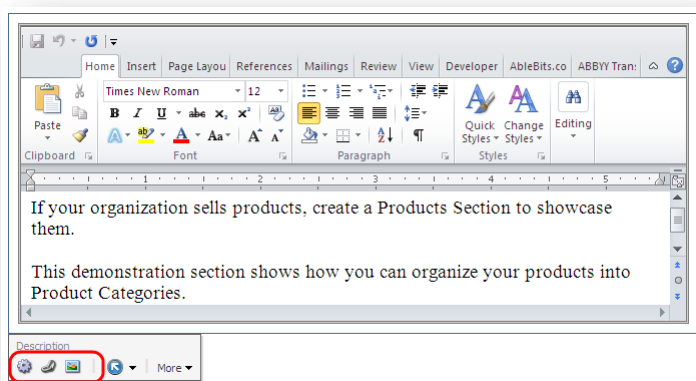


ここから Word のすべての機能にアクセスすることができます。

3. Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するためには、[リンクを挿入] をクリックします。
4. メディアライブラリから画像を挿入するためには、[メディアを挿入] をクリックします。
5. メディアライブラリにない画像を挿入するためには、Word の機能を使用します。
常用する画像はメディアライブラリにアップロードするほうがよいでしょう。
6. Word フィールドの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存してウィンドウを閉じます。
7. 変更を保存しないでウィンドウを閉じるには、[拒否] をクリックします。
8. [ページエディター] で変更を保存し、アイテムをロック解除します。

Word に関する追加情報は、マイクロソフトの文書を参照してください。

Web サイトの構成によっては、Word フィールドをページ上で直接編集することも可能です。Web サイトがインライン編集をサポートしている場合は、Word のすべての機能をインライン編集ウィンドウで使用することができます。



Word フィールドをインライン編集する場合には次のボタンが追加されて表示されます：

- **リボンを表示** 

Word のリボンを表示または非表示にするためには、[リボンを表示] をクリックします。

- **リンクを挿入** 

Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するためには、[リンクを挿入] をクリックします。

- **画像を挿入** 

メディアライブラリから画像を挿入するためには、[画像を挿入] をクリックします。

Word フィールドの構成に関する追加情報は、『プレゼンテーションコンポーネントXSLリファレンス』を参照してください。

3.2.5 画像アイテムを編集する

ページエディターを使用して Web サイト上に表示するグラフィックアイテムを編集することも可能です。画像を選択すると、いくつかの選択肢が表示されます。



次のことを行うことが可能です:

- 表示する画像を選択する。
- 画像の外観を変更する。

利用できる選択肢はインストールの環境によって異なります。

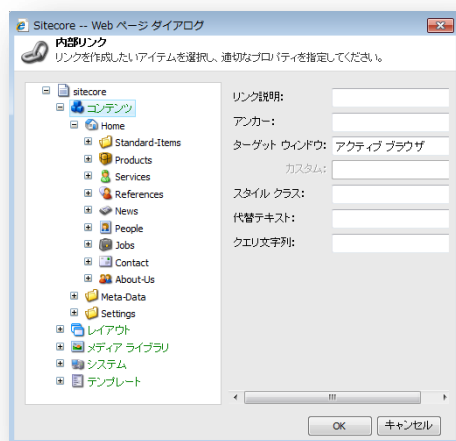
画像のリンクを編集する

メモ

リッチテキストまたは Word フィールドに配置される画像のみがリンクを持つことが可能です。

画像のリンクを編集する手順:

1. 画像にリンクがある場合、[リンクを編集] をクリックします。



2. [内部リンク] ダイアログボックスの左側のウィンドウで、リンクが開くアイテムを選択します。

同じ Web サイトの他のアイテムにリンクすることができますが、他の Web サイトへのリンクはできません。

3. [内部リンク] ダイアログボックスには次のフィールドがあります:

フィールド	値
リンクの説明	リンクの説明
アンカー	リンク先にするページのアンカーの名前。ブラウザは直接、ページのこのポイントまでスクロールします。
ターゲットウィンドウ	リンクが同じブラウザウィンドウを使用するか、別のブラウザウィンドウを使用するか、カスタムウィンドウを使用するかを指定します。
カスタム	ターゲットウィンドウフィールドでカスタムを選択した場合、ここにカスタムウィンドウを指定します。
スタイルクラス	使用するスタイルクラス。
代替テキスト	画像上にマウスを移動した場合に表示される代替テキスト。
クエリ文字列	リンクに追加されるクエリ。

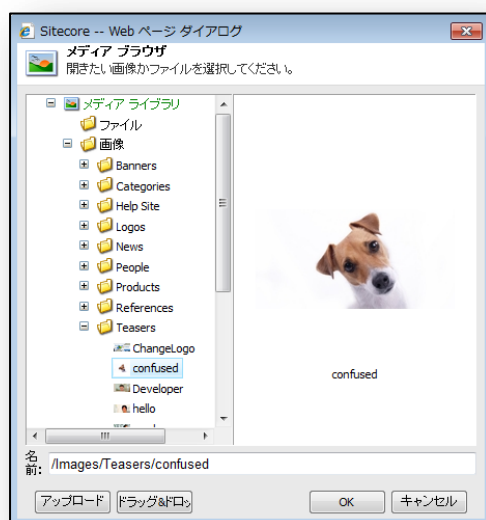
4. フィールドに適切な情報を記入します。

画像を変更する

画像の変更はフィールドタイプによって異なります。

画像フィールドに表示する画像を変更する手順:

1. ページエディターで変更する画像を選択します。
2. [画像を選択] をクリックして、[メディアブラウザー] ダイアログボックスを開きます。



[メディアブラウザー] ダイアログボックスでは Sitecore メディアライブラリで使用できるすべてのアイテムを表示することができます。

3. 使用する画像を選択して [OK] をクリックします。

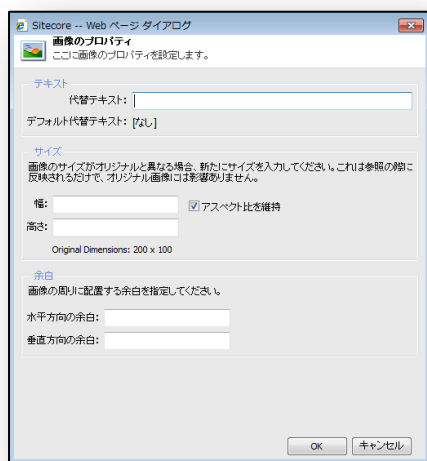
新しい画像が現在のアイテムに挿入されます。

4. ページエディターで [保存] をクリックして変更を保存するか、または [保存して終了] をクリックして変更を保存して編集モードを終了するか、または [閉じる] をクリックして変更を保存しないでアイテムを閉じて編集モードを終了します。

画像の外観を変更する

画像の外観を変更する手順:

1. ページエディターで画像を選択します。
2. [画像のプロパティを変更します] をクリックして、[画像のプロパティ] ダイアログボックスを開きます。



3. [代替テキスト] フィールドに、マウスを画像の上に移動したときに表示するテキストを入力します。
4. [サイズ] セクションで画像を表示するサイズを指定します (画像の実際のサイズと異なる場合)。
5. [余白] セクションで、画像の周囲に配置する余白を指定します。

3.2.6 ページをプレビューする

パブリッシュすることなくページをプレビューすることが可能です。プレビューアプリケーションではプレビューの日時を指定することが可能です。これによって現在設定されているパブリッシュ制限にもとづいて過去または将来の時点のサイトを表示することが可能です。さらにプレビューモードでは、ページが別の言語バージョンや別のデバイスでどのように表示されるかを確認することが可能です。

ページをプレビューする手順:

1. ページエディターの [モード] グループで、[プレビュー] をクリックします。
2. [エクスペリエンス] タブでプレビューのパラメーターを選択します。このタブは十分なアクセス権のない場合には表示されない場合があります。
3. Web サイトをナビゲートしてページをプレビューします。



3.2.7 デバイスシミュレーターでページをプレビューする

デバイスシミュレーターを使用すると、iPhone、iPad、Android Phone、Blackberry など、さまざまなデバイスをシミュレートして Web サイトをプレビューできます。

デバイスシミュレーターはデバイスの動作を模倣するツールであり、各デバイスでの Web サイトの表示がピクセル単位で完璧にプレビューされるわけではありませんが、デバイスで Web サイトがどのように表示されるかをわかりやすく示し、コンテンツ作成者がモバイルデバイスでのページ表示をすばやく確認するために役立ちます。

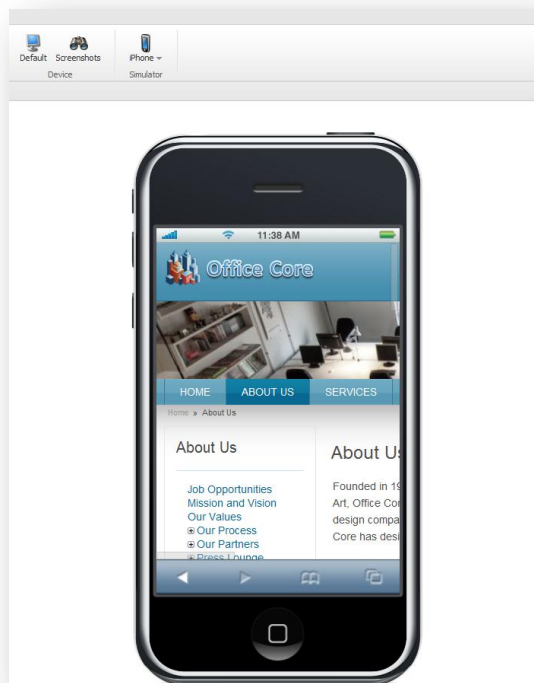
デバイスシミュレーターでページをプレビューする手順:

1. [エクスペリエンス] タブの [モード] グループで、[プレビュー] をクリックします。

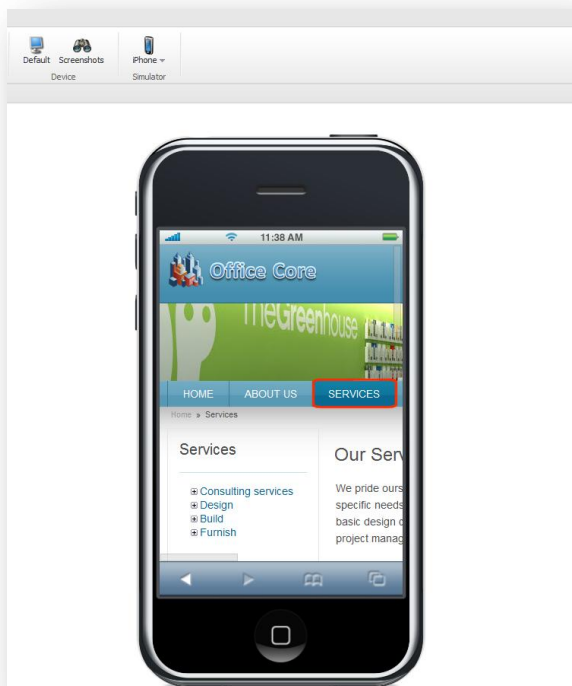
2. [シミュレーター] グループで、ドロップダウン矢印をクリックしてデバイスを選択します。



シミュレーション表示では、すべてのナビゲーション機能が完全に動作します。

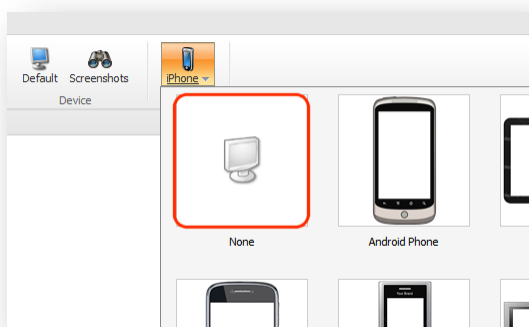


3. [Services] をクリックして、Services ページに移動します。



デバイスシミュレーターでは次の操作が可能です：

- [回転] をクリックすると、デバイスの向きが変わります。
 - 画面を上下左右にスクロールできます。
4. シミュレーションを終了して、デフォルトのページプレビュー画面に戻るには、[None] をクリックします。



3.3 ページエディターで新規アイテムを作成する

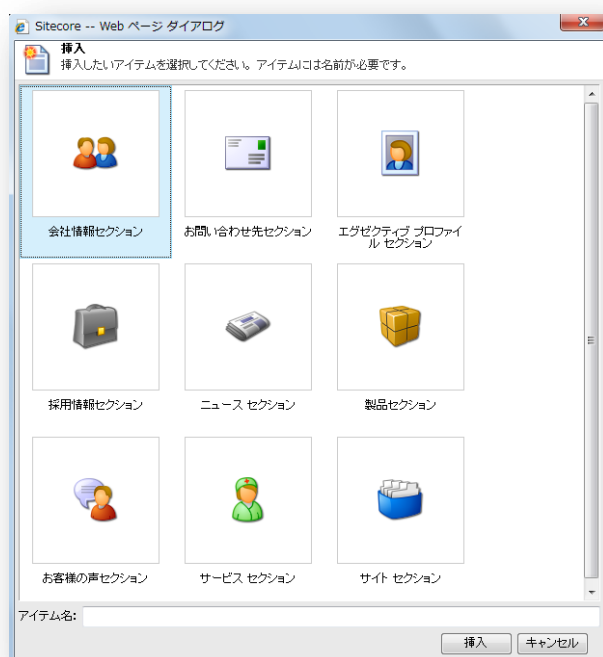
コンテンツ作成者はコンテンツを編集するだけでなく、新規のコンテンツを作成し、それを Web ページで表示する場所に挿入する必要があります。

Sitecore でアイテムを作成する方法は、割り当てられたセキュリティロールと Web サイトがカスタマイズされている方法によって異なります。

3.3.1 アイテムを挿入する

ページエディターを使って新しいアイテムを挿入することが可能です。ページに新規のアイテムを挿入する手順:

1. 編集するページに移動します。
2. ページの上部の [編集] ボタンをクリックします。
3. リボンの [ページの挿入] をクリックして、[ページの挿入] ダイアログボックスを開きます。



作成できるアイテムの種類は、Web サイト上の場所によって異なります。フロントページの場合は、新規のセクションを挿入することができます。またセクションの種類によって適切なアイテムを挿入することができます。

4. 挿入するアイテムの種類を選択します。この例では、新規のセクションを挿入します。
5. [アイテム名] フィールドで挿入するセクションの名前を入力します。

6. [挿入] をクリックして新規のセクションを作成すると、Web サイトにセクションが追加されます。



新規のセクションにはアイテムは含まれません。

新規のアイテムを作成したときは、そのアイテムは自動的にロックされ、他のユーザーが編集できないようになっています。

7. これで挿入したアイテムを編集することが可能です。テキストの追加、画像の追加、サイドバーのテキストの追加、などが可能です。

新規のアイテムの編集が終了した後に、ロック解除する必要があります。アイテムのロック解除に関する詳細は、「アイテムのロック解除」のセクションを参照してください。

3.4 コンテンツの削除

コンテンツ作成者は必要に応じてアイテムとコンテンツを削除します。これは Sitecore のページエディターを使って非常に簡単に行うことができます。

3.4.1 アイテムを削除する

Web サイトからアイテムを削除する手順:

1. 削除するアイテムに移動します。

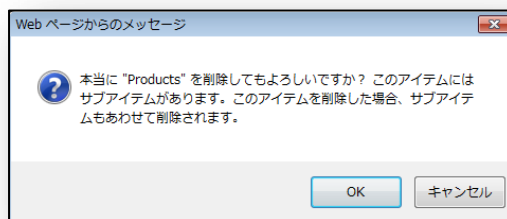
アイテムを削除する場合、そのアイテムに移動します。

サブアイテムを削除する場合、他のアイテムに表示されているリンクではなく、そのサブアイテム自体に移動します。

2. アイテムまたはセクションを削除するには、リボンの [ページの削除] をクリックします。

Web サイトごとのカスタマイズとページエディターの構成によって、[ページの削除] ボタンはリボン上にある場合と、画面の上部にある場合があります。

3. サブアイテムを含むアイテムを削除しようとすると、そのアイテムにはサブアイテムがあり、アイテムを削除した場合にはサブアイテムもあわせて削除されることを知らせるメッセージが表示されます。



それらのアイテムを保存する場合には、他のセクションに移動させる必要があります。

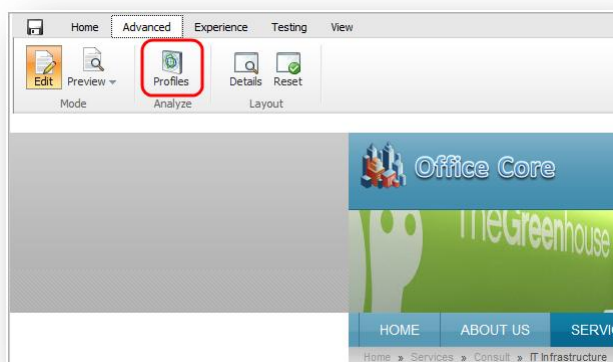
4. アイテムとサブアイテムを削除するためには [OK] をクリックします。

3.5 アイテムにプロフィール値を割り当てる

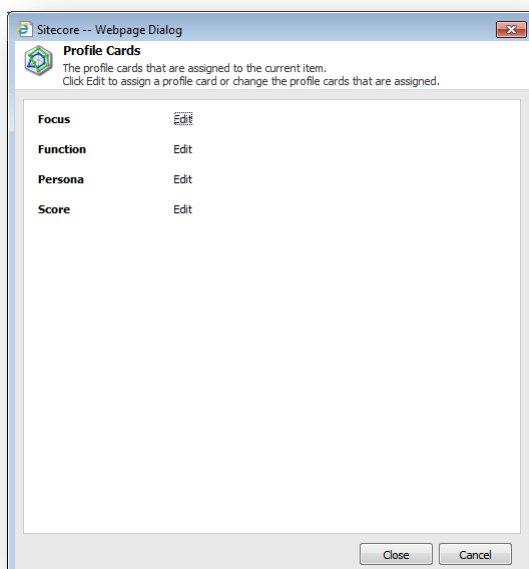
ページ エディターを使用して、Web サイトを構成するコンテンツ アイテムの作成や編集を行うときに、コンテンツ作成者は、これらのアイテムにプロフィール値とプロフィール カードを割り当てることもできます。

ページ エディターでアイテムにプロフィール カードとプロフィール値を割り当てる方法:

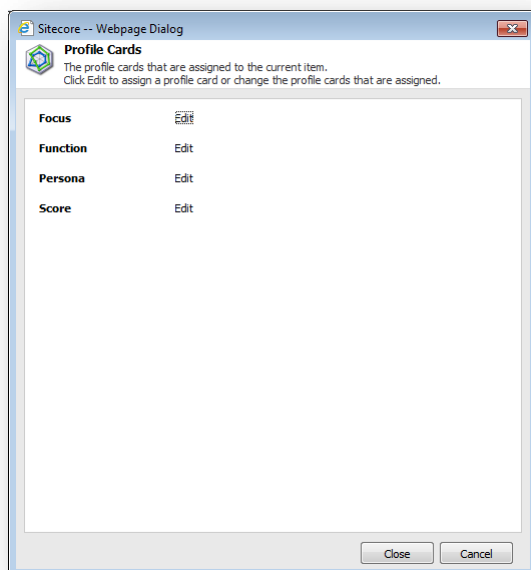
1. ページ エディターで、プロフィール値を割り当てるアイテムを含むページに移動し、リボンを展開します。



2. [高度な設定] タブの [解析] グループで、このページのすべてのプロフィールを編集するには、ドロップダウン矢印をクリックします。

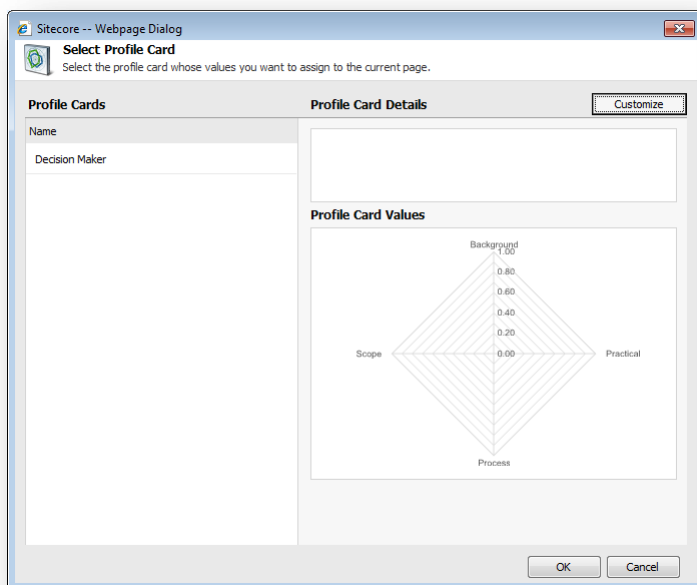


3. [プロフィール カード] ダイアログ ボックスで、目的のプロフィールを選択して [編集] をクリックすると、[プロフィール カードの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。



表示される **[プロフィール カードの選択]** ダイアログ ボックスは、**[プロフィール カード]** アイテムの**[作成時の選択]** フィールドで選択したオプションに応じて異なります。

[作成時の選択] フィールドで **[単一]** オプションを選択した場合は、以下のような **[プロフィール カードの選択]** ダイアログ ボックスが表示されます。



カスタム プロファイルの値を割り当てる場合は、**[カスタマイズ]** をクリックします。

プロフィール カードの詳細については、『**マーケティング オペレーション クックブック**』を参照してください。

Chapter 4

コンテンツエディターでのコンテンツ管理

この章ではコンテンツエディターとその機能について紹介します。ここでは既存のアイテムを編集する方法の詳細を解説します。コンテンツエディターで画像を管理する方法についても説明します。新規のアイテムを作成する方法およびアイテムを削除する方法の詳細も説明します。

この章には次のセクションがあります。

- コンテンツエディター
- コンテンツエディターでアイテムを編集する
- コンテンツエディターで新規アイテムを作成する
- コンテンツエディターでアイテムを削除する
- アイテムにプロファイル値を割り当てる

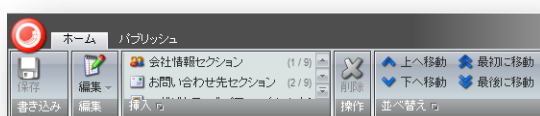
4.1 コンテンツエディター

コンテンツエディターはコンピューターや Microsoft Word の経験を有し、Sitecore の機能と操作に慣れ親しんだ、経験の豊富なコンテンツ作成者のために設計されています。

コンテンツエディターは多くの機能をもつアプリケーションですが、その外見および利用できる機能はユーザーに割り当てられたロールとローカルのセキュリティ設定と Web サイトのカスタマイズによって異なります。

コンテンツエディターによってユーザーは経験の豊富なコンテンツ作成者の要望を満たす多くの機能を活用することができます。

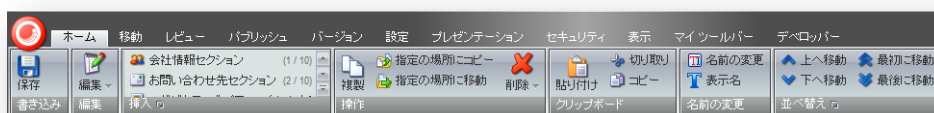
コンテンツエディターからアクセスできる機能はユーザーによって異なる場合があります。最小限の場合には次のように表示されます：



さらに多くのアクセス権がある場合には、さらに多くのコマンドとタブが表示されます：



コンテンツエディターのすべての機能へのアクセス権がある場合には、このように表示されます：



4.1.1 ページエディターとコンテンツエディター

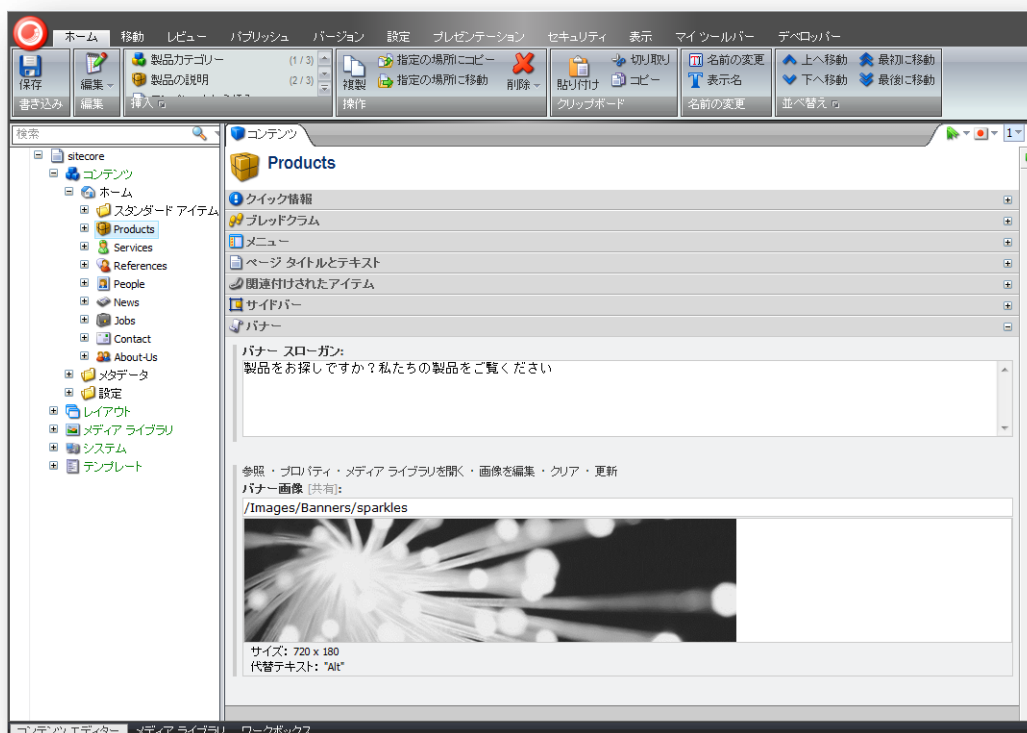
コンテンツエディターにログインすると、Web サイトを構成しているアイテムがページエディターでの表示とは異なる方法で表示されます。ページエディターでは、アイテムは Web サイト上での表示と同様に表示されます。コンテンツエディターでは、アイテムはコンテンツツリー上のオブジェクトとして表示されます。コンテンツツリーからアイテムを選択すると、そのアイテムは編集可能なフィールドのリストとして表示されます。

たとえば、サンプル Web サイトのProducts (製品情報)セクションはページエディターではこのように表示されます：



ここではページ上に表示されているアイテムのすべてを編集することが可能です。テキスト、画像、ロゴ、リンクなどです。

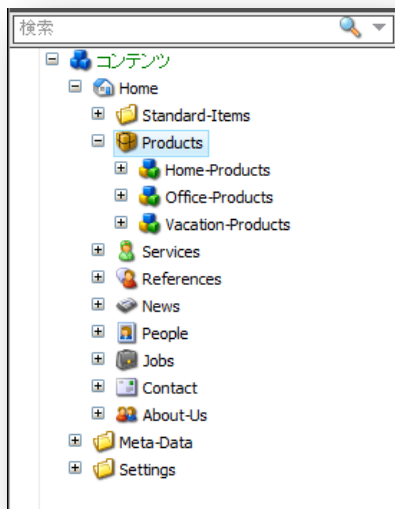
コンテンツエディターでProductsセクションを開くと、このように表示されます:



セクションは編集可能なフィールドのリストとして表示されます。さらに、表示されているフィールドはProductsアイテム自体に属しているフィールドのみです。Productsアイテム、Home-Productsアイテムなどはすべて別のアイテムであり、それらはそれぞれ別途にコンテンツエディターで編集する必要があります。ページエディターでは Web ページは Web サイトでの表示と同様に表示され、そのページ上の要素は現在のアイテムに属していないものも含めてすべてを編集することが可能です。

4.1.2 コンテンツツリー

コンテンツエディターの重要な機能の 1 つはコンテンツツリーです。コンテンツツリーは Web サイトに作成されたすべてのアイテムを表示します。



Sitecore のコンテンツツリーは Windows エクスプローラーで使用されているものと同様の構造になっています。Sitecore ではオブジェクトとグループは標準のフォルダーとファイルのアイコンで表示されるのではなく、別の多くのアイコンで表示されています。Windows エクスプローラーを操作するのと同様に、Sitecore のコンテンツツリーのグループを展開したり開いたりすることができます。アイコンの横にプラス '+' が表示されている場合は、それはサブアイテムを含んでいて、それを展開することができます。アイコンの横にマイナス '-' が表示されている場合には、それはすでに展開されています。シンボルが表示されていない場合はそのアイテムはサブアイテムを含んでいません。

コンテンツツリーで検索する

Sitecore コンテンツツリーには検索機能があります。アイテムを素早く検索できるので、大規模な Web サイトや慣れていないサイトでは特に有益です。

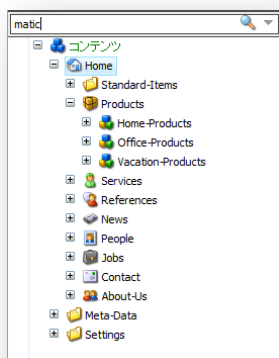
オブジェクトを検索する手順:


1. コンテンツツリーで検索する対象のオブジェクトを選択します。これが検索のスタートポイントです。

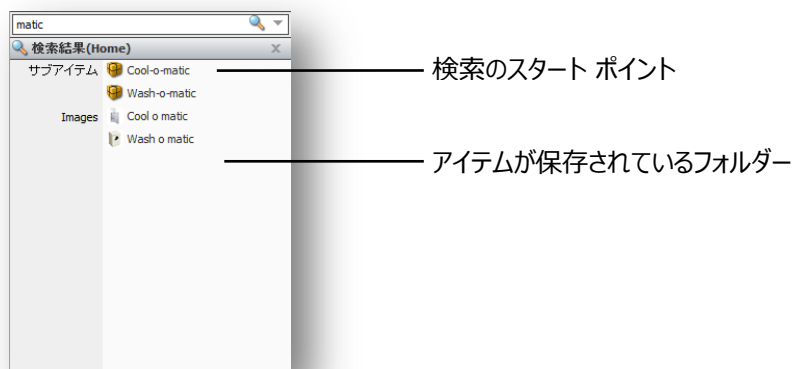
Sitecore の検索エンジンはコンテンツツリー全体を検索します。しかし検索結果はこのスタートポイントより下で見つかったアイテムをスタートポイント前に見つかったアイテムよりも先に表示します。

Sitecore の検索エンジンはワイルドカードはサポートしません。

2. [検索] フィールドに検索する値を入力します。文字、数字、単語などです。



3. 検索  をクリックするか、またはENTERを押して検索を実行すると、検索結果が表示されます。

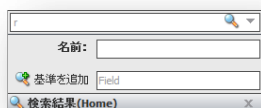


抽出条件を追加する

抽出条件を追加して絞り込み検索を行うこともできます。

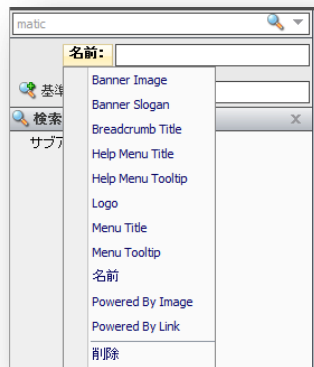
検索に抽出条件を追加する手順:

1. 下向きの矢印 ▼ をクリックして追加のウィンドウを開きます。

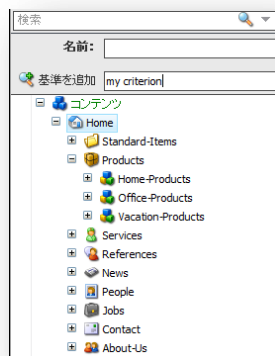


2. 名前を使ってオブジェクトの検索を行いたい場合は、[名前] フィールドに値を入力します。

3. 検索を行うフィールドを変更する場合には、[名前] をクリックすると現在のアイテムのすべてのフィールドの名前のリストが表示されます。



4. 抽出条件を追加するためには、[基準を追加] フィールドで抽出条件の名前を入力します。



5. [基準を追加] をクリックし、新規の抽出条件をリストに追加します。
6. 新規の抽出条件の名前をクリックしてフィールド名を表示されるリストから選択することができます。

検索の結果は [検索結果] ウィンドウに表示されます。現在のアイテムの下で見つかったアイテムが最初に表示されます。

追加の抽出条件を削除する

追加の抽出条件を削除するためには、削除する条件をクリックし、表示されるメニューの下部で [削除] をクリックします。

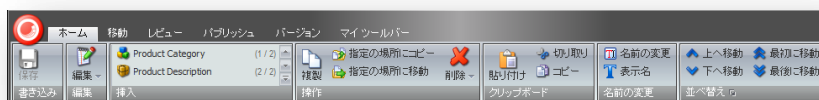
4.1.3 コンテンツエディターでロックする

コンテンツエディターでは編集を開始する前にアイテムをロックすることが「必要」です。

アイテムをロックする

アイテムをロックする手順:

1. コンテンツエディターで編集するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブで [編集] をクリックしてアイテムをロックします。



アイテムをロックすると、使用可能な機能とコマンドは [コンテンツ] ウィンドウでアクティブになっています。

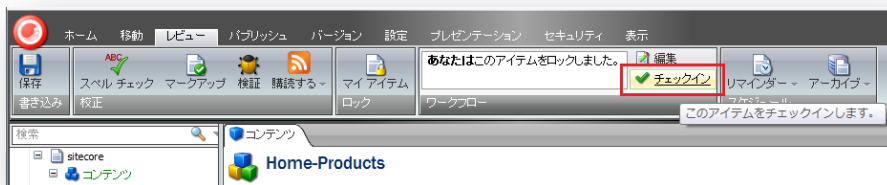


これでアイテムの編集を開始できます。

アイテムをロック解除する

アイテムの編集を終了した後に、忘れずに変更を保存するだけでなく、アイテムをロック解除して他のユーザーがそのアイテムを編集可能なようにします。

現在のアイテムをロック解除するためには、[ホーム] タブの[編集] をクリックするか、または [レビュー] タブの [ワークフロー] グループの [チェックイン] をクリックします。



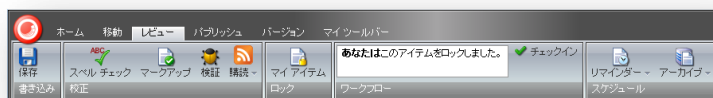
複数のアイテムのロック解除

コンテンツ作成者は多くの場合、Web サイト上の多数のアイテムにさまざまな変更を行います。コンテンツ作成者は多数のアイテムをロックし、すべてのアイテム全体にわたって変更が一貫して実装されることを確認するまでロックを保持する必要があります。

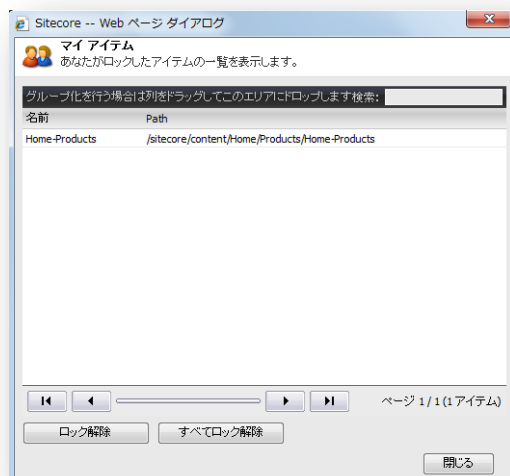
Sitecore はロックしたアイテムを管理して他のユーザーがそれらを編集できないようにします。また Sitecore はどのアイテムがどのユーザーによってロックされたのかを管理しています。

自分がロックしたアイテムをロック解除する手順:

1. コンテンツエディターで [レビュー] タブをクリックします。



2. [ロック] グループで [マイアイテム] をクリックします:



[マイアイテム] ダイアログボックスに自分のロックしたすべてのアイテムの一覧が表示されます。現在のセッション時または以前のセッション時にこれらのアイテムをロックした場合があります。

3. 編集を終了したアイテムを選択し、[ロック解除] をクリックしてそれらをロック解除するか、または [すべてロック解除] をクリックしてすべてのアイテムをロック解除します。

4.2 コンテンツエディターでアイテムを編集する

経験の豊富なコンテンツ作成者は Sitecore のコンテンツエディターが提供する高度な機能を、より使いやすいと感じることでしょう。

コンテンツエディターでは、アイテムに含まれるすべてのフィールドを編集することができます。たとえば、リッチテキストフィールド、Word フィールド、画像フィールド、などです。

メモ

コンテンツエディターでアイテムを編集する前にはそれをロックする必要があります。

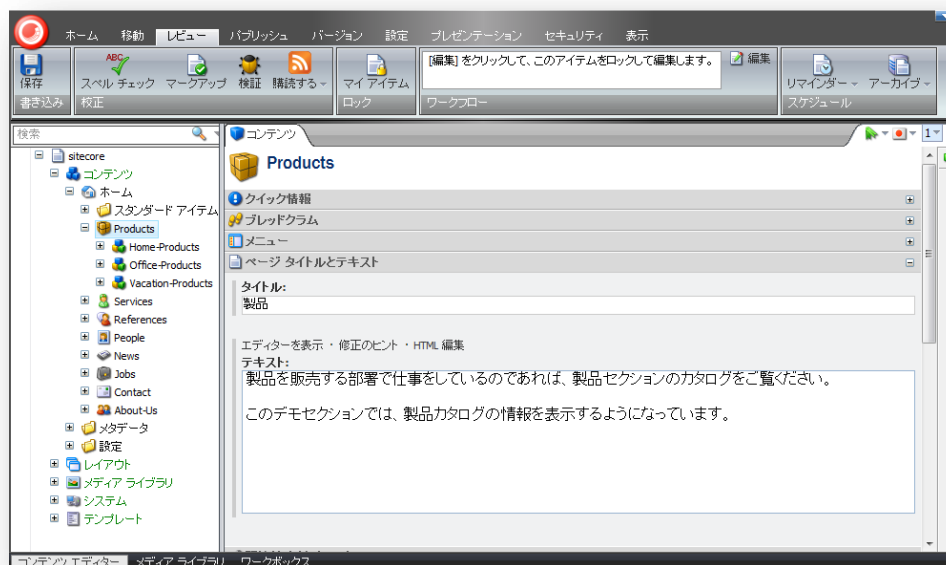
この章で説明するすべての手順では、アイテムはすでにロックされていることを前提としています。

4.2.1 コンテンツエディターでリッチテキストフィールドを編集する

コンテンツエディターでアイテムを選択した後に、それを編集することができます。

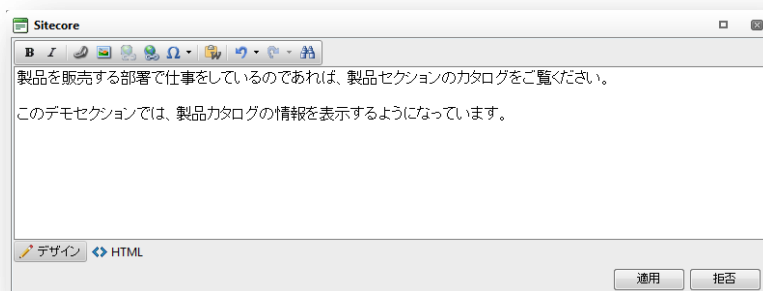
コンテンツエディターでリッチテキストフィールドを編集する手順：

1. コンテンツエディターのコンテンツツリーで、編集するアイテムに移動します。



2. [コンテンツ] ウィンドウで、編集するフィールドに移動します。

3. [エディターを表示] をクリックしてリッチテキストエディターを開きます:



リッチテキストエディターではインライン編集よりもさらに多くの機能を使用することができます。次のことを行うことが可能です:

- Web サイトの他のパーツ、または外部の Web サイトへのリンクを挿入または削除する。
- 画像または他のメディアアイテムを挿入する。
- テキストにシンボルを挿入する。
- Microsoft Word からテキストをアイテムに貼り付ける。
必要であれば、Microsoft Word を使用してテキストをアイテムに書き込んだり、それをリッチテキストエディターに貼り付けたりすることも可能です。
- アイテムのテキストを検索したり置換したりする。
- 行った操作を元に戻す、または再実行する。

メモ

リッチテキストエディターで使用可能な機能は Sitecore システム管理者によって制御されています。さらに機能が必要な場合には、システム管理者に依頼してください。

さらに HTML の知識があり、テキストを HTML フォーマットで編集する場合には、アイテムを HTML フォーマットで表示することも可能です。

4. リッチテキストエディターでアイテムの編集を終了した後に、[適用] をクリックしてフィールドに行った変更を保存します。
5. スペルチェックを行う場合は、[レビュー] タブをクリックし、[校正] グループの [スペルチェック] をクリックしてスペルチェックを開始します。スペルチェックはアイテムのすべてのテキストフィールド全体をチェックします。
6. アイテムの編集を終了した後に、[保存] をクリックしてアイテムに行った変更を保存し、[編集] をクリックしてアイテムをロック解除し、他のユーザーが必要な際にそれを編集できるようにします。

メモ

スペルチェックは現在のアイテムのみをチェックします。複数のアイテムを編集した場合には、それらで個別にスペルチェックを実行する必要があります。

リッチテキストエディターについての追加情報は、Chapter 5「リッチテキストエディター」を参照してください。

4.2.2 コンテンツエディターで Word フィールドを編集する

コンテンツエディターで Word フィールドを編集することも可能です。

重要

Sitecore で Word フィールドを編集するためには、Microsoft Word 2007 がインストールされている必要があります。

Sitecore Word フィールドは Internet Explorer 7 以降のみでサポートされます。

Internet Explorer 8 を使用している場合、最初に Sitecore で Word フィールドにアクセスする際に、セキュリティ設定のためにページ上の ActiveX コントロールを実行できないというエラーメッセージが表示される場合があります。

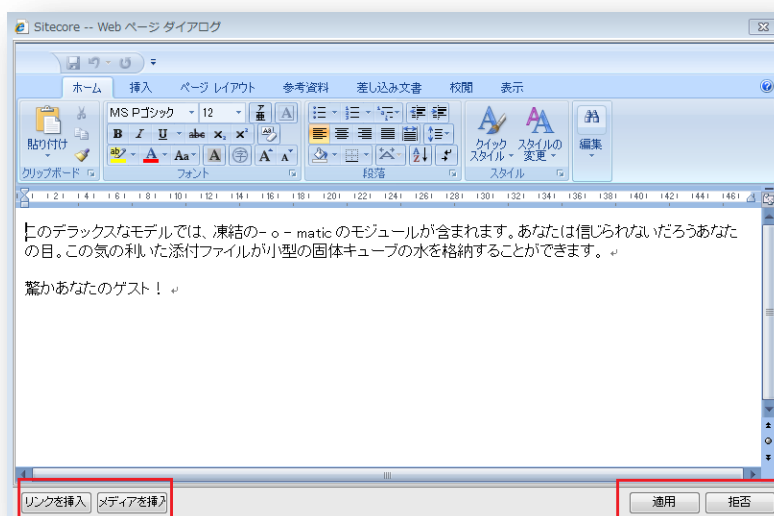
ActiveX コントロールを実行するよう Internet Explorer 8 を構成する方法の詳細については、22ページの「Word フィールドを構成する」を参照してください。

Word フィールドを編集する手順:

1. コンテンツエディターで編集するアイテムを開きます。



2. [編集] をクリックすると、このフィールドのコンテンツを表示する新しいWord のウィンドウが開きます。



このウィンドウではWord のすべての機能にアクセスすることができます。

3. Web サイトに Sitecore の別のアイテムへのリンクを挿入するためには、[リンクを挿入] をクリックします。
4. メディアライブラリから画像を挿入するためには、[メディアを挿入] をクリックします。
5. メディアライブラリにない画像を挿入するためには、Word の機能を使用します。
常用する画像はメディアライブラリにアップロードするほうがよいでしょう。
6. Word フィールドの編集を終了した後に、[適用] をクリックして変更を保存してウィンドウを閉じます。
変更を保存しないでウィンドウを閉じるには、[拒否] をクリックします。
7. コンテンツエディターで変更を保存し、アイテムをロック解除します。

Word に関する追加情報は、マイクロソフトの文書を参照してください。

4.2.3 画像を使う

コンテンツ作成者は多くの場合Webサイトに表示するメディアアイテムを変更したり編集したりします。

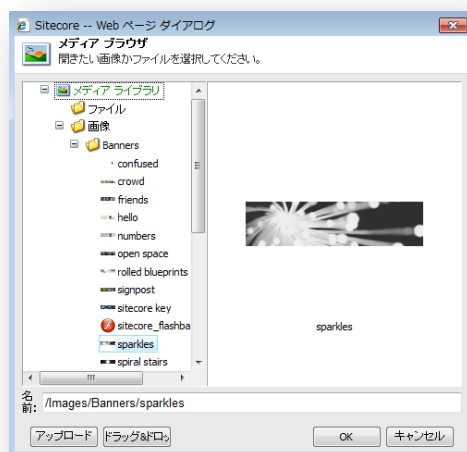
画像フィールドの画像を変更する

画像フィールドの画像を変更する手順:

1. コンテンツエディターのコンテンツツリーで、編集するアイテムに移動します。



2. [コンテンツ]ウィンドウで [参照] をクリックして [メディアブラウザー] ダイアログボックスを開きます:



[メディアブラウザー] が開くと、編集中のアイテムで表示されている画像が表示されます。

3. 使用する画像に移動してそれを選択し、[OK] をクリックします。

- これで選択された画像が編集集中のアイテムに表示されます。

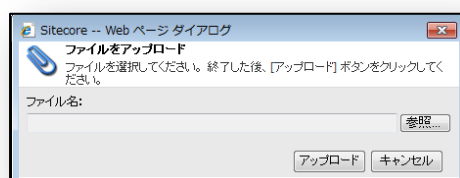


画像をアップロードする

使用する画像がメディアライブラリに存在しない場合、それをメディアライブラリに容易にアップロードすることが可能です。

画像をメディアライブラリに追加する手順：

- [コンテンツ]ウィンドウで [参照] をクリックして [メディアブラウザー] ダイアログボックスを開きます。
- [メディアブラウザー]ダイアログボックスで [アップロード] をクリックします。



- [ファイルをアップロード] ダイアログボックスで [参照] をクリックし、メディアライブラリに追加する画像に移動します。[開く] をクリックします。
- 画像がアップロードされ、コンテンツエディターのダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで画像をロックして保存する必要があります (画像以外の他のアイテムでも同様です)。

画像はメディアライブラリにアップロードされ、それを Web サイトで使用することができます。

画像のプロパティを編集する

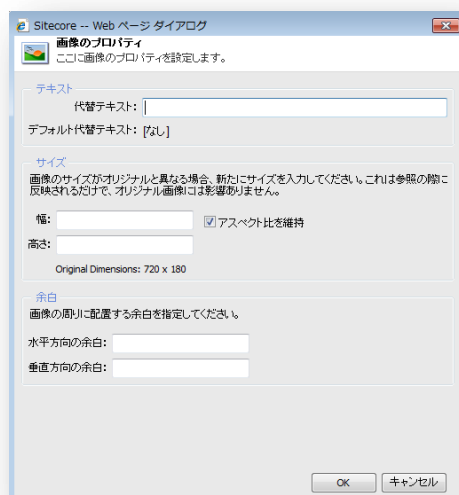
コンテンツエディターでアイテムに画像を追加すると、その画像のプロパティを編集することができます。

画像のプロパティを編集する手順:

1. [コンテンツ]ウィンドウで画像を含むフィールドまでスクロールします。



2. [プロパティ] をクリックして、[画像のプロパティ] ダイアログボックスを開きます。



3. [代替テキスト] フィールドで、マウスを画像の上に移動したときに表示するテキストを入力します。
4. [サイズ] セクションで画像を表示するサイズを指定します (画像の実際のサイズと異なる場合)。
5. [余白] セクションで、画像の周囲に配置する余白を指定します。

画像を編集する

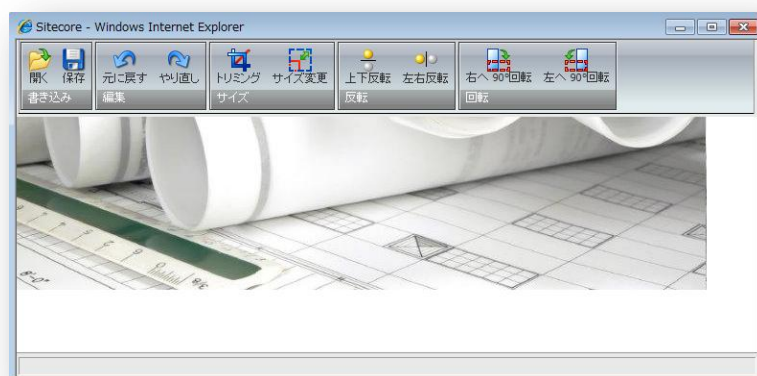
必要な場合には Sitecore を使用して画像を編集することができます。

画像を編集する手順:

1. 画像を含むフィールドまでスクロールします。



2. [画像を編集] をクリックして画像を開きます。Windows XP を使用している場合、Sitecore は標準装備の**イメージエディター**を開きます。標準装備のイメージエディターでは画像のトリミング、サイズ変更、反転、回転を行うことが可能です。



Windows 7 または Windows Vista を使用している場合、Sitecore はコンピューターのデフォルトのイメージエディターを使用して画像を開きます。画像を編集し保存して、エディターを閉じます。

3. 画像の編集を終了した後に、[保存] をクリックしてイメージエディターを閉じ、コンテンツエディターに戻ります。行ったすべての変更はメディアライブラリに保存されている画像のバージョンに適用されますが、Web ページで表示されているものには適用されません。
4. コンテンツエディターで [更新] をクリックして、行った変更を確認します。
5. 画像を削除する場合には、[クリア] をクリックします。

4.3 コンテンツエディターで新規アイテムを作成する

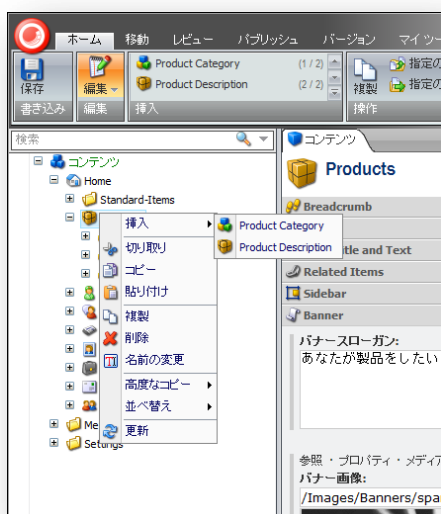
コンテンツエディターではいくつかの方法で新規のアイテムを作成することができます。

次のことを行うことが可能です：

- 新規アイテムを作成する
- 既存のアイテムを複製する
- アイテムを他の場所にコピーする
- テンプレートをもとにアイテムを作成する

コンテンツエディターで新規アイテムを挿入する場合には、通常は現在のアイテムのサブアイテムとして作成されます。しかし、現在のアイテムと同じレベルで新規アイテムを作成することも可能です。現在のアイテムより上位のレベルにアイテムを作成することはできません。

次のセクションでは Sitecore のリボンを使ってアイテムの作成、コピー、移動、複製、削除を行う方法を説明します。コンテンツツリーで右クリックすることで、これらのすべての機能を使用することも可能です。



4.3.1 新規アイテムを作成する

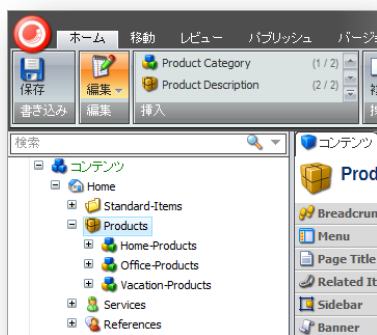
新規アイテムを現在のアイテムのサブアイテムとして容易に作成することができます。

サブアイテムを挿入する


新規のサブアイテムを挿入する手順：

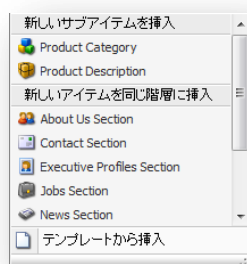
1. コンテンツエディターでサブアイテムを作成するアイテムに移動します。

2. [挿入] グループで表示されているアイテムの種類の一つをクリックします。



3. 挿入するアイテムの種類が表示されていない場合には、[挿入] グループのスクロールの矢印をクリックして、必要なアイテムの種類を探します。

または、[挿入] グループで下向きの矢印  をクリックし、表示されるリストからサブアイテムを選択します。

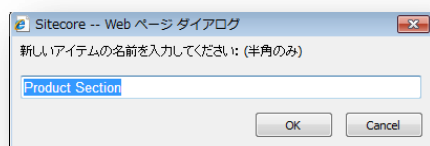


4. このドロップダウンリストでは [サブアイテムを挿入] または [同じ階層に挿入] を選択することが可能です。[同じ階層に挿入] とは現在のアイテムと同じレベルにアイテムを挿入することです。

現在のアイテムと同じレベルにアイテムを挿入するためには、[新しいアイテムを同じ階層に挿入] からサイトセクションをクリックします。

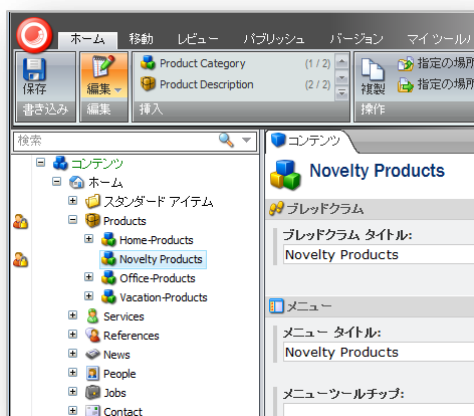
この例では、新規の製品カテゴリーをリストに追加します。この新規のカテゴリーは[Products]のサブアイテムで、サブアイテムを含むことができます。

5. 作成するサブアイテムの種類を選択すると、新規のアイテムに名前をつけるためのダイアログが表示されます。



6. 新規アイテムの名前を入力します。

これで新規アイテムが Web サイトに追加されました。



このように、新規アイテムは製品のサブアイテムとして作成され、自動的にロックされました。

新規アイテムはすべて自動的にロックされて開かれます。他のユーザーがそれらを編集するためには、ロック解除する必要があります。

7. 新規アイテムを編集します。フィールドをスクロールし、画像やテキストなどを追加します。

アイテムの編集を終了した後に、それにサブアイテムを追加することができます。

4.3.2 既存のアイテムを複製する

Sitecore では既存のアイテムを複製することができます。

既存のアイテムを複製する手順：

1. コンテンツツリーで、複製するアイテムに移動します。

この例では、Wash-o-matic製品を複製し、それを作成した新しい製品カテゴリーに移動します。

2. [ホーム] タブの [操作] グループで [複製] をクリックすると、新規のアイテムに名前をつけるためのダイアログが表示されます。

3. 新規のアイテムの名前を入力すると、それはコンテンツツリーに追加されます。



このように、新規アイテムは複製したアイテムと同じレベルに追加されました。そのアイテムは元のアイテムと同じテキスト、画像などのすべてを含んでいます。

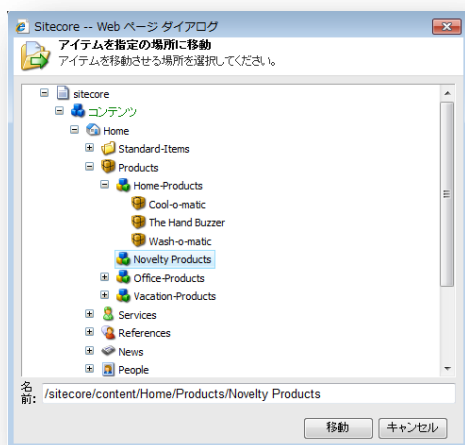
4. 新規のアイテムを編集して、そのアイテムで表示するテキスト、画像などを入力します。

アイテムの編集を終了した後に、それを適切な場所に移動することができます。

アイテムを移動する

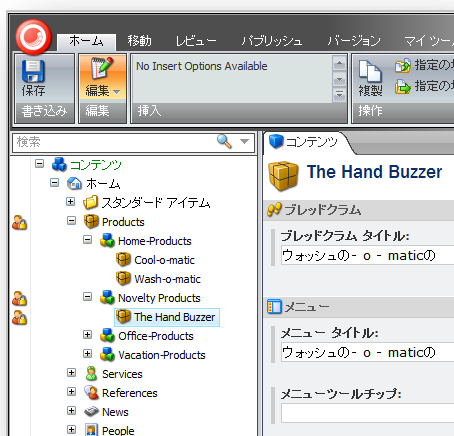
アイテムを移動する手順:

1. コンテンツツリーで、移動するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所に移動] をクリックします。



3. [アイテムを指定の場所に移動] ダイアログボックスでアイテムの移動先の場所を選択します。

4. [移動] をクリックしてアイテムを移動します。

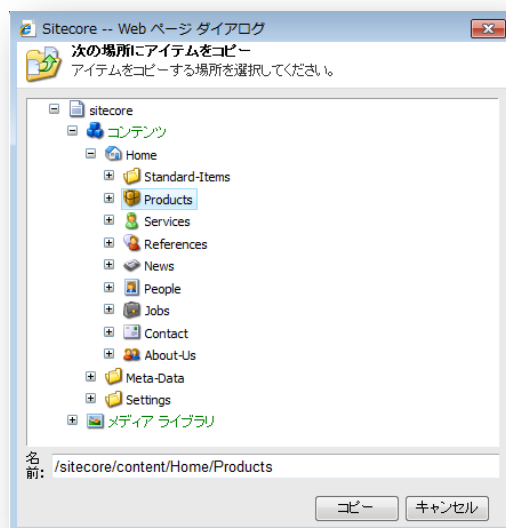


4.3.3 アイテムを他の場所にコピーする

既存のアイテムを希望の場所にコピーすることで新規アイテムを作成することも可能です。

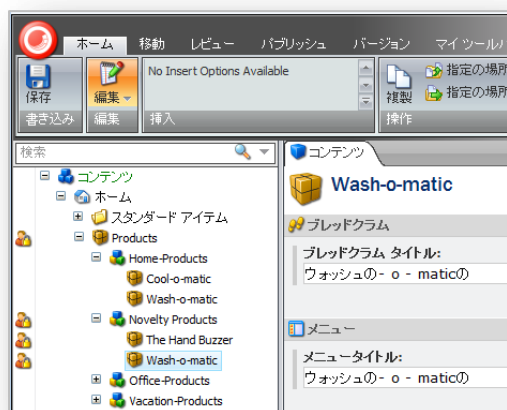
アイテムを他の場所にコピーする手順:

1. コンテンツツリーで、コピーするアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所にコピー] をクリックします。

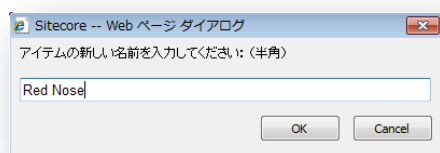


3. [次の場所にアイテムをコピー] ダイアログボックスでアイテムのコピー先の場所を選択します。

4. [コピー] をクリックすると、アイテムは指定の場所にコピーされます。



5. 新規アイテムを編集します。
6. [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [名前の変更] をクリックします。



7. アイテムの新しい名前を入力します。

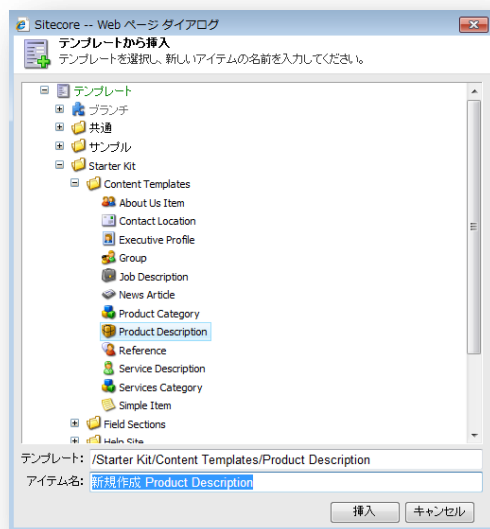
4.3.4 テンプレートをもとにアイテムを作成する

必要十分なアクセス権がある場合にはテンプレートをもとにアイテムを作成することが可能です。

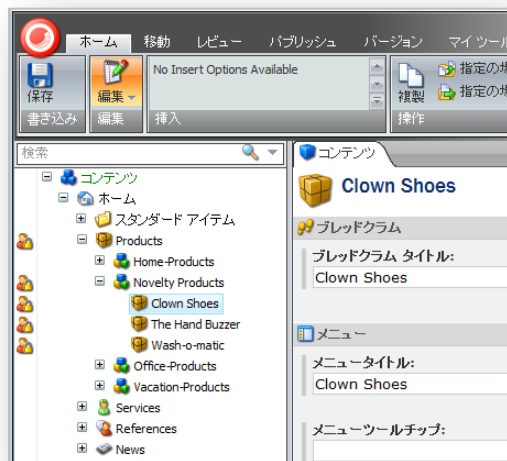
テンプレートをもとにアイテムを作成する手順:

1. コンテンツツリーで、サブアイテムを作成するアイテムに移動します。

2. [ホーム] タブの [挿入]グループでスクロール矢印  をクリックして [テンプレートから挿入] をクリックします。



3. [テンプレートから挿入] ダイアログボックスで新規アイテムを作成するために使用するテンプレートを選択します。
4. [アイテム名] フィールドで新規のアイテムの名前を入力し、[挿入] をクリックします。
5. [挿入] をクリックすると、アイテムはコンテンツツリーに追加されます。



6. アイテムを編集します。
7. 変更を保存します。

変更をプレビューする

新規に作成したアイテムの編集を終了した後に、これらの新規のアイテムが Web サイトでどのように表示されるかを確認できます。

変更をプレビューする手順:

1. [パブリッシュ] タブをクリックします。
2. アイテムがどのように表示されるかを確認するためには、[パブリッシュ] グループで [プレビュー] をクリックします。

新規のブラウザウィンドウが開き、現在のアイテムを表示します。Web サイトを参照して、行った変更のすべてを確認します。

サンプルサイトには次の変更が行われました:

- 製品カテゴリーのリストに Novelty Products カテゴリーが追加されました。Products ページには 1 つの Novelty Products のエントリがあります。
- Novelty Products カテゴリーに Clown Shoes などのノベルティアイテムが作成されました。Novelty Products ページはアイテムを作成したすべての製品を一覧表示します。
- Web サイト上には、作成した製品のそれぞれについて、その製品自体のページがあります。

行ったすべての変更の問題がなければ、このセッション中にロックされたすべてのアイテムをロック解除します。

4.4 コンテンツエディターでアイテムを削除する

コンテンツ作成者は必要に応じてアイテムとコンテンツを削除します。これはコンテンツエディターを使って簡単に行うことができます。

4.4.1 アイテムを削除する

Web サイトからアイテムを削除する手順：

1. コンテンツツリーで、削除するアイテムに移動します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [削除] をクリックします。

または、コンテンツツリーでアイテムを右クリックし、表示されるショートカットメニューから [削除] をクリックすることもできます。

アイテムは Web サイトから削除されます。

3. サブアイテムを含むアイテムを削除しようとすると、そのアイテムにはサブアイテムがあり、アイテムを削除した場合にはサブアイテムもあわせて削除されることを通知するメッセージが表示されます。



それらのアイテムを保存する場合には、他の場所に移動させる必要があります。

4. アイテムとサブアイテムを削除するためには [OK] をクリックします。

4.5 アイテムのクローン

Sitecore ではアイテムおよびアイテムのツリーのクローンを作製することができます。クローンはオリジナルアイテムの単なるコピーではありません。クローンアイテムのフィールドはオリジナルアイテムのフィールドが更新されるとそれに対応して更新されます。

このセクションではアイテムのクローンの作製方法を説明します。この文書ではクローンを作製する元になったアイテムを [オリジナルアイテム] と呼びます。

4.5.1 アイテムのクローンを作製する

このセクションではアイテムのクローンを作製する方法を説明します。

アイテムのクローンを作製する手順:

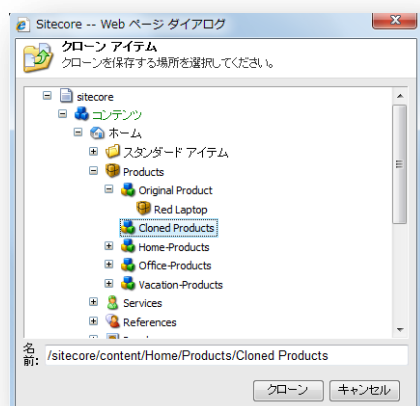
1. コンテンツツリーで、クローンを作製するアイテムを選択します。



2. [設定] タブの [クローン] グループで [クローン作製] をクリックします。

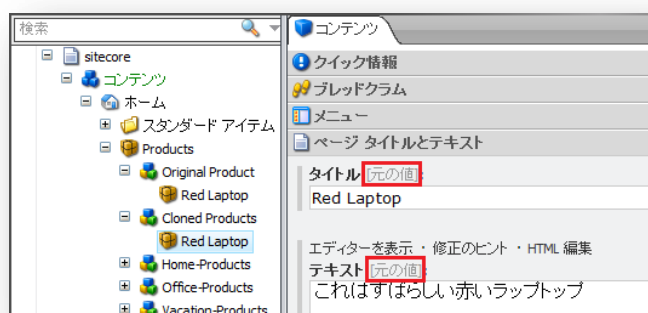


3. [クローンアイテム] ダイアログボックスで、クローンを保存する場所を選択して [クローン] をクリックします。



4. Sitecoreはオリジナルアイテムと全く同じクローンアイテムを作製します。

クローンアイテムを選択すると、フィールドタイトルには [元の値] という表記が表示されています。これはこの値がオリジナルアイテムの対応する値と合致していることを示しています。



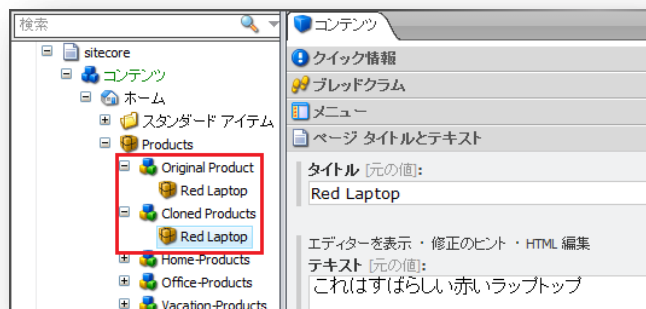
元の [Red Laptop] アイテムを選択し、[タイトル] フィールドを編集すると、Sitecore はクローンアイテムの同じフィールドを同様に更新します。同じアイテムの複数のクローンを作製することが可能です。

4.5.2 クローンとオリジナルアイテムはどのように作用するか

クローンを作製すると、Sitecore はクローンとオリジナルアイテムの間の接続を確立します。オリジナルアイテムのフィールドを編集すると、Sitecore はクローンの対応するフィールドを更新します。クローンアイテムを編集し、さらにオリジナルアイテムの同じフィールドを編集すると競合が発生し、その競合をどのように解消するかを尋ねるメッセージが表示されます。

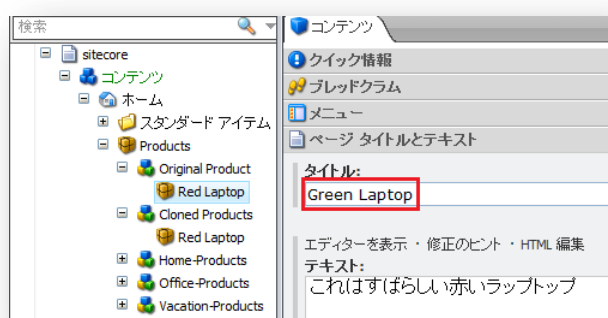
このセクションではクローンとオリジナルアイテムがどのように作用するかを示すいくつかの使用例を説明します。

これらの例では [Red Laptop] という名前のオリジナルアイテムとそのクローンを使います。このスクリーンショットではクローンが選択されています：

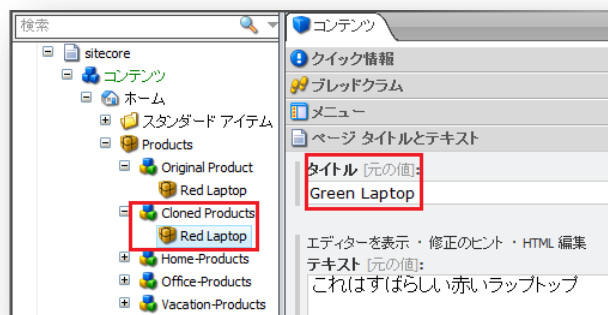


クローンがどのように作用するかを説明します。

1. オリジナルアイテムの 1 つのフィールドを編集して保存します:

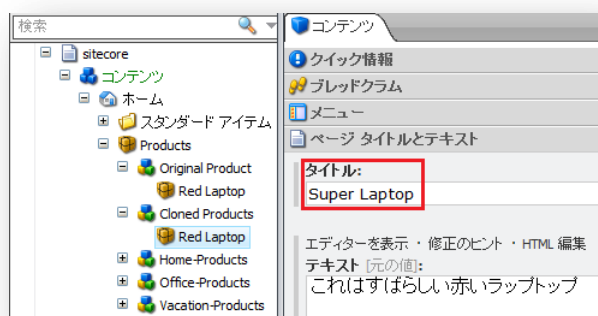


Sitecore はこのアイテムの全てのクローンのそのフィールドを更新します:



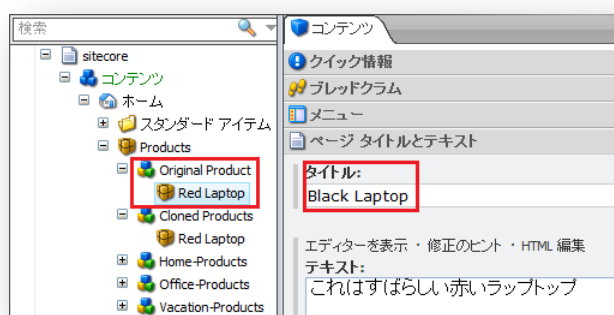
フィールドタイトルの右側に [元の値] と表示されていることに留意します。

2. クローンの 1 つのフィールドを編集して保存します。[元の値] の表示がタイトルから消えました。

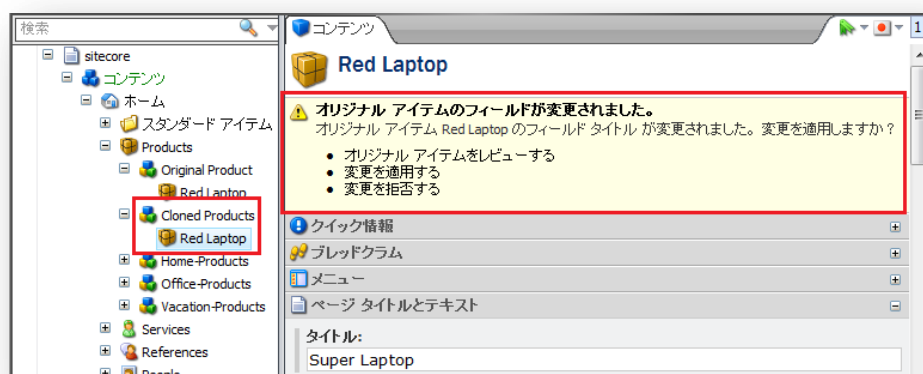


オリジナルアイテムに変更はありません。

3. オリジナルアイテムの同じフィールドを編集します。



4. クローンを選択します。[コンテンツ] タブには、オリジナルアイテムのフィールドが変更されたことを通知し、競合を解消するための選択肢を示すメッセージが表示されています：



次のことを行うことが可能です：

- **オリジナルアイテムをレビューする**

この選択肢をクリックすると、オリジナルアイテムが選択され、変更をレビューして見直すことができます。

- **変更を適用する**

この選択肢をクリックすると、オリジナルアイテムのフィールドの値をクローンアイテムの対応するフィールドにコピーします。[元の値] の表記がフィールドタイトルの横に表示されます。

- **変更を拒否する**

この選択肢をクリックすると、クローンアイテムの既存のフィールド値が保持され、このメッセージは解消します。

4.5.3 子アイテムのクローン

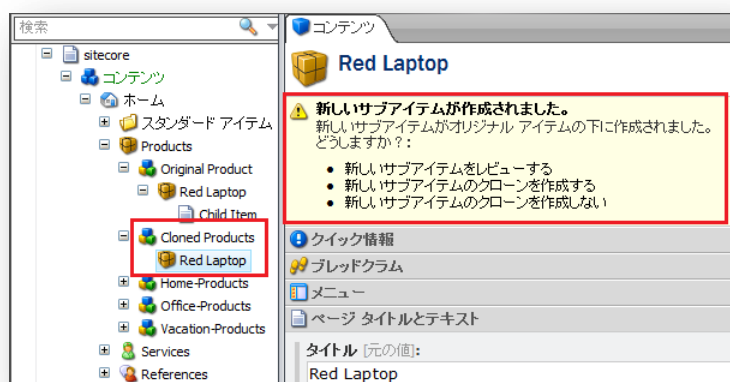
オリジナルアイテムの下に子アイテムを作製すると、これらのサブアイテムのクローンを作製するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

この作用を確認するため、次のシナリオを考察します。

1. オリジナルアイテムを選択し、子アイテムを作成します。



2. クローンアイテムを選択します。[コンテンツ] タブには、オリジナルアイテムの下に新しいサブアイテムが作成されたことを通知するメッセージが表示されます。



次の選択肢があります:

- **新しいサブアイテムをレビューする**

この選択肢をクリックすると、新しいサブアイテムが選択され、それをレビューして見直すことができます。

- **新しいサブアイテムのクローンを作成する**

この選択肢をクリックすると、新しいサブアイテムのクローンが作成されます。

- **新しいサブアイテムのクローンを作成しない**

この選択肢をクリックすると、新しいサブアイテムのクローンは作成されず、このメッセージは解消します。

4.5.4 クローンとバージョン管理

複数のバージョンをもつアイテムのクローンを作成すると、最新のバージョンのみがクローンにコピーされます。

たとえば、3 つのバージョンをもつアイテムのクローンを作成すると、クローンはオリジナルアイテムのバージョン 3 に対応する 1 つのバージョンを持ちます。オリジナルアイテムを選択してバージョン 2 を編集すると、その変更はクローンに反映されません。クローンはバージョン 3 に接続されているためです。

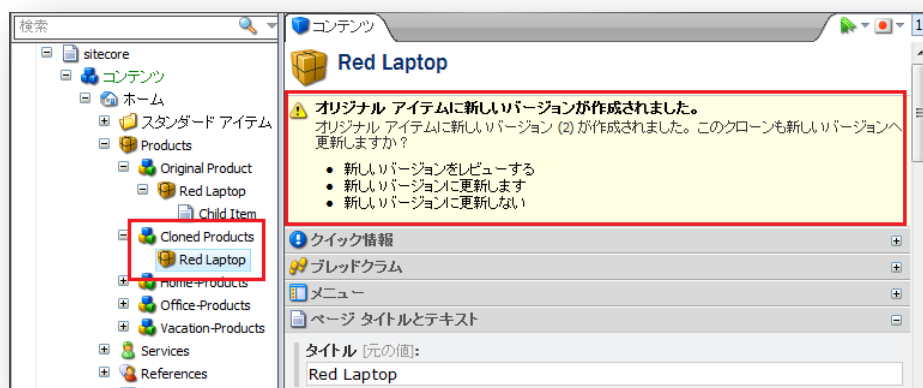
クローンを選択して新しいバージョンを追加すると、新しいバージョンはオリジナルアイテムの同じバージョンに、クローンの前のバージョンとして、接続されます。

このクローンの作用について次の例を使って詳細に説明します。

オリジナルアイテムに新しいバージョンを追加する

このセクションではオリジナルアイテムに新しいバージョンを追加した場合の動作について説明します。

1. オリジナルアイテムに新しいバージョンを追加します。
2. クローンアイテムを選択します。オリジナルアイテムの新しいバージョンが作成されたことを通知するメッセージが表示されます。



次の選択肢があります：

- **新しいバージョンをレビューする**

この選択肢をクリックすると、オリジナルアイテムが選択されます。

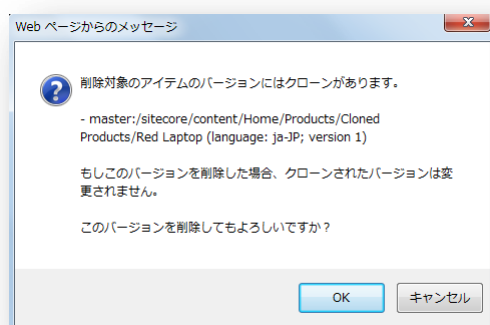
- **新しいバージョンに更新します**
この選択肢をクリックすると、オリジナルアイテムの新しいバージョンをコピーしてそれをクローンに追加します。
- **新しいバージョンに更新しない**
この選択肢をクリックすると、新しいバージョンはコピーされず、このメッセージは解消します。

オリジナルアイテムのバージョンを削除する

このセクションはオリジナルアイテムのクローンに接続されているバージョンを削除した場合の動作について説明します。

1. オリジナルアイテムを選択します。
2. クローンに接続されているバージョンを選択します。
3. [バージョン] タブの [バージョン] グループで [削除] をクリックします。

削除対象のアイテムのバージョンにはクローンがあることを通知するメッセージが表示されます。



[OK] をクリックするとオリジナルアイテムからこのバージョンは削除され、オリジナルアイテムのこのバージョンに接続されたすべてのクローンのバージョンはクローン解除されます。

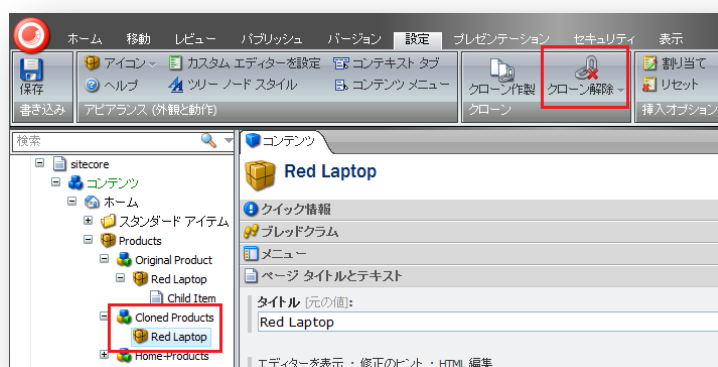
4.5.5 アイテムをクローン解除する

オリジナルアイテムとクローンの接続が不要となった場合には、クローンアイテムをクローン解除することができます。

クローンアイテムをクローン解除する手順:

1. クローンを選択します。

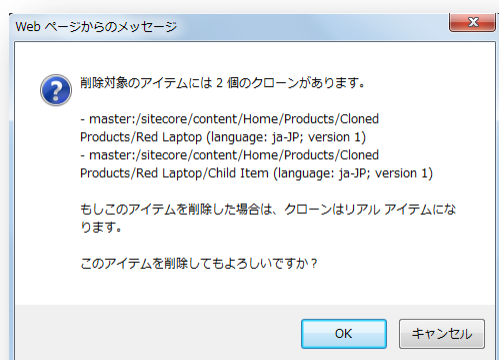
2. [設定] タブの [クローン] グループで [クローン解除] をクリックします。



クローンのすべてのフィールドはそのまま残り、クローンとオリジナルアイテムの間の接続は解消されます。クローンは通常のリアルアイテムとなります。

4.5.6 オリジナルアイテムを削除する

クローンを持つアイテムを削除しようとすると、メッセージが表示されます：



このメッセージにはアイテムのすべてのクローンと子アイテムのクローンが一覧表示されます。[OK] をクリックするとアイテムは削除され、クローンは現在のフィールド値を保持し、通常のリアルアイテムとなります。

オリジナルアイテムを削除すると、すべてのクローンはクローン解除されます。

4.5.7 クローンとワークフロー

ワークフローにあるアイテムのクローンを作成すると、ワークフローとワークフロー状態のプロパティはクローンアイテムにコピーされます。ワークフローフィールドがコピーされた後では、クローンのワークフロープロパティとオリジナルアイテムのワークフロープロパティは接続関係を持ちません。オリジナルアイテムのワークフロー状態を変更した場合、クローンのワークフロー状態は変更されません。

4.5.8 __Source フィールド

クローンの各バージョンはオリジナルアイテムの 1 つのバージョンに接続されています。これは [高度な設定] セクションの [__Source] フィールドに定義されています。



このセクションを表示するためには、[表示] タブで [スタンダードフィールド] のチェックボックスをオンにします。

4.6 アイテムにプロフィール値を割り当てる

Sitecore 6.5 では、プロフィール カードという概念が導入されました。プロフィール カードは、コンテンツ アイテムにプロフィール値を割り当てる便利な方法です。

プロフィール カードを作成してプロフィール値を割り当てた後に、そのプロフィール カードを、Web サイトを構成するコンテンツ アイテムに割り当てることができます。コンテンツ アイテムにプロフィール カードを割り当てると、Web サイト全体で一貫したプロフィール値を実装しやすくなります。

メモ

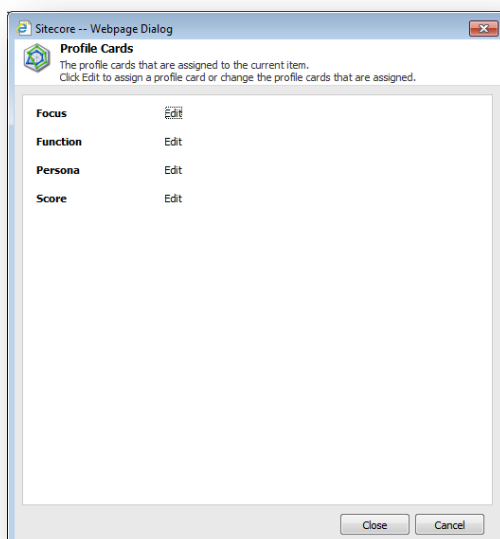
プロフィール カードをコンテンツ アイテムに割り当てるには、ページ エディターまたはコンテンツ エディターのどちらかを使用できます。

プロフィール値またはプロフィール カードをコンテンツ アイテムに割り当てる方法:

1. コンテンツ エディターで、プロフィール カードを割り当てるアイテムに移動します。



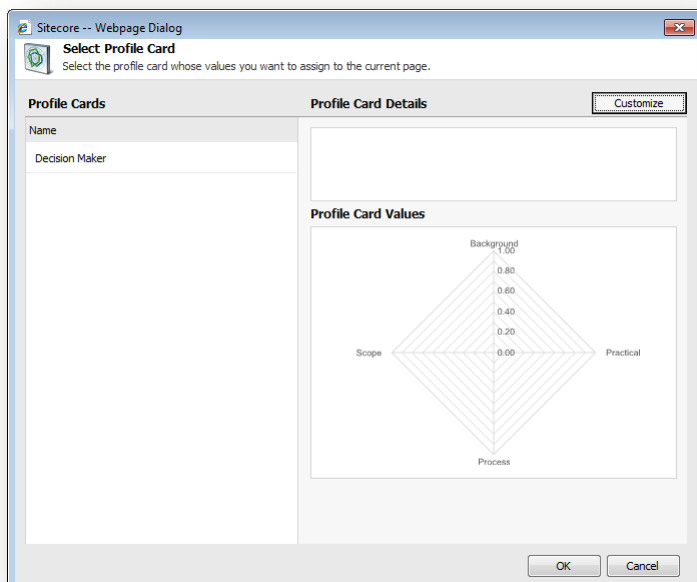
2. [コンテンツ] タブで、右上隅にあるプロフィール カードをクリックすると、[プロフィール カード] ダイアログ ボックスが表示されます。



3. [プロフィール カード] ダイアログ ボックスで、目的のプロファイルを選択して [編集] をクリックすると、[プロフィール カードの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。

表示される [プロフィール カードの選択] ダイアログ ボックスは、[プロフィール カード] アイテムの[作成時の選択] フィールドで選択したオプションに応じて異なります。

[作成時の選択] フィールドで [単一] オプションを選択した場合は、以下のような [プロフィール カードの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。



カスタムの値を割り当てる場合は、[カスタマイズ] をクリックします。

プロフィール カードの詳細については、『マーケティング オペレーション クックブック』を参照してください。

Chapter 5

リッチテキストエディター

リッチテキストエディターは Sitecore の使用するワードプロセッシングツールです。この章ではリッチテキストエディターのもつ機能のいくつかを説明します。この章での説明にはリンクの挿入、削除、管理などが含まれます。

この章には次のセクションがあります。

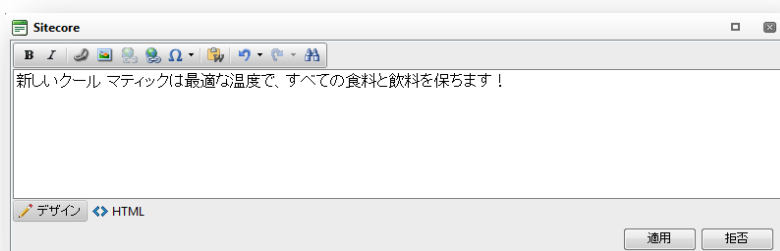
- リッチテキストエディターを使う

5.1 リッチテキストエディターを使う

ページエディターまたはコンテンツエディターでリッチテキストフィールドを編集する際には、リッチテキストエディターを使用します。これは標準的なワードプロセッシングツールですが、Sitecore では多くの書式設定機能が省かれています。これはコンテンツ作成者が作成し編集するアイテムの書式は Web サイトに実装されているスタイルシートとテンプレートによって決定されるためです。

5.1.1 テキストの編集

リッチテキストエディターを開くと、編集しているフィールドのテキストが表示されます。




そこでテキストを編集したり使用可能な機能を使うことができます。

Word からコンテンツを貼り付ける

コンテンツ作成者は Microsoft Word を使用してコンテンツを書くことに慣れている場合もあります。Word で素材を作成した後に、それをリッチテキストエディターに貼り付けることができます。

Word からコンテンツを貼り付ける手順：

1. Word で Sitecore のリッチテキストフィールドに貼り付けたいテキストを選択してコピーします。
2. Sitecore で編集するアイテムを選択し、リッチテキストエディターを開きます。
3. Word から貼り付けボタン  をクリックすると、テキストがリッチテキストエディターに貼り付けられます。

テキストが貼り付けられると、フォント、サイズ、書式などのすべての設定情報は削除されます。


5.1.2 リンクの挿入、削除、管理

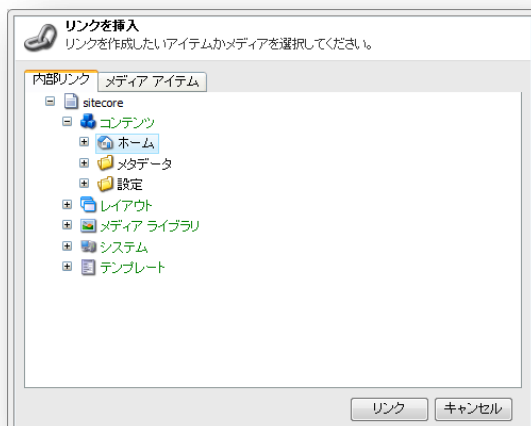
コンテンツ作成者はコンテンツのリンクを管理する必要があります。リッチテキストエディターを使ってコンテンツのリンクの挿入、削除、管理を行うことが可能です。

内部リンクを挿入する

内部リンクとは Web サイト内の他のアイテムへのリンクです。

内部リンクを追加する手順:

1. リッチテキストエディターでリンクを作成する画像またはテキストを選択します。リンクの挿入ボタン  をクリックします。




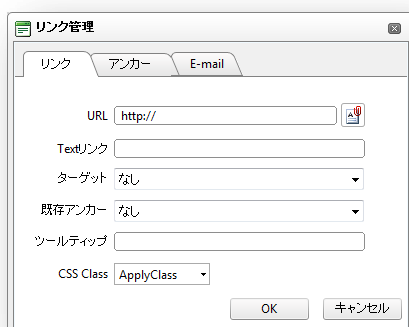
2. [リンクを挿入] ダイアログボックスの [内部リンク] タブでコンテンツツリーを展開し、リンクの作成先とするアイテムを選択します。
または、リンクの作成先とするアイテムが画像またはメディアファイルである場合、[メディアアイテム] タブをクリックします。
3. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。

外部リンクを挿入する


外部リンクとは他の Web サイトへのリンクです。

外部リンクを追加する手順:

1. リッチテキストエディターでリンクを作成する画像またはテキストを選択します。画像の挿入ボタン  をクリックします。



2. [リンク管理] ダイアログボックスでリンク先とする Web サイトに関する情報を入力します。


フィールド	値
URL	Web サイトのURL。
ドキュメントマネージャー 	リンク先のメディアアイテム。
Text リンク	リンクのテキスト。このテキストをここで編集可能。
ターゲット	リンクが開くターゲットウィンドウ。
既存アンカー	アンカーがすでに存在するかどうかを指定する。
ツールタイプ	リンク上にマウスを移動した場合に表示されるツールタイプ。
CSS クラス	リンクが使用するスタイルシート。

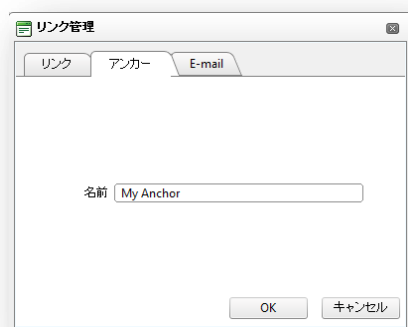
ハイパーリンクの管理

[リンク管理] ダイアログボックスを使用して、既存のリンクを編集したり、アンカーを作成したり、電子メールリンクを作成したりすることが可能です。

アンカーとは他のページやページ内の特定のセクションへのリンクを作成するために使用される HTML コードです。

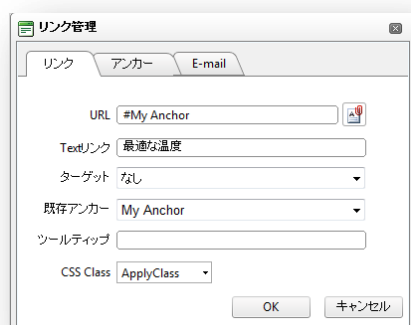
アンカーを作成する手順:

1. リッチテキストエディターで、アンカーとする画像またはテキストを選択します。
2. 画像の挿入ボタン  をクリックします。
3. [リンク管理] ダイアログボックスで、[アンカー] タブをクリックします。




4. [名前] フィールドで、アンカーの名前を入力します。

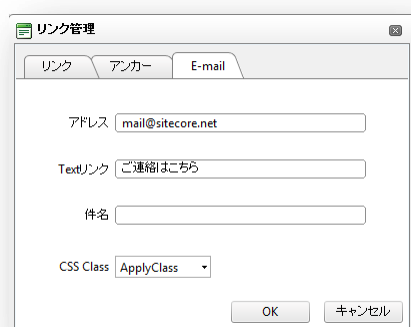
5. [リンク管理] ダイアログボックスでアンカーを選択することによって、アンカーへのリンクを作成することができます。



さらに [リンク管理] を使って電子メールリンクを作成することも可能です。電子メールリンクはMicrosoft Outlook などの電子メールプログラムで新しいメールを開きます。その電子メールは電子メールリンクで指定された電子メールアドレスに送信されます。


電子メールリンクを追加する手順:

1. リッチテキストエディターでリンクを作成する画像またはテキストを選択します。
2. 画像の挿入ボタン  をクリックします。
3. [リンク管理] ダイアログボックスで、[電子メール] タブをクリックします。



4. [アドレス] フィールドで、メールの宛先とする電子メールアドレスを入力します。
5. [件名] フィールドには電子メールの [件名] フィールドに表示するテキストを入力します。

リンクを削除する

リンクを削除するためには、リッチテキストエディターでリンクを選択し、リンクの削除ボタン  をクリックします。リンクは削除され、テキストは普通のテキストとなります。

メモ

[リンク管理]を使用して Web サイト上に存在する任意のリンクを編集することが可能です。

Chapter 6

メディアライブラリ

この章では Sitecore のメディアライブラリとその機能について紹介します。メディアライブラリを使用して画像、オーディオ、ビデオなどのさまざまなメディアアイテムをアップロードしたり編集したりする方法を説明します。またバージョン管理などのさらに高度なオプションについても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- 概要
- メディアライブラリのユーザーインターフェース
- メディアファイルをアップロードする
- メディアアイテムを編集する
- メディアアイテムとバージョン管理

6.1 概要

メディアライブラリを使って Web サイトで使用するすべてのメディアファイルを保存します。画像などのメディアファイルは Web ページに埋め込むことができます。また Web サイトのユーザーがダウンロード可能なように提供することもできます。メディアライブラリは次のファイルを含むことが可能です。

- 画像—.jpg、.gif、.pngおよびその他のフォーマット
- Word 文書—.doc、.docxファイル
- PDF文書
- ビデオ—.MPEG、.WMVおよびその他のフォーマット
- オーディオファイル—.MP3およびその他のオーディオフォーマット

Sitecore は画像の編集に使用することのできるイメージエディターを備えています。または自分の好みのイメージ編集ソフトウェアを使用することも可能です。

メディアライブラリには次のメリットがあります：

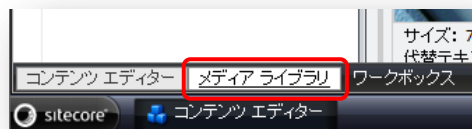
- すべてのメディアファイルを 1 箇所にまとめて、それをコンテンツツリーのようなフォルダー構造で整理することができます。
- 素早くメディアファイルを見つけるために、コンテンツツリー上を移動したり、Sitecore の検索機能を活用したりすることができます。
- メディアファイルを容易にメディアライブラリにアップロードすることが可能です。アップロードボタンをクリックしてコンピューター上の画像を参照するか、またはダイアログボックスにドラッグ&ドロップを行って、メディアファイルを追加することができます。
- すべてのメディアコンテンツアイテムとメディアファイルはバージョン管理を行うことが可能です。

6.1.1 メディアライブラリを開く

いくつかの方法によってメディアライブラリを開くことができます：

コンテンツエディター

1. Sitecore に管理者としてログインし、デスクトップを選択します。
2. Sitecore メニューをクリックし、次にコンテンツエディターをクリックします。
3. コンテンツエディターのコンテンツツリーで [メディアライブラリ] ノードをクリックします。
またはコンテンツエディターの下部にあるバーの [メディアライブラリ] をクリックします。

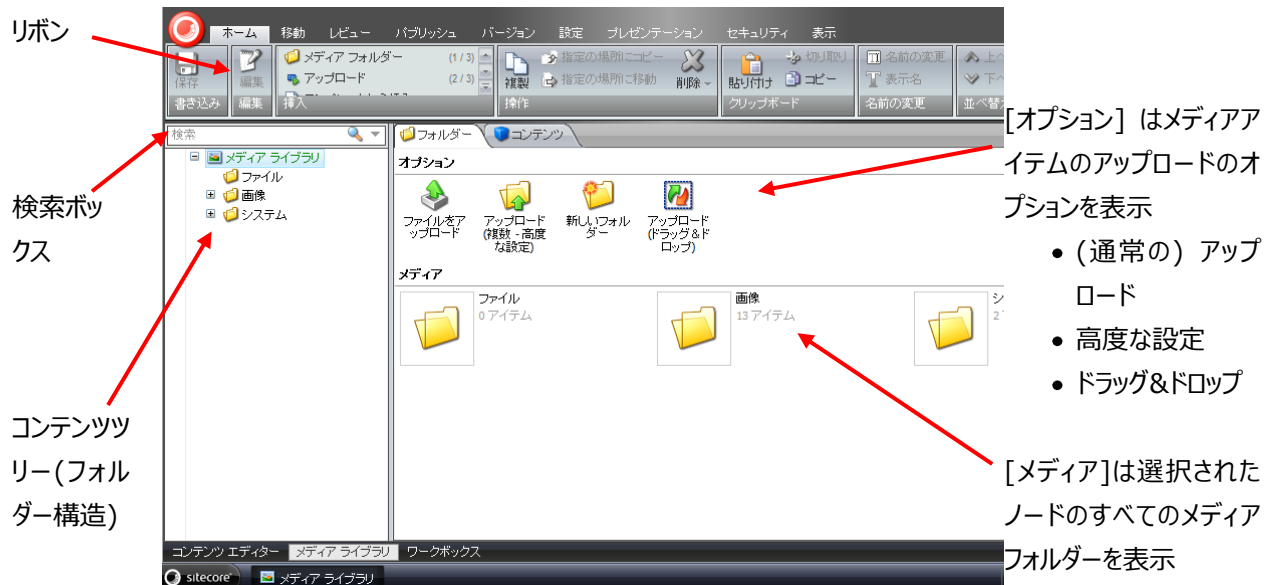


Sitecore メニュー

1. Sitecore に管理者としてログインし、デスクトップを選択します。
2. Sitecore メニューをクリックし、次に [メディアライブラリ] をクリックします。

6.2 メディアライブラリのユーザーインターフェース

メディアライブラリのユーザーインターフェースは次の要素を持っています:



リボン

メディアライブラリのリボンではコンテンツエディターと同じ選択肢がありますが、[挿入]グループでは新規のメディアフォルダーを作成してメディアファイルをアップロードすることが可能です。

コンテンツツリーでメディアアイテムを選択した場合には [メディア] タブが表示され、それによって 2 つのグループのアクションを選択することが可能です:

- 書き込み一変更を保存する
- メディア一表示、編集、ダウンロード、ドラッグ&ドロップ

メモ

リボンに表示される機能は Web サイト管理者から割り当てられたユーザーアクセス権に依存します。

コンテンツツリー

メディアアイテムを探すには、コンテンツツリーまたは検索ボックスを使用します。すべてのサブフォルダーを参照するためにはコンテンツツリーのノードを展開します。サブフォルダーを非表示にするためにはノードを閉じます。

メディアライブラリのコンテンツツリーはコンテンツエディターまたはメディアライブラリから表示することができます。

フォルダー

[フォルダー] タブはメディアライブラリで選択されたフォルダーのオプションとメディアコンテンツを表示します。

すべてのメディアファイルをフォルダーに保存し、フォルダーには意味のある名前を付けます。

メディアライブラリのフォルダー構造を整理する容易な方法は、Web サイトの構造をミラーすることです。たとえば、Web サイトに次の 4 つのメインのセクションがあるとします: Home、Products、Jobs、Contact Us。その場合、それらと同じ名前の 4 つのフォルダーを作成して画像およびその他のメディアを保存することができます。こうすることで、サイトが拡張されメディアアイテムをアップロードする必要が生じた場合にも、メディアアイテムを見つけることが容易になります。

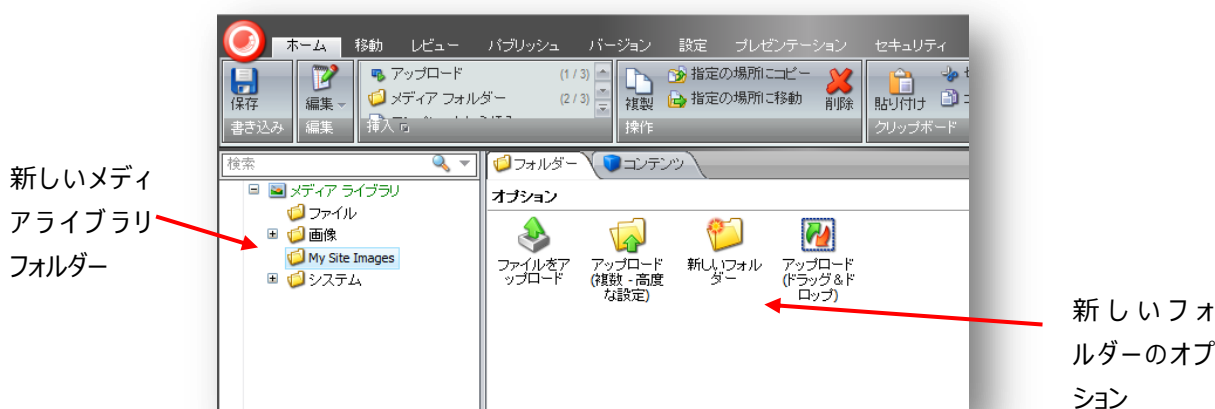
6.2.1 メディアライブラリで新しいフォルダーを作成する

メディアライブラリのコンテンツツリーで新しいフォルダーを作成することができます。必要であればさらにサブフォルダーを追加することもできますが、フォルダー構造はできる限りシンプルで整ったものにします。

新しいフォルダーを作成する手順:

1. [オプション] ウィンドウで、[新しいフォルダー] をクリックします。
2. 新しいフォルダーに、たとえば [My Site Images] などのような名前を付けます。

新しいフォルダーはコンテンツツリーで他のフォルダーと同じレベルに表示されます。



3. 新しいフォルダーを選択すると、[メディアフォルダー] タブの [オプション] が表示されます。
新しいフォルダーには他のメディアライブラリのフォルダーと同様のアップロードのオプションがあります。
これで新しいフォルダーにメディアアイテムのアップロードを開始することができます。

6.3 メディアファイルをアップロードする

メディアライブラリでは 3 つの方法でメディアファイルをアップロードすることができます:

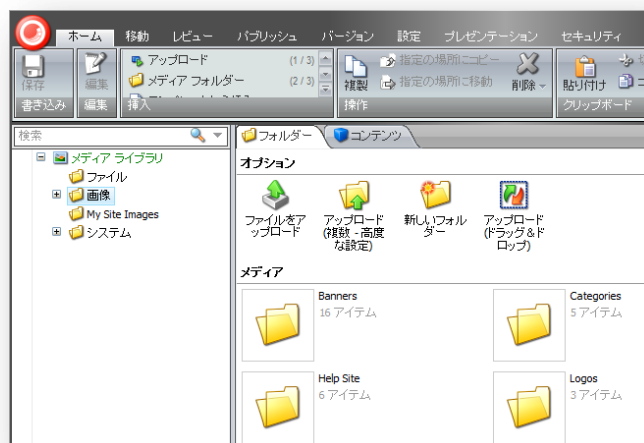
- ファイルをアップロード
- ファイルのアップロード (複数 - 高度な設定)
- ドラッグ&ドロップ

6.3.1 ファイルのアップロード

[アップロード] ボタンを使用して、1 つまたは複数のファイルをメディアライブラリに追加します。

1 つのメディアファイルをアップロードする手順:

1. [メディアライブラリ] の [コンテンツツリー] で [画像] フォルダなどのアップロード先のフォルダを選択します。
2. 右側のウィンドウの [オプション] セクションで [ファイルをアップロード] をクリックします。

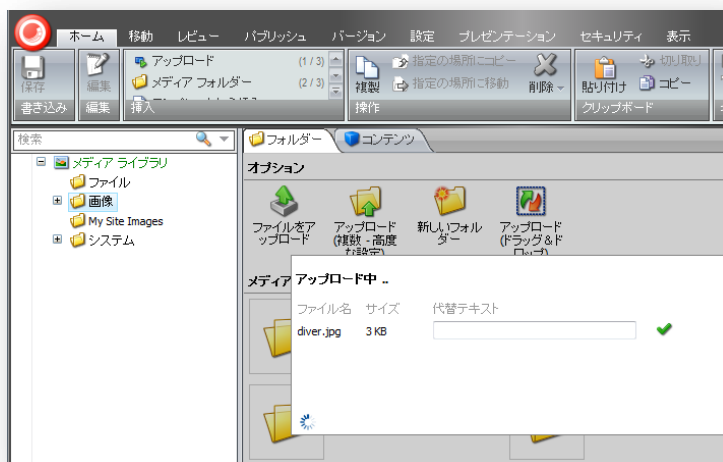


3. [アップロードするファイルの選択] ダイアログボックスでコンピューター上のイメージフォルダを参照し、アップロードするファイルを選択します。

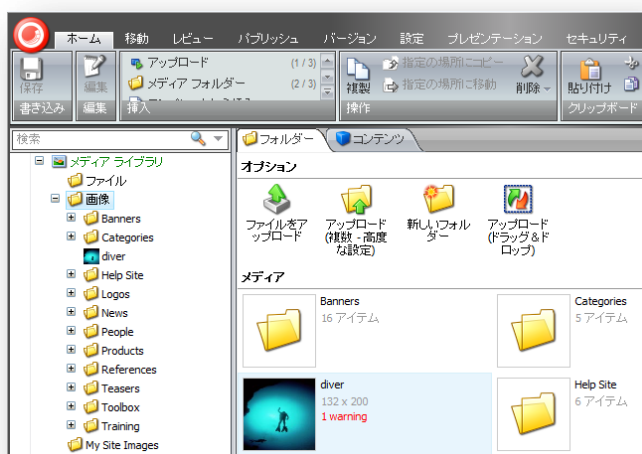


4. [開く] をクリックします。

アップロードの過程では次のような情報が表示されます：



5. アップロードが完了すると、画像はメディアライブラリの [画像] フォルダに表示されます。

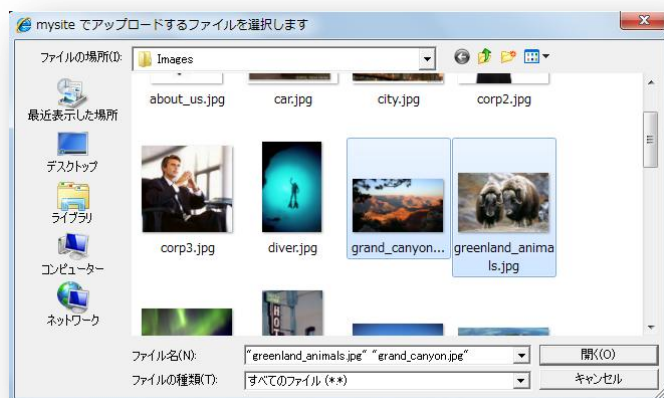


6.3.2 ファイルのアップロード (複数 - 高度な設定)

[アップロード (複数 - 高度な設定)] ボタンを使用して、1 つまたは複数のファイルをメディアライブラリにアップロードします。

複数のファイルをアップロードする手順：

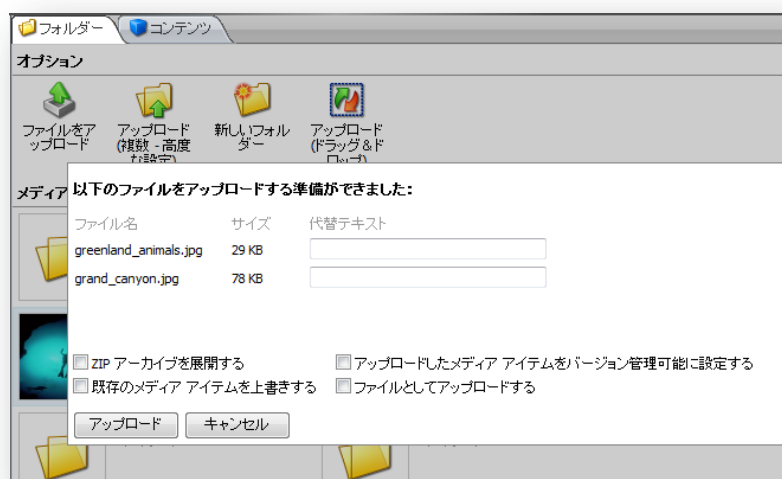
1. [メディアライブラリ] の [コンテンツツリー] で [画像] フォルダを選択します。
2. 右側のウィンドウの [オプション] セクションで [アップロード (複数 - 高度な設定)] をクリックします。



3. [アップロードするファイルの選択] ダイアログボックスで、コンピューター上のアップロードするファイルを含むイメージフォルダーを参照します。

複数のファイルを選択するためには、CTRLキーを押しながらファイルを選択します。

4. [開く] をクリックします。
5. アップロードが開始される前に、下記のようなダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスは次の情報およびアップロードの追加のオプションを含んでいます：

フィールド	説明
ファイル名	アップロードするファイルの一覧を表示します - ファイル名と拡張子 (たとえば jpeg、gif、png など)。
サイズ	各ファイルのサイズをキロバイト単位で表示します。
代替テキスト	画像をアップロードする場合の代替の説明を入力します。

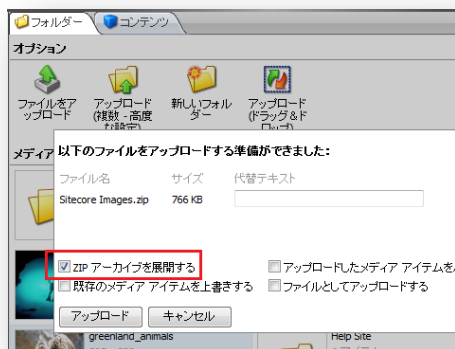
フィールド	説明
Zipアーカイブの展開	Zip アーカイブファイルをアップロードしてメディアライブラリに展開する場合にはこのオプションを選択します。
既存のメディアアイテムを上書きする	すでにメディアライブラリに存在するファイルと同じ名前でファイルをアップロードして既存のファイルを上書きする場合には、このオプションを選択します。 このオプションを選択しない場合には重複したファイルがメディアライブラリに作成されます。
アップロードしたメディアアイテムをバージョン管理可能に設定する	アップロードしているファイルをバージョン管理可能にする場合にはこのオプションを選択します。 このオプションを選択しない場合には、バージョン管理はオフのままとなります。
ファイルとしてアップロードする	ファイルをデータベースとしてではなくファイルシステムのファイルとして保存する場合には、このオプションを選択します。

6. [アップロード] をクリックします。

アップロードされたイメージがメディアライブラリのImagesフォルダーに表示されます。

複数のファイルをバッチアップロードする

1. ローカルのコンピューターにアップロードするファイルで .zipアーカイブファイルを作成します。ファイルを含むサブフォルダーを含めることもできます。
フォルダー構造はファイルがメディアライブラリに展開されたあとで再構築されます。
2. メディアライブラリでファイルのアップロード先のフォルダーを選択します。
3. 右側のウィンドウの [メディアフォルダー] タブで [アップロード (複数 - 高度な設定)] をクリックします。
4. [アップロードするファイルの選択] ダイアログボックスで .zipアーカイブを参照します。
5. [開く] をクリックします。
6. [Zipアーカイブを展開する] チェックボックスをオンにします。

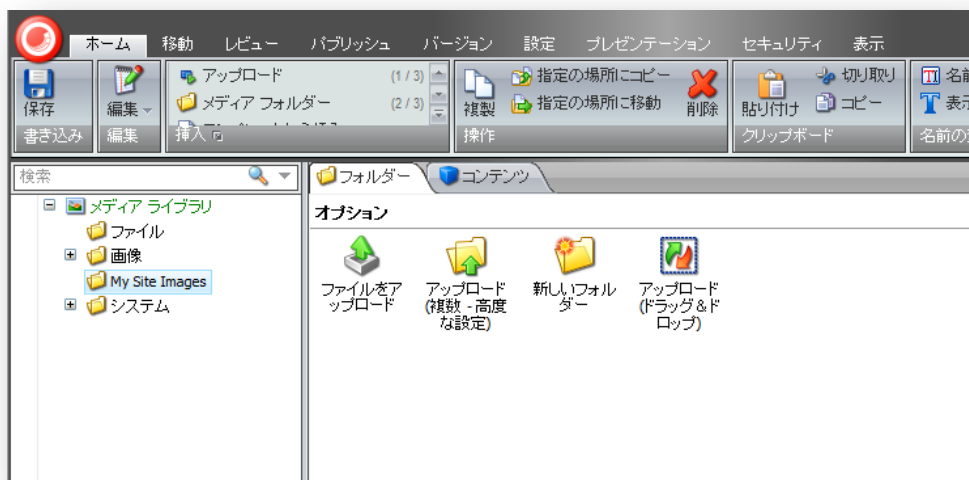


7. [アップロード] をクリックします。

アーカイブはアップロードされて選択したメディアライブラリのフォルダーに展開されます。

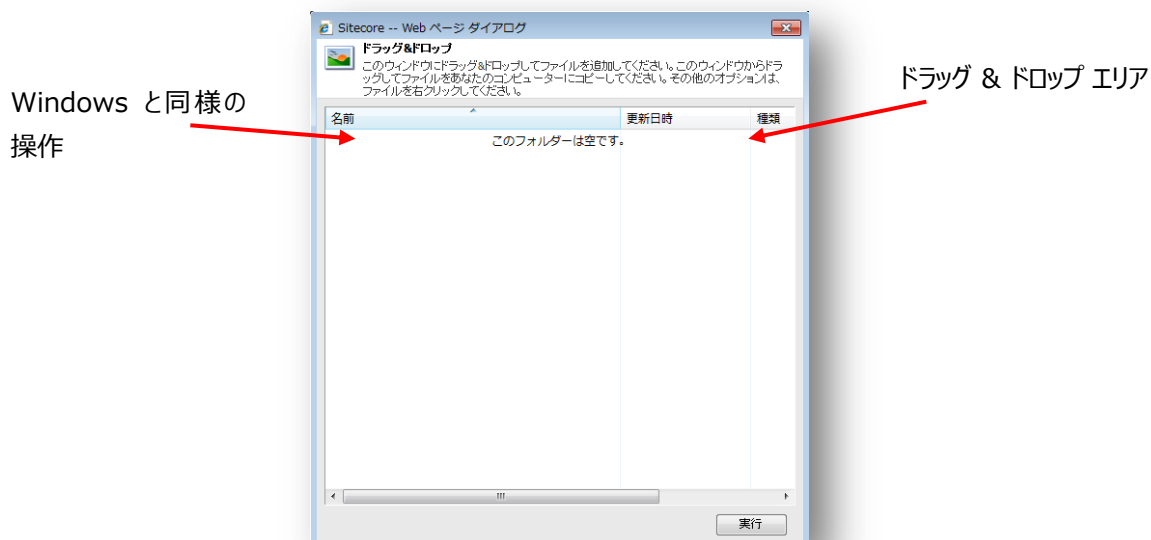
6.3.3 ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードする

ファイルをメディアライブラリにアップロードするためにドラッグ&ドロップを使用することも可能です。ドラッグ&ドロップはメディアアファイルメディアライブラリにアップロードするのに最も素早くて容易な方法です。コンピューター上の 1 つまたは複数のファイルを [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを使ってアップロードすることができます。



ファイルをメディアライブラリにドラッグ&ドロップする手順:

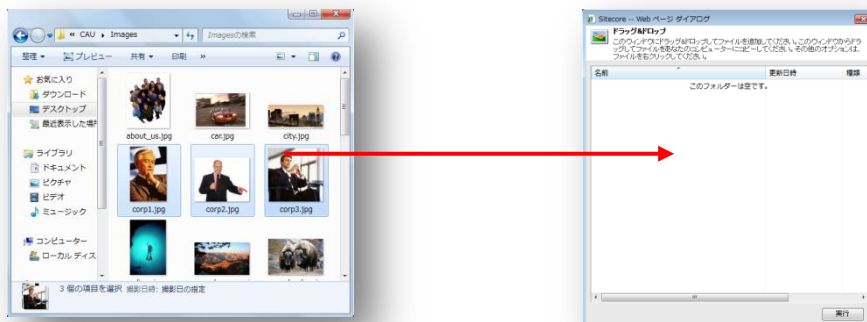
1. メディアライブラリでファイルのアップロード先のフォルダーを選択します。
この例では My Site Images という名前の新しいフォルダーを作成しました。
2. [メディアフォルダー] タブで [アップロード (ドラッグ&ドロップ)] をクリックして [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開きます。



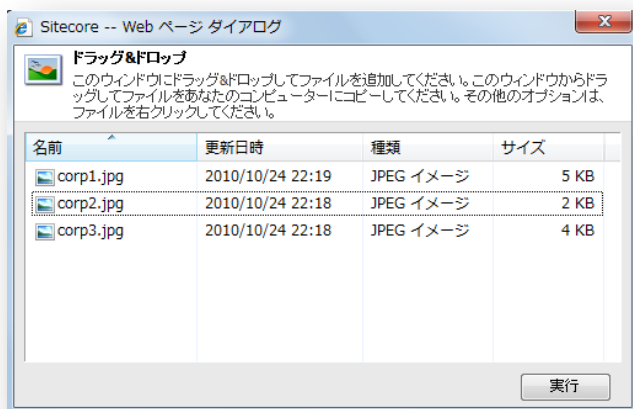
3. Windows エクスプローラーを開きます。
4. Windows エクスプローラーで画像が保存されているフォルダーに移動し、アップロードする画像を選択します。



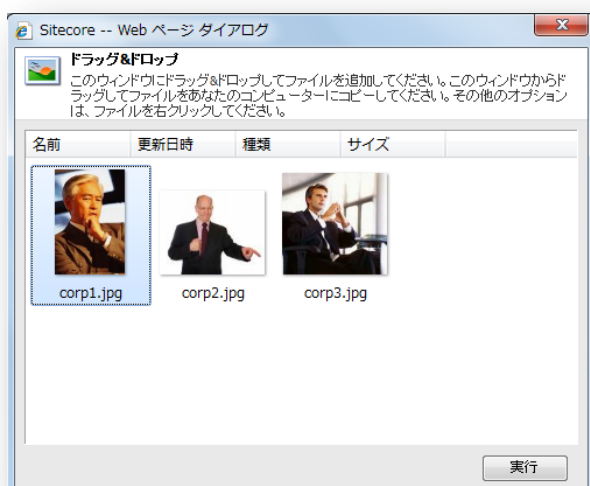
5. Windows エクスプローラーウィンドウを [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスの横に配置します。
6. 選択した画像をWindows エクスプローラーから [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスにドラッグします。



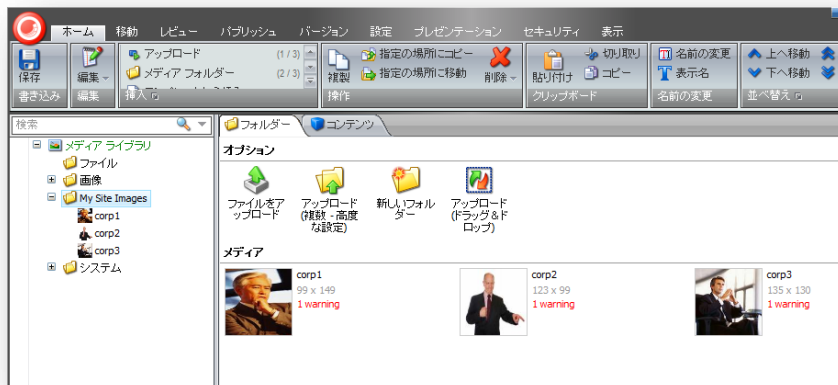
[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスにアップロードする画像が表示されます。



7. フォルダーに画像がすでに含まれている場合には、新しいイメージをダイアログボックスの下部に表示されているサムネイルの行にドラッグする必要があります。



- すべての画像を [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスにドラッグした後に [実行] をクリックして [メディアライブラリ] にコピーします。
- これで [メディアライブラリ] の [メディア] セクションにアップロードした画像が表示されます。各アイテムには warning (注意) が表示されています。



- 各画像のメディアアイテムを開き、[代替] フィールドにテキストを入力します。これで各アイテムから warning (注意) は消えました。

メモ

ドラッグ&ドロップ機能は現時点では Internet Explorer 7 以降のみでサポートされています。Mozilla Firefox など他のブラウザを使用している場合、メディアライブラリへファイルをアップロードするためには [アップロード] と [アップロード (複数 - 高度な設定)] のオプションのみを使用することができます。

Internet Explorer でのドラッグ&ドロップのサポートを構成するための追加情報は、SDN (Sitecore デベロッパーネットワーク) から『WebDAV 構成』を参照してください。

6.4 メディアアイテムを編集する

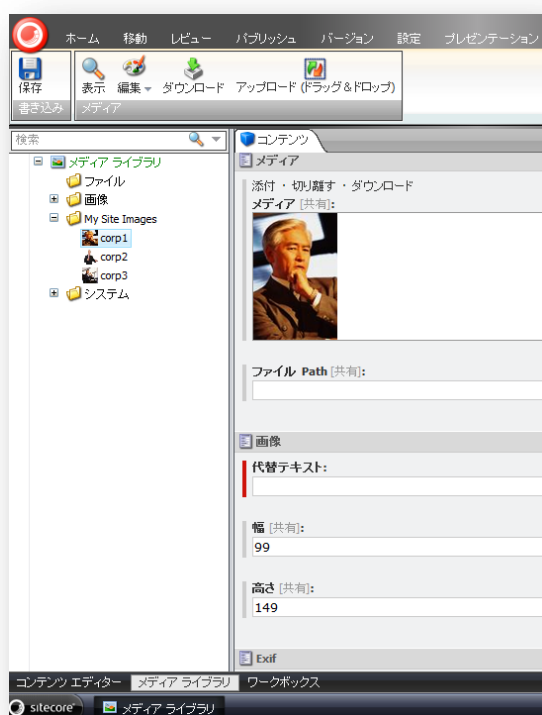
メディアライブラリでは画像や文書やビデオなどのメディアアイテムを編集するためにイメージエディターなどの Sitecore のツールを使用したり、またはコンピューター上にインストールされている他のアプリケーション、たとえば Microsoft Word を使って文書を編集したり、Adobe Photoshop を使って画像を編集したりすることもできます。

6.4.1 メディアファイルとメディアアイテム

メディアアイテムの編集を始める前に、メディアファイルとメディアアイテムの違いを理解することが重要です。コンピューター上のマイピクチャーに保存されている画像はメディアファイルです。画像ファイルをそこから Sitecore メディアライブラリにアップロードすると、それはメディアアイテムに添付され、その後はメディアアイテムと呼ばれます。

Sitecoreではメディアアイテムはいくつかのフィールドをもつコンテンツアイテムの 1 つで、[メディア] フィールドに常に添付されたファイルがあります。メディアアイテムを表示するためには、先にアップロードした画像の 1 つをクリックします。

Sitecoreのメディアアイテム:



6.4.2 イメージエディター

編集のためにイメージエディターで画像を開く手順:

1. Sitecore メニューをクリックします。

2. [すべてのプログラム] をクリックし、[イメージエディター] をクリックします。
3. [イメージエディター] ウィンドウで [開く] をクリックして [メディアブラウザー] を開き、画像を選択します。

メディアブラウザー

[メディアブラウザー] ウィンドウではメディアライブラリのすべてのメディアアイテムを表示することができます。メディアライブラリのコンテンツツリーのノードを展開したり折りたたんだりして、編集するメディアアイテムを探すことができます。

[メディアブラウザー] ウィンドウから新しいメディアアイテムをアップロードするためには、[アップロード] または [ドラッグ&ドロップ] をクリックします。



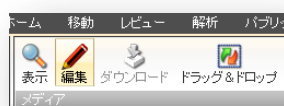
メモ

コンテンツエディターからメディアブラウザーにアクセスすることも可能です。コンテンツアイテムの [画像] フィールドで [参照] をクリックして [メディアブラウザー] ウィンドウを開きます。

6.4.3 編集のオプション

メディアアイテムをローカルコンピュータ上で編集することも可能です。たとえば、他のアプリケーションを使用して画像を編集し、それからそれをメディアライブラリにアップロードすることもできます。

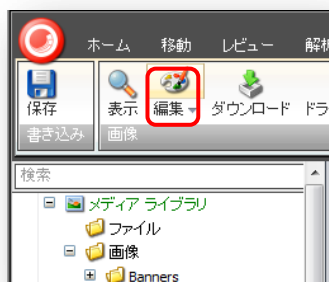
メディアアイテムをクリックしたとき、[メディア] グループの [編集] アイコンは編集するファイルの種類によって変化します。たとえば、Word の文書をクリックした場合には、関連付けられたアイコンとして鉛筆が表示されます。



画像をクリックすると、パレットが表示されます。




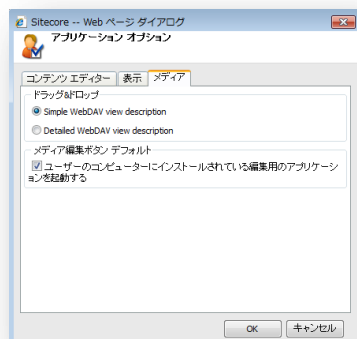
画像アイテムを選択し [編集] コマンドの上半分をクリックすると、デフォルトではSitecore イメージエディターでイメージを開きます。



デフォルトの設定を変更して別の画像編集プログラムを使用することも可能です。

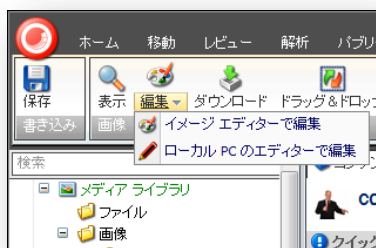
デフォルトの画像エディターを変更する手順:

1. [メディアライブラリ]で Sitecore ボタン  をクリックし、次に [アプリケーションオプション] をクリックします。



2. [アプリケーションオプション] ダイアログボックスで、[メディア] タブをクリックします。
3. [メディア編集ボタンデフォルト] セクションで [ユーザーのコンピューターにインストールされている編集用のアプリケーションを起動する]のチェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックして変更を保存します。

[メディア] グループで [編集] の矢印をクリックすると、ドロップダウンリストが表示されます。



- イメージエディターで編集する
- ローカルエディターで編集する

このオプションはデフォルトの設定を上書きし、使用するエディターを選択することができます。

6.4.4 メディアアイテムの編集にドラッグ&ドロップを使用する

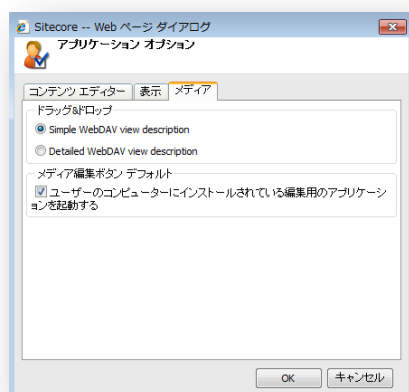
ドラッグ&ドロップを使用してファイルを選択して編集することも可能です。

しかし、ファイルの表示方法と [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスでの編集作業の挙動を制御するアプリケーションオプションがあります。

ドラッグ&ドロップアプリケーションオプション

ドラッグ&ドロップアプリケーションオプションを設定する手順:

1. メディアライブラリで Sitecore メニューをクリックし、次に [アプリケーションオプション] をクリックします。



2. [アプリケーションオプション] ダイアログボックスで、[メディア] タブをクリックします。
3. [ドラッグ&ドロップ] セクションで [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスの表示設定を指定することができます。
2 つのオプションがあります:

- **ファイルの最新バージョンのみを表示する**

このオプションを選択すると次のようになります:

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスは各メディアファイルの最新のバージョンのみを表示します。

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開いて、最新バージョンのメディアファイルを削除すると、ファイルのすべてのバージョンが削除されます。

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開いて、メディアファイルを編集すると、変更を保存するときにファイルの新しいバージョンが自動的に作成されます。

- **フォルダーのバージョン管理されたファイルを表示する**

このオプションを選択すると次のようになります:

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスはフォルダーのファイルのすべてのバージョンを表示します。Web サイトが使用している各言語には別のフォルダーが作成されます。

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開いて、あるバージョンのメディアファイルを削除すると、ファイルのそのバージョンのみが削除されます。

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開いて、メディアアイテムを編集するときには、[名前を付けて保存] をクリックして、アイテムの新しいバージョンを作成する必要があります。

4. [メディア編集ボタンデフォルト] セクションではメディアファイルを編集するためにどのアプリケーションを使用するかを指定します。

[ユーザーのコンピューターにインストールされている編集用のアプリケーションを起動する] のチェックボックスをオンにすると、コンピューター上で画像ファイルの拡張子と関連付けられている画像編集アプリケーションが使われます。これはデフォルトの設定です。

このチェックボックスをオフにした場合、Sitecore イメージエディターが使用されます。

ドラッグ&ドロップとバージョン管理に関する追加情報は、100ページの「ドラッグ&ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する」を参照してください。

ドラッグ&ドロップウィンドウからファイルを編集する

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスからメディアアイテムを編集することも可能です。

1. メディアフォルダーを選択して [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスを開きます。
2. [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスで編集する画像を選択します。
3. 画像を右クリックし [アプリケーションで開く] をクリックし、表示されるメニューから画像編集アプリケーションを選択します。
4. 画像が画像編集プログラムで開きます。

5. 編集アプリケーションで画像を編集し変更を保存します。

[保存] をクリックすると、元の画像ファイルは上書きされます。

[名前をつけて保存] をクリックすると、[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスに新しい画像を作成します。ファイルを再度アップロードする必要はありません。画像に行ったすべての変更は [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスに保存されます。

6. [ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスで [実行] をクリックします。

6.5 メディアアイテムとバージョン管理

Sitecore では Web サイトには複数のコンテンツアイテムが含まれます。各コンテンツアイテムはテキストや画像などのコンテンツを含んだフィールドから構成されています。メディアライブラリはメディアアイテムを含んでいます。メディアアイテムはコンテンツアイテムの 1 つです。しかし、メディアアイテムにはメディアという追加のフィールドがあります。このフィールドには添付されたメディアファイルがあります。

コンテンツアイテムまたはメディアアイテムでは複数のバージョンを作成することが可能です。作成できるバージョンには 2 つの種類があります。

- **数値バージョン**

たとえば、製品ページのバージョン 2 を作成して、それを期間限定の特別プロモーションのために使用することができます。このプロモーション用に画像を特別にトリミングし、その後は元の画像に戻すことが可能です。

- **言語バージョン**

たとえば、まずデンマーク語のページを作成し、次にその英語バージョンを作成することができます。したがって両方の言語で表示する代替テキストをもつ画像が必要です。

先述のとおり、バージョン管理はコンテンツアイテムとメディアアイテムで同じように適用されます。しかし、メディアライブラリにアップロードされたメディアファイルも同様にバージョン管理可能です。

メモ

Sitecore で作成できるバージョンの数は無制限です。

6.5.1 バージョン管理されたメディアアイテムとバージョン管理されたメディアファイル

Sitecoreではバージョン管理されたメディアアイテムとバージョン管理されたメディアファイルには重要な相違点があります。次のシナリオでその違いを説明します：

シナリオ 1

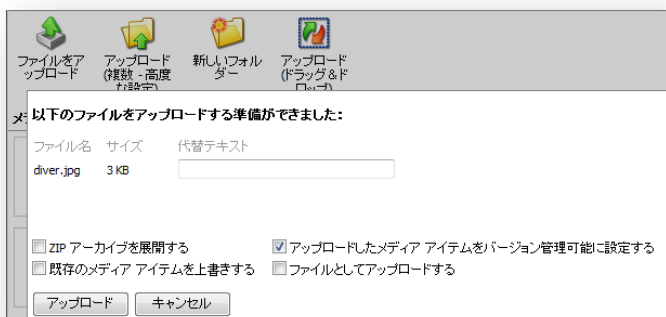
diverという名前のメディアアイテムがあるとします。コンテンツエディターで [バージョン] タブをクリックし、このアイテムのバージョン 2 を作成します。

このアイテムの [メディア] フィールドに添付された画像ファイル (diver.jpg) はデフォルトではバージョン管理されていません。

会社の春のキャンペーンのために、このアイテムのバージョン 2 を別の代替テキストを使って作成するとします。添付のメディアファイルdiver.jpgはバージョン管理されていないので、新しいバージョンを作成してもそのまま残ります。アイテムのフィールドの情報だけが変更されます。このアイテムのバージョンをどれだけ作成しても、添付のメディアファイル (diver.jpg) は変わらずにそのまま残ります。

シナリオ 2

diver.jpgという名前のメディアアイテムがあるとします。このシナリオでは、ファイルをメディアライブラリにアップロードする前に、それをバージョン管理可能とすることになりました。そのためには、[アップロード (複数 - 高度な設定)] ダイアログボックスで、[アップロードしたメディアアイテムをバージョン管理可能に設定する] のチェックボックスをオンにします。



これでアイテムのバージョン 2 を作成したときにメディアファイルに行う変更も保存することができます。たとえば、画像をトリミングしたり編集したりする場合には、ファイルに変更を行ってバージョン 2 を作成することができます。

メモ

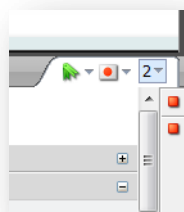
新しいメディアファイルをメディアライブラリにアップロードする場合には、デフォルトではバージョン管理は無効になっています。

6.5.2 メディアアイテムのバージョン 2 を作成する

メディアアイテムのバージョン 2 を作成する手順:

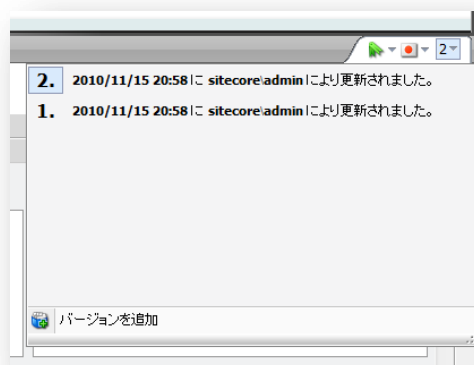
1. メディアライブラリのコンテンツツリーでメディアアイテムを選択します。
2. [バージョン] タブをクリックし、[バージョン] グループで [追加] をクリックして新しいバージョンを追加します。

diverメディアアイテムの右上で数字の 2 が表示されています。これが作成したアイテムの新しいバージョンの番号です。



バージョンを切り替えるには次のようにします:

1. バージョン番号の横のドロップダウンメニューをクリックすると、選択したアイテムのすべてのバージョンが表示されます。



2. 表示するバージョンの番号をクリックします。

数値バージョンと言語バージョンの両方がここに表示されます。

[バージョン] グループから [バージョン] コマンドをクリックして別のバージョンを表示することも可能です。

6.5.3 バージョン管理可能なメディアファイルを使う

メディアライブラリにアップロードするメディアファイルは、デフォルトではバージョン管理可能に設定されていません。しかし、メディアファイルはメディアライブラリにアップロードされた後でバージョン管理可能に設定することができます。

どのような理由でメディアファイルをバージョン管理可能に設定する必要があるでしょうか。たとえば画像を編集した際に、画像の古いバージョンに戻したいと考える場合があります。

メディアファイルをバージョン管理可能に設定するためには 2 通りの方法があります。

- ドラッグ&ドロップ
- ファイルのアップロード (複数 - 高度な設定)

ドラッグ&ドロップのファイルをバージョン管理可能に設定する

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスにアップロードするすべてのメディアファイルをバージョン管理可能に設定する手順:

1. メディアライブラリを開きます。
2. Sitecore ボタンをクリックし、次に [アプリケーションオプション] をクリックします。
3. [アプリケーションオプション] ダイアログボックスで [ドラッグ&ドロップ] タブをクリックし、[ファイルの最新のバージョンのみを表示する]のオプションを選択します。

さらにweb.configファイルの構成設定を変更する必要があります。

1. web.configファイルは Web サイトの Web ルートフォルダーに保存されています：
C:\inetpub\wwwroot\YourSitecoreWebsite\Website
2. web.config ファイルを右クリックし、[プログラムから開く] をクリックし、[メモ帳] をクリックします。
3. 次の設定を検索します：

```
<setting name="Media.UploadAsVersionableByDefault" value="false" />
```

ドラッグ&ドロップ機能を使ってアップロードするすべてのメディアファイルをバージョン管理可能と設定するためには、この値をtrueに設定します。

デフォルトの設定はfalseです。

4. 変更を保存してweb.configファイルを閉じます。

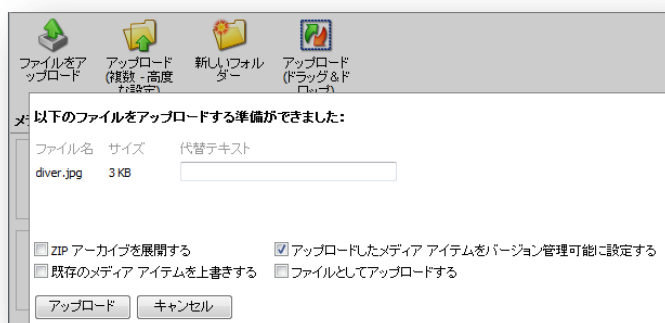
web.configファイルでこの設定を変更すると、[Drag & Drop] ダイアログボックスでアップロードしたすべてのファイルをバージョン管理可能にします。

[ドラッグ&ドロップ] ダイアログボックスがメディアファイル进行操作し表示する仕組みは[アプリケーションオプション] ダイアログボックスで選択するアプリケーションオプションで決定されます。

ドラッグ&ドロップのアプリケーションオプションについての情報は、95ページの「ドラッグ&ドロップアプリケーションオプション」を参照してください。

アップロード (複数 - 高度な設定) を使ってアイテムをバージョン管理可能に設定する

1. [アップロード (複数 - 高度な設定)] ダイアログボックスで、[アップロードしたメディアアイテムをバージョン管理可能に設定する] のチェックボックスをオンにします。



2. [アップロード] をクリックします。

これで現在アップロードしているファイルをバージョン管理可能に設定します。メディアライブラリにファイルをアップロードする都度、このチェックボックスをオンにする必要があります。

Chapter 7

RSS フィード

Sitecore は RSS フィードをサポートします。この章では RSS フィードの設定方法と RSS フィードの購読方法を説明します。

Sitecore ユーザーが購読可能なクライアント RSS フィードについても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- セキュリティとクライアント RSS フィード
- RSS フィード
- Sitecore クライアントフィード
- セキュリティとクライアント RSS フィード

7.1 RSS フィード

RSS (Really Simple Syndication) はブログ、ニュース、オーディオ、ビデオなどの頻繁に更新されるマテリアルを標準化されたフォーマットで公開する Web フィードです。RSS フィードはマテリアルのフルテキストまたは要約版を含むことができます。また公開日、著者などのメタデータを含むこともできます。

RSS フィードを使うと発行者はコンテンツを自動的に配信することができます。一方 Web サイトのビジターは、これらのフィードを購読し、お気に入りの Web サイトからの更新を自動的に受け取ることができます。

Web サイトのビジターはブラウザで RSS アイコンをクリックすることでフィードを購読し、これによって購読プロセスが開始されます。RSS リーダーはユーザーの購読したフィードを更新があるかどうか定期的にチェックし、更新がある場合にはそれをダウンロードし、Web サイトの訪問者にそのフィードの監視と閲覧のためのインターフェースを提供します。

7.1.1 RSS フィードを設定する

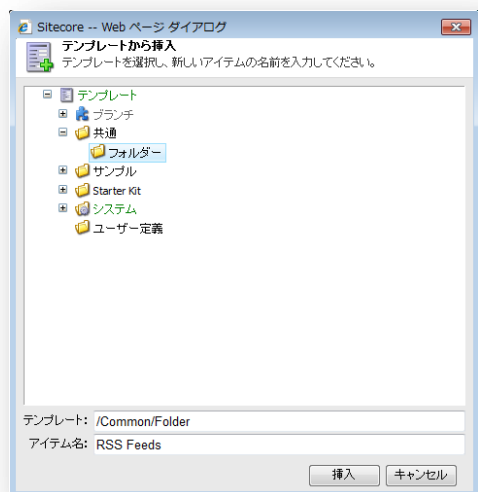
Sitecoreでは RSS フィードを設定するためにはコンテンツエディターを使用する必要があります。

通常は定期的に更新されるコンテンツアイテム、たとえばニュースアイテムやブログなどに RSS フィードを作成します。この例では、ニュースアイテムに RSS フィードを作成します。

RSS フィードを作成する前に、フィードアイテムを保存するフォルダーを作成する必要があります。

フィードアイテムのためのフォルダーを作成する手順:

1. コンテンツエディターのコンテンツツリーで Web サイトのHomeアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [挿入]グループで下向きの矢印をクリックして [テンプレートから挿入] をクリックします。

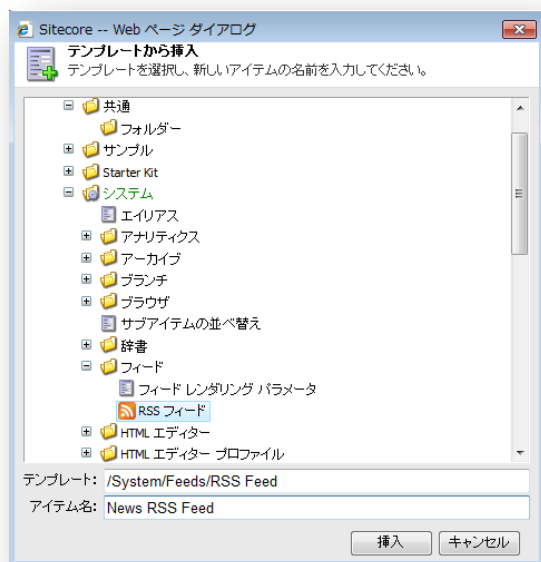


3. [テンプレートから挿入] ダイアログボックスで Templates/System/Workflow/Command に移動します。
4. 新しいフォルダーに RSS Feeds と名前を付けます。

RSS フィードを保存するフォルダーを作成したので、RSS フィードを作成することができます。

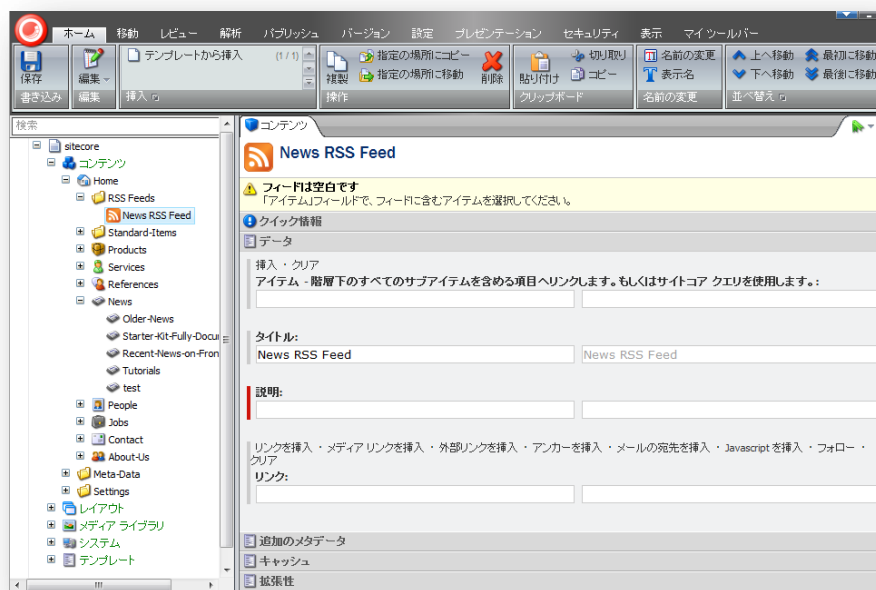
コンテンツエディターで RSS フィードを作成する手順:

1. コンテンツエディターで先ほど作成したRSS Feedsフォルダーを選択します。
2. [ホーム] タブの [挿入] グループで [テンプレートから挿入] をクリックします。



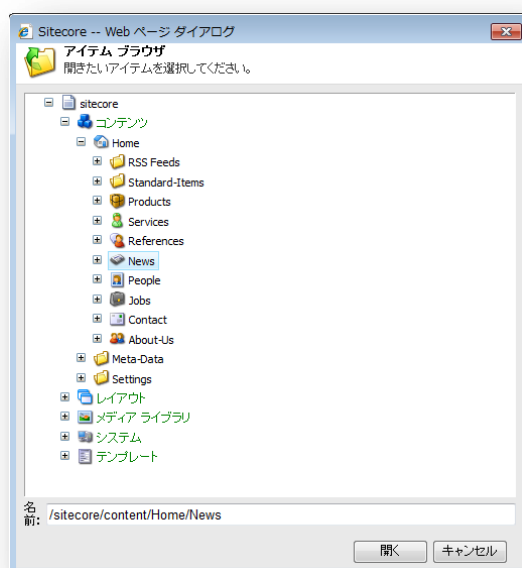
3. [テンプレートから挿入] ダイアログボックスで [Templates/System/Feeds/] に移動し、[RSS Feed] を選択してこのテンプレートをもとにフィードを作成します。
4. [アイテム名] フィールドで新しいフィードの名前をNews RSS Feedと入力します。

5. [挿入] をクリックすると新しいフィードが作成され、コンテンツエディターで開きます。



新しいフィードから、そのフィードは空であり、フィードに含むアイテムを選択する必要があるということを知らせる注意メッセージが表示されます。

6. [アイテム] フィールドで[挿入] をクリックします。



7. [アイテムブラウザー] ダイアログボックスでHomeアイテムを展開し、Newsアイテムを選択します。
これでNewsアイテムは RSS フィードに含まれます。
8. [説明] フィールドに RSS フィードの説明を入力します。
9. この新しいアイテムを保存します。

これでNews RSS Feedアイテムが作成されました。

では、フィードが含むべきコンテンツについて考えてみましょう。このフィードは購読者にNewsアイテムが更新されたことを伝えるだけではありません。このフィードは作成または更新された News 記事に関する情報を含むべきです。

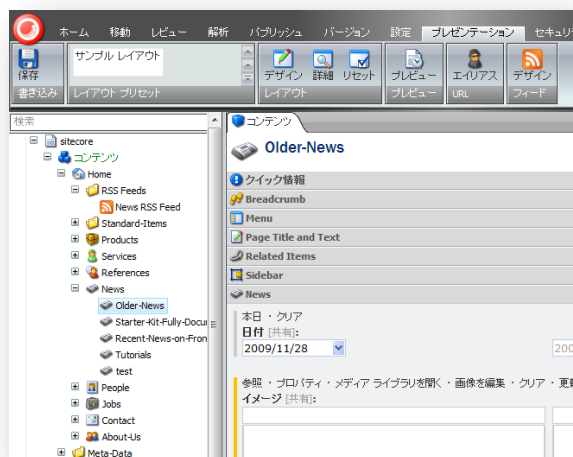
メモ

サブアイテムを持つアイテムに対する RSS フィードのみを作成することができます。サブアイテムを持たないアイテムに対して RSS フィードを作成した場合、Sitecore はそのフィードが空であるというメッセージを出します。

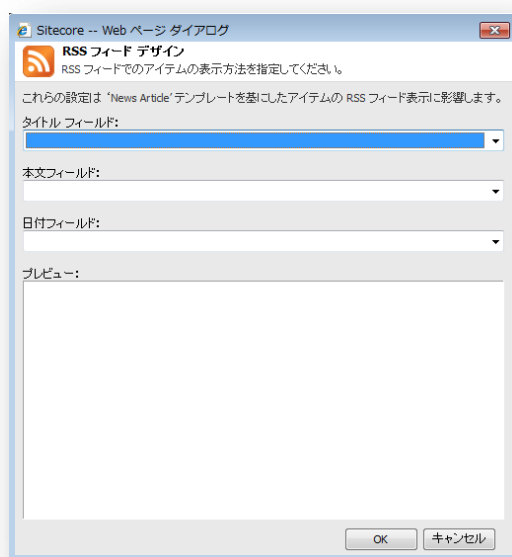
次のステップでは RSS フィードに News 記事をどのように表示するかを構成します。

RSS フィードをどのように表示するかを構成する手順:

1. コンテンツエディターでNewsアイテムを展開し、そのサブアイテムの 1 つを選択します。
2. [プレゼンテーション] タブをクリックします。



3. [プレゼンテーション] タブの [フィード] グループで [デザイン] をクリックします。



4. [RSSフィードデザイン] ダイアログボックスで、フィードをこの RSS フィードの購読ユーザーにどのように表示するかを指定します。

フィールド	値
タイトルフィールド	フィードのタイトルに表示するアイテムのフィールド。
本文フィールド	フィードの本文に表示するアイテムのフィールド。
日付フィールド	フィードに表示する日付のフィールド。このフィールドは、たとえば、アイテムが作成または更新された日付、または News が適用される日付などを表すことができます。
プレビュー	フィードのプレビュー

5. これらのフィールドを記入した後に、[OK] をクリックします。
すると [フィード] グループのデザインボタンに緑のチェックマークが表示され、RSS フィードがこのアイテムにデザインされたことを示します。
6. コンテンツエディターで変更を保存します。

重要


このアイテムと同じテンプレートをもとにした他のアイテムはフィードで同じ様式で表示されます。サブアイテムの中に別のテンプレートをもとにしたものがある場合、それらのアイテムがフィードでどのように表示されるかを指定する必要があります。

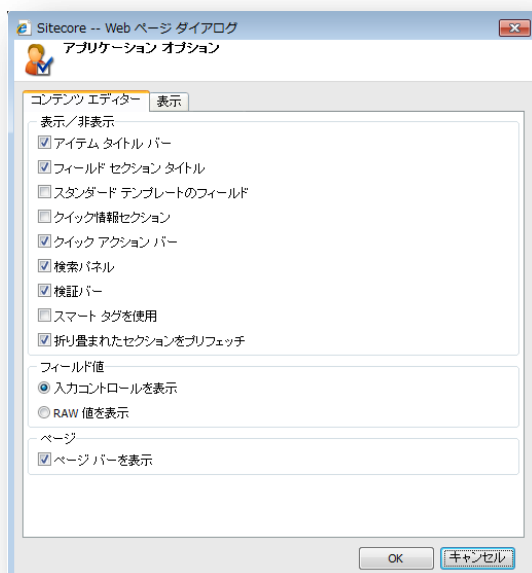
フィードの表示方法の構成を完了すると、RSS フィードアイテムの注意のメッセージは表示されなくなります。

アイテムがもとになっているテンプレートを識別する

コンテンツ作成者には Sitecore のテンプレートへのアクセス権がない場合もあります。コンテンツ作成者はコンテンツアイテムがもとになっているテンプレートを実は認識していない場合があります。

アイテムがどのテンプレートをもとになっているかを識別する手順:

1. コンテンツエディターで Sitecore ボタン  をクリックし、次に [アプリケーションオプション] をクリックします。



2. [アプリケーションオプション] ダイアログボックスで [クイック情報セクション] のチェックボックスをオンにします。
3. コンテンツエディターで対象のアイテムを選択します。
4. [コンテンツ] ウィンドウでアイテムの最上部に [クイック情報] というセクションが表示されます。
5. [クイック情報]セクションを展開します。



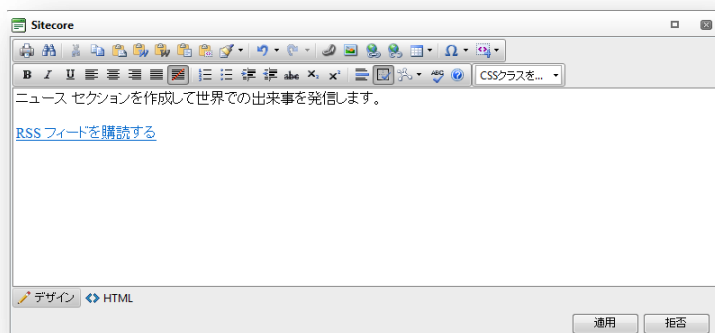
6. そのアイテムがどのテンプレートをもとになっているかが [テンプレート] フィールドに表示されます。


7.1.2 RSS フィードへのリンクを作成する

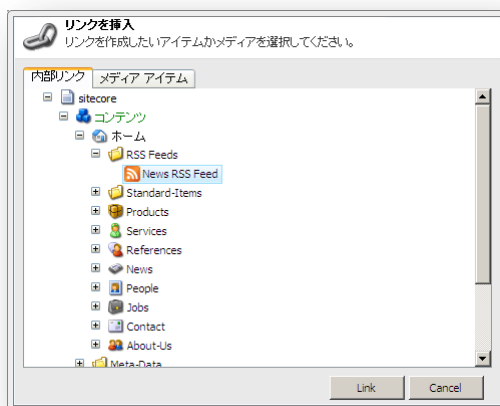
RSS フィードを定義した後に、その親のコンテンツアイテムへのリンクを作成し、ユーザーがフィードを購読できるようにする必要があります。

コンテンツアイテムへのリンクを追加する手順:

1. コンテンツエディターでNewsアイテムを開きます。
2. [テキスト] フィールドまでスクロールし、[エディターを表示] をクリックします。
3. リッチテキストエディターでリンクのためのテキストを入力します。



4. そのテキストを選択し、リンクの挿入ボタン  をクリックします。



5. [リンクを挿入] ダイアログボックスで、先ほど作成した RSS フィードアイテムに移動します。
6. [リンク] をクリックしてリンクを作成します。
7. コンテンツエディターで変更を保存します。

RSS フィードをプレビューする

これでNewsアイテムへの RSS フィードが作成できました。これをテストして、適切に動作し希望通りに見えるかどうかを確認します。

RSS フィードをプレビューする手順:

1. コンテンツエディターでNewsアイテムを開きます。
2. [プレゼンテーション] タブをクリックし、[プレビュー] グループで [プレビュー] をクリックします。

RSS フィードが希望の通りに適切に動作することを確認した後に、Web サイトにパブリッシュすることができます。

メモ

行った変更をWeb サイト上に反映させるためには、それらのすべてをパブリッシュする必要があります。

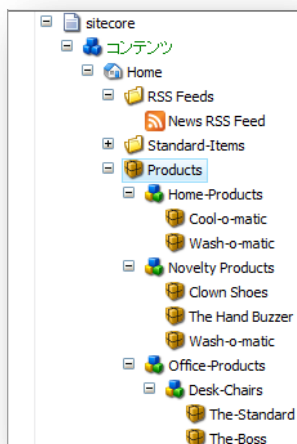
さらに複雑なシナリオ

先述のとおり、サブアイテムが別のテンプレートをもとにしている場合、そのアイテムのそれぞれがフィードでどのように表示されるかを指定する必要があります。そのようなシナリオを考えてみます。

たとえば Web サイトで非常に広範な製品のプロモーションを行うとします。お客様に製品ラインの品揃えの変更に関する最新情報を伝えるために製品ページの RSS フィードを作成するとします。

しかし、これらの製品は異なるカテゴリーに分かれており、Web サイトは別のテンプレートを使用しています。

コンテンツツリーはこのようになっています:



この製品の RSS フィードを作成する手順:

1. コンテンツエディターを開きます。
2. Productsアイテムを選択し、親アイテムであるこのアイテムに RSS フィードを設定します。
3. Productsアイテムで、アイテムをフィードするリンクを挿入します。

4. 製品カテゴリーの 1 つを選択し、[プレゼンテーション]、[デザイン] とクリックし、このアイテムのフィードの表示を構成します。

別の製品カテゴリーが別のテンプレートを使用している場合には、そのそれぞれで構成します。

5. 製品アイテムの 1 つを選択し、[プレゼンテーション]、[デザイン] とクリックし、その個々の製品アイテムのフィードの表示を構成します。

この場合もやはり、別の製品アイテムが別のテンプレートを使用している場合には、そのそれぞれで構成します。

6. Productsアイテムを選択し、[プレビュー] をクリックしてフィードのプレビューを確認します。

7. フィードが適切であることを確認した後に、変更したすべてのアイテムをパブリッシュします。

この RSS フィードはすべての製品カテゴリーアイテムと製品アイテムのリストを日付の順に表示します。



7.1.3 RSS フィードを購読する

ビジターが Web サイトにログオンしたときには容易に RSS フィードを購読することができます。

RSS フィードを購読する手順:

1. Internet Explorer で Web サイトを開きます。

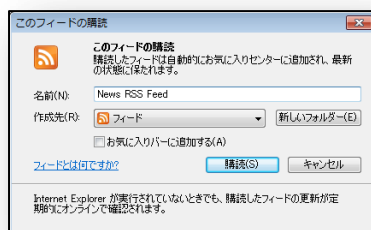
2. RSS フィードを作成したアイテムであるNewsページに移動します。



3. Newsページで [RSS フィードを購読する] リンクをクリックして、RSS フィードを表示する新しいページを開きます。



4. RSS フィードのページで、[このフィードを購読する] をクリックします。



5. [このフィードの購読] ダイアログボックスで、フィードに名前をつけて、それを保存する場所を指定します。
6. [購読] をクリックして、そのフィードをフィードのリストに追加します。
7. これでこのフィードを購読しました。ブラウザを開き、[お気に入り]、[フィード] とクリックし、次に [News RSS Feed] をクリックしてこの Web サイトの News アイテムのすべてのリストが表示されることを確認します。

7.2 Sitecore クライアントフィード

Sitecore にはコンテンツ作成者または Sitecore の他のユーザーが購読できるいくつかのクライアントフィードがあります。

Sitecore には次のクライアントフィードがあります：

- コンテンツアイテムフィード
- ワークフローフィード
- ワークフロー状態フィード

これらのクライアントフィードはそのアイテムに依存し、またワークフローに依存します。

ワークフローについての情報は、Chapter 8の「コンテンツエディターのワークフロー」を参照してください。

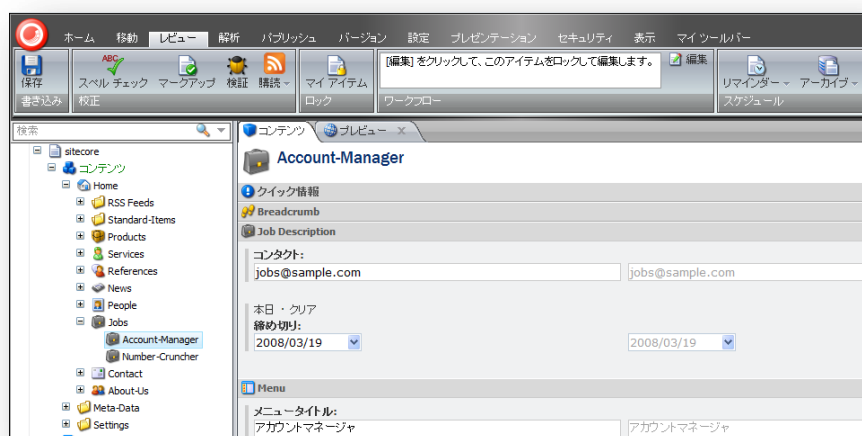
7.2.1 アイテムフィード

Sitecore のアイテムの RSS フィードを購読して、そのアイテムに発生したすべての変更について通知されるようにすることができます。コンテンツエディターのコンテンツツリー上の任意のアイテムのフィードを購読することができます。しかしフィードには、そのアイテムがもとになっているテンプレートがワークフローに従っている場合に有益な情報のみが含まれています。

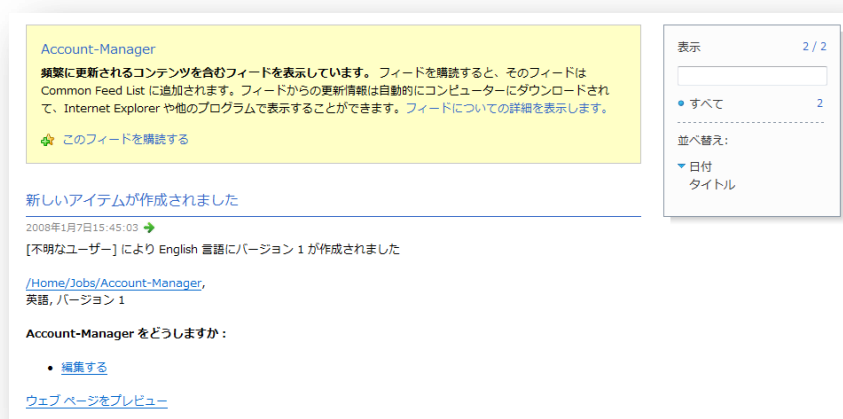
Sitecore のアイテムフィードを購読する手順：

1. コンテンツエディターで対象のアイテムに移動します。

この例では、人事マネージャーとして、求人に関するアイテムのテキストが適正であることを、Web サイトにパブリッシュする前に確認するものとします。したがってその特定のアイテムの RSS フィードを購読します。



2. [レビュー] タブをクリックし、[校正] グループで [購読] をクリックします。



3. 開いた Web ページで [このフィードを購読する] をクリックし、この RSS フィードをお気に入りに追加します。

ご覧のとおり、RSS フィードは現時点ではあまり多くの情報を含んでいません。しかし、コンテンツ作成者がアイテムを編集し、それをワークフローを通して移動させると、フィードにはさらに多くの情報が含まれます。コンテンツ作成者がアイテムを編集すると、新しいバージョンが作成され、下書きワークフロー状態に置かれます。

数日ののち、人事マネージャーは RSS フィードをチェックしようとしていました。

Internet Explorer の [お気に入り] パネルで [フィード] タブをクリックし、次にアイテムのフィードのリンクをクリックします。



この Web ページはアイテムに関するいくつかの情報を含んでいます。これには次のものがあります：

- アイテムの名前
- 現在のワークフロー状態
- そのアイテムのワークフローの履歴
- そのアイテムの新しいバージョンと前のバージョンの相違点を示した表

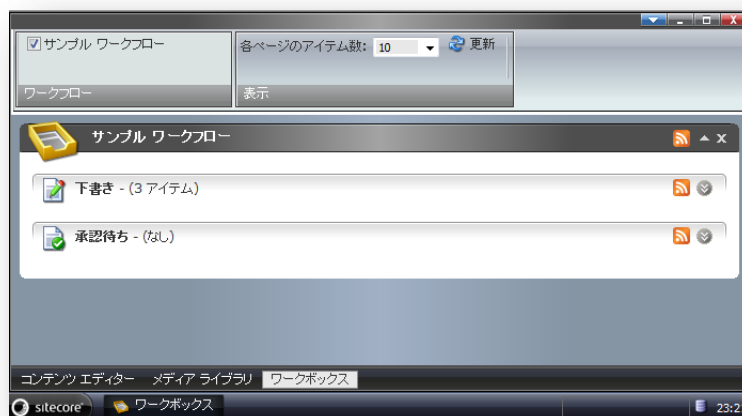
さらに、適切なアクセス権のある場合には、そのアイテムをワークフローに従って進行させるためのいくつかのワークフローコマンドが含まれます。

Sitecore ワークフローフィード

さらに Sitecore は購読可能ないくつかのワークフローフィードを提供します。

ワークフローフィードを購読する手順：

1. ワークボックスを開きます。



2. ワークフローフィードを購読するためには、ワークフローの RSS フィードボタンをクリックします。

このクライアントフィードはワークフロー全体についての最新情報を提供し、ワークフローのすべてのワークフロー状態にアクセス可能なシステム管理者およびスーパーユーザーにとって有益です。



3. ワークフロー状態フィードを購読するためには、ワークフロー状態の[RSS フィード]ボタンをクリックします。

このクライアントフィードはこの特定のワークフロー状態に関する最新情報を提供します。このクライアントフィードは特定のワークフロー状態のみにアクセス可能なコンテンツ作成者と管理者にとって有益です。



RSS フィードを使う

ワークフローフィードを購読すると、その RSS フィードを使用して、アクセス許可をもつタスクを実行することができます。

たとえば、次のフィードを例にとります：

news

2010年11月15日23:46:36 →

Lonnie Limited Content Author User により news アイテムは サンプル ワークフロー ワークフローの 承認待ち ワークフロー状態に移行しました。コメント:

下書き.

[/Home/News/news,](#)
日本語 (日本), バージョン 2

news をどうしますか:

- [承認](#) or [承認 & コメント](#)
- [却下](#) or [却下 & コメント](#)
- [編集する](#)

検証情報:

Warning フィールド "イメージ" には、切れているリンクが含まれています。

エラー アイテム "news" の表示名はすでにこの階層で定義されています。

Version changes:

フィールド タイトル	ひとつ前のバージョン (1)	現在のバージョン (2)
パンくずリストタイトル:	news	News
メニュータイトル:	news	メニュー
タイトル:	news	News
テキスト:	ここにあなたの本文を提供する...	ここにあなたの本文を提供する...

[ウェブ ページをプレビュー](#)

表示 4 / 4

すべて 4

並べ替え:

日付

▲ タイトル

ユーザーは下記のことを行うことができます:

- アイテムを承認または却下します。
- アイテムを承認または却下し、コメントを追加します。
- アイテムを編集します。

[**却下&コメント**]をクリックすると、次のページが表示されます:

却下 Account-Managerにコメントを入力してください:

コメントを入力し、[**却下**] をクリックしてアイテムを前のワークフロー状態に差し戻します。

重要

これらのタスクをログインし直すことなく実行するためには、Sitecore のログインページで [Remember me] チェックボックスをオンにする必要があります。

[Remember me]チェックボックスをオフにした場合、適切なページに移動される前にログインする必要があります。

7.3 セキュリティとクライアント RSS フィード

RSS 技術は RSS リンクを購読しているユーザーが RSS フィードの URL で指定されたアイテムに直接訪れることができるように設計されています。多くの RSS リーダーはユーザー認証をサポートしていません。これは Sitecore のクライアント RSS フィードを購読しているユーザーは RSS フィードの URL で指定されたアイテムに直接アクセスすることが可能であり、RSS フィードを表示する際には Sitecore のセキュリティシステムから認証を求められないということを意味します。しかし Sitecore のセキュリティシステムはクライアントフィードに関連付けられたアクションを行おうとする際にはユーザーが認証されていることを確認します。

もし他人が RSS フィードの URL にアクセスした場合には、次のようになります：

- リンク先を表示することができ、RSS フィードに含まれるすべてのコンテンツを表示できます。これはそのユーザーがこのアイテムへのセキュリティアクセス権限を持っていない場合でも同様です。
- コンテンツ上からアクションを行うことは、一切できません。
- 他のコンテンツを表示することは、一切できません。
- RSS フィードのもとの所有者のユーザー名やパスワードにアクセスすることはできません。
- リンクを変更して他のコンテンツをアクセスすることはできません。

重要

Sitecore ユーザーは RSS フィードを共有するべきではありません。

RSS フィードに関するセキュリティを強化する方法については、『[サイトコアセキュリティ強化ガイド](#)』を参照してください。

Chapter 8

コンテンツエディターのワークフロー

この章ではワークフローを使用して何をするのが可能か、また Sitecore はワークフローをどのように実装しているか、について解説します。またレビュー担当者がアイテムのワークフローを進行させる際に使用するワークボックスについても説明します。

- ワークフロー
- ワークボックス

8.1 ワークフロー

ワークフローは Sitecore でコンテンツアイテムがパブリッシュされるタイミングを制御するために使用できるシステムです。

ワークフローには一連の "状態" を定義することができます。これらの "状態" は、組織内で Web コンテンツを作成するために行われる業務のプロセスと手順を表すものです。たとえば、これらの状態を、コンテンツアイテムが Web サイトにパブリッシュされる前に通過すべき、作成、レビュー、承認の各段階に対応するものとして定義することができます。

ワークフローはこれらのプロセスと手順を順守徹底し、確実に承認されたコンテンツアイテムのみがパブリッシュされるようにするための方法です。

ワークフローはいくつかの異なるワークフロー状態を含むことができ、必要に応じて簡素にも複雑にもすることが可能です。コンテンツアイテムは必ずしも定義されたすべてのワークフロー状態を通過する必要はありません。状態によっては任意選択であったり特定の種類のコンテンツにのみ適用することもできます。

さらに任意の数の異なるワークフローを実装することができます。各ワークフローはワークフロー最終状態として定義されるワークフロー状態を 1 つ持つ必要があります。

コンテンツアイテムはいくつかのワークフロー状態を経由したあと、ワークフロー最終状態に達した場合にのみ、パブリッシュすることができます。

8.1.1 ワークフローを実装する

ワークフローは通常は開発者によって実装されます。しかしコンテンツ作成者にとってもワークフローの構造と実装を理解することは有益です。

ワークフローには Sitecore コンテンツツリーに保存される特別なアイテムがあります。

ワークフローは次のものから構成されます：

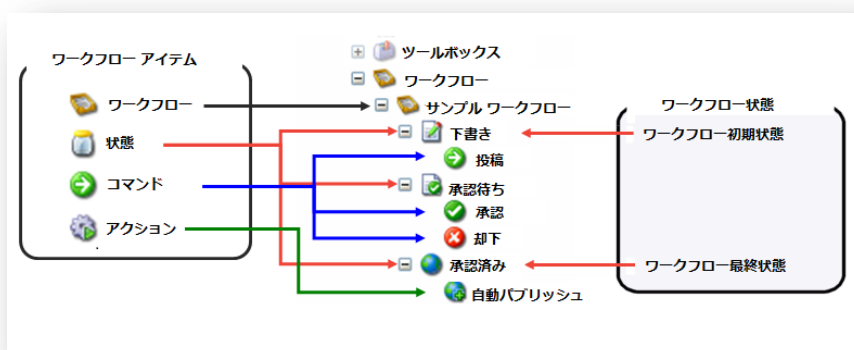
ワークフロー — ワークフローを構成するサブアイテムのすべてを含む、メインのアイテム

ワークフロー状態 — ワークフローの基本的な構成要素ワークフロー状態はコンテンツの作成プロセスの異なる状態を表します。ワークフローに従うコンテンツ アイテムはワークフロー初期状態から開始し、ワークフロー最終状態で終了します。

ワークフローコマンド — コンテンツ アイテムをあるワークフロー状態から別のワークフロー状態に移動するために、さまざまな操作者によって行われるアクション

ワークフローアクション — コンテンツアイテムが特定のワークフロー状態にあるときに、または特定のワークフローコマンドが実行されたときに、コンテンツアイテムに自動的に実行されるアクション

ワークフローの例を下記に示します:



ワークフローが定義された後に開発者はどのアイテムテンプレートがワークフローに従うかを指定します。これが行われると、コンテンツ作成者がそれらのテンプレートをもとにしているコンテンツアイテムを作成または編集する都度、そのコンテンツアイテムはこのワークフローのワークフロー初期状態に送信されます。

重要

コンテンツアイテムはワークフロー最終状態にある場合のみパブリッシュ可能です。

8.1.2 ワークフローを使う

ワークフローが実装された後は、コンテンツ作成者は作成または編集したコンテンツアイテムを、それがパブリッシュされる前に、ワークフローを通じて送信する必要があります。

新しいコンテンツアイテムを作成すると、それは自動的にワークフロー初期状態に配置されます。そのコンテンツアイテムは、それを別のワークフロー状態に移動させるワークフローコマンドが使用されるまで、そのワークフロー初期状態にとどまり続けます。

ワークフローに従う既存のコンテンツアイテムを編集した場合、Sitecore はそのコンテンツアイテムの新しいバージョンを作成し、それをワークフロー初期状態に配置します。そのコンテンツアイテムをあとで再び編集した場合、特に別のバージョンを指定しない限り、ワークフロー上のバージョンを編集することになります。

重要

システム管理者によって編集されたコンテンツアイテムはワークフローに従いません。

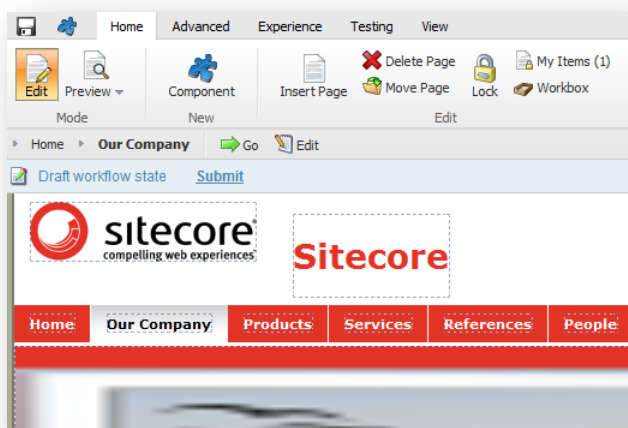
ページエディターでワークフローに沿ってアイテムを移動する

コンテンツアイテムの編集を終了した後、アイテムを次のワークフロー状態に送信することができます。

コンテンツアイテムを次のワークフロー状態に送信する手順:

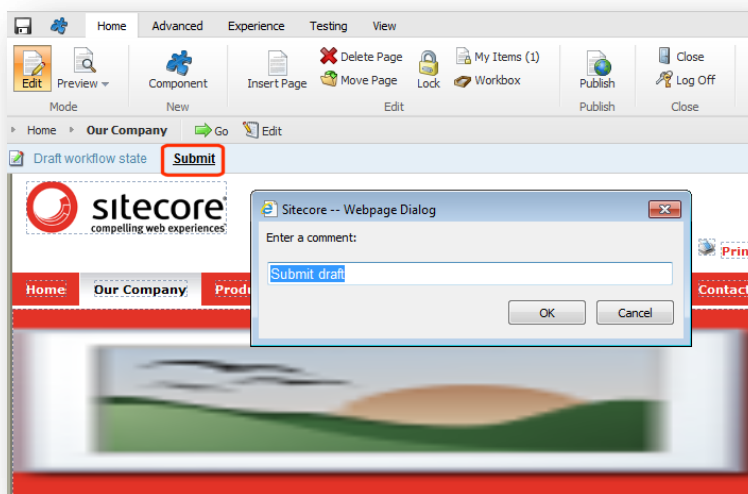
1. ページエディターで、作業するページに移動します。

2. ページを編集して、変更内容を保存します。編集しているページがワークフローの一部である場合は、ページエディターにワークフローコマンドがすべて表示されます。



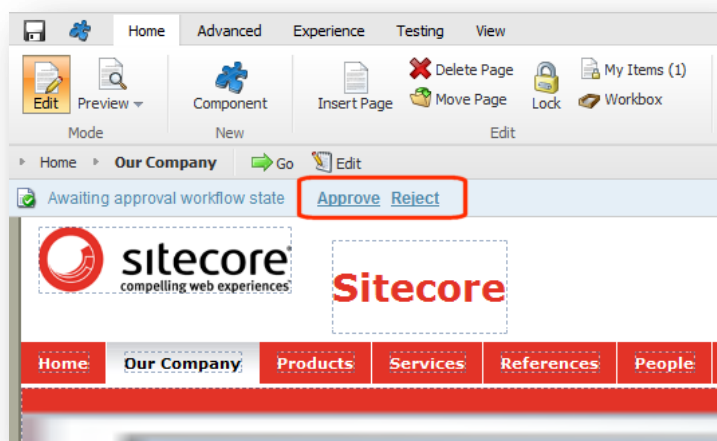
ページエディターでは、通知バーにワークフローコマンド [サブミット] が表示されています。これは、現在のワークフロー状態で現在のページに適用できるただ 1 つのワークフローコマンドです。

3. [サブミット] をクリックして、コンテンツアイテムを次のワークフロー状態に送信します。コメントを入力するダイアログボックスが表示されます。



4. コメントを入力すると、コンテンツアイテムは次のワークフロー状態に移動します。

アイテムの新しい状態を反映して、ページエディターで使用できるワークフローコマンドが変わります。



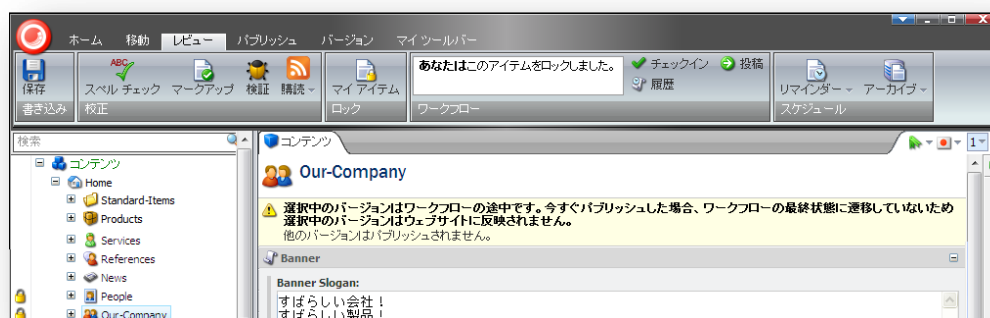
ただし、このワークフロー状態のコンテンツアイテムを編集するためのアクセス許可がない場合は、アイテムを編集のためにロックすることができず、ワークフローコマンドは表示されません。

コンテンツエディターでワークフローに沿ってアイテムを移動する

コンテンツアイテムの編集を終了した後、それを次のワークフロー状態に送信することができます。

コンテンツアイテムを次のワークフロー状態に送信する手順:

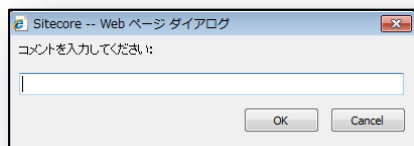
1. コンテンツエディターで編集するコンテンツアイテムを開きます。
2. ワークフローに送信する準備ができれば、[レビュー] タブをクリックします。



ご覧のとおり、[ワークフロー] グループには 1 つのワークフローコマンド [投稿] が表示されています。これは現在のコンテンツアイテムに対してそのワークフロー状態において適用できるただ 1 つのワークフローコマンドです。

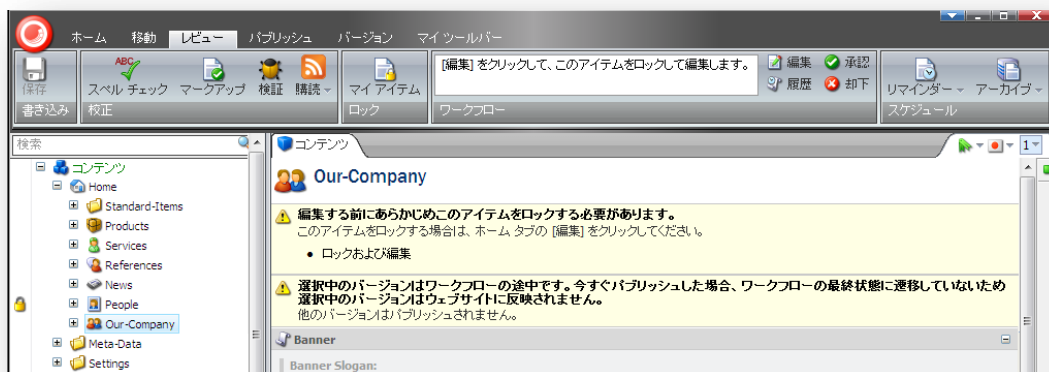
さらに、このコンテンツアイテムはワークフローの最終状態に遷移していないため、パブリッシュすることができないということを知らせるメッセージを表示しています。

3. [投稿] をクリックし、コンテンツアイテムをつぎのワークフロー状態に送信します。コメントを入力するためのダイアログボックスが表示されます:



4. コメントを入力するとコンテンツアイテムは次のワークフロー状態に移動されます。

[ワークフロー] グループで利用できるワークフローコマンドは、アイテムの新しい状態を反映して変化します。



しかしワークフロー状態のコンテンツアイテムを編集するためのアクセス権がない場合には、そのアイテムを編集のためにロックすることができず、ワークフローコマンドは表示されません。

さらに Sitecore にはワークボックスというツールがあります。ワークボックスはレビュー担当者がワークフローにあるすべてのコンテンツアイテムの状況を知るためのツールです。

8.2 ワークボックス

ワークボックスはレビュー担当者と管理者が必要な業務の概況を知ることのできるツールです。

8.2.1 ワークボックスを使用する

コンテンツアイテムをレビューする場合、ワークボックスを使うと現在ワークフローにあるすべてのコンテンツアイテムを参照してそれらがどのワークフロー状態にあるかを知ることができます。

ワークボックスを使用する手順:

1. Sitecore デスクトップにログインします。
2. Sitecore、ワークボックスとクリックします:



ワークボックスでは [サンプルワークフロー] が選択されており、すべての関連するワークフロー状態を参照できます。1 つのコンテンツアイテムが [承認待ち] ワークフロー状態にあります。

3. すべてのワークフロー状態において、各コンテンツアイテムをプレビューしたり、開いたり、比較したりすることができます。またそのワークフロー状態に定義されたワークフローコマンドを適用することができます。

[承認待ち]ワークフロー状態では、レビュー担当者はコンテンツアイテムを承認または却下することができます。

アイテムをプレビューする

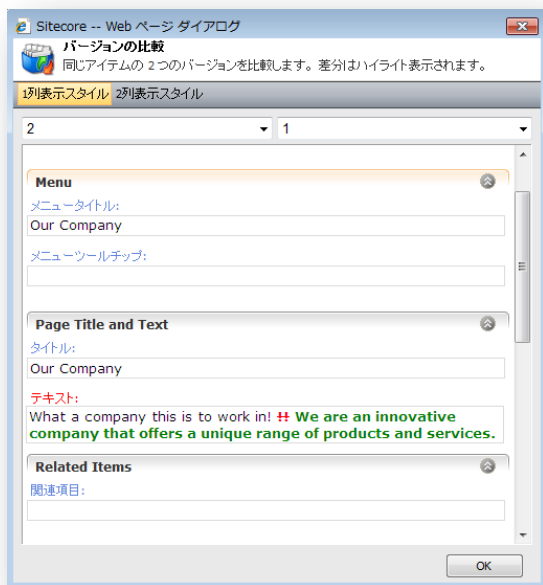
ワークフロー状態にあるコンテンツアイテムのバージョンをプレビューするためには、[プレビュー] をクリックすると、そのアイテムのこのバージョンが新しいブラウザウィンドウに表示されます。

アイテムを開く

コンテンツアイテムを開くには、[開く] をクリックするとアイテムがコンテンツエディターで開きます。

アイテムを比較する

コンテンツアイテムの変更点を確認するためには、[比較を表示する] をクリックします。



[バージョンの比較] ダイアログボックスが開き、アイテムのこのバージョンでの変更点を表示します。どのバージョンを比較するか、また 1 列または 2 列のどちらで表示するかを選択することができます。

アイテムを承認または却下する

コンテンツアイテムをレビューした後、[承認] または [却下] をクリックして適切なワークフロー状態に移動させます。

8.2.2 複数のワークフロー

1 つ以上のワークフローを実装した場合、それらを同時に表示することができます。またはワークボックスで別のワークフローに切り替えることができます。



ワークボックスでワークフローを表示または非表示にするためには、[ワークフロー] グループのチェックボックスをオンまたはオフにします。各ワークフローとワークフロー状態を展開または折りたたむことができます。

Chapter 9

インターフェースのカスタマイズ

Sitecore のインターフェースは変更することが可能です。この章では使用できる画面スペースを拡大し、コンテンツエディターとページエディターのインターフェースをカスタマイズする方法を説明します。Sitecore デスクトップをカスタマイズする方法についても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- ブラウザーを使う
- コンテンツエディターをカスタマイズする
- ページエディターをカスタマイズする

9.1 ブラウザーを使う

Sitecore のインターフェースとプログラムはすべて通常の Web ブラウザーに表示されます。

9.1.1 全画面表示モード

画面上にある多くの要素が邪魔であったり画面の小さなコンピューターを使っている場合などに、編集中の Web ページやアイテムをもっとよく見たい場合には、ブラウザーインターフェースを全画面表示モードにすることで画面を広く使うことができます。

全画面表示モードに切り替えるには、F11を押します。これによってブラウザーウィンドウは画面全体に拡大し、タイトルバー、メニュー、ツールバー、ステータスバーなどのブラウザーのユーザーインターフェースを非表示にします。

非表示となったユーザーインターフェースの一部を使用するには、マウスを画面の上部に移動します。F11 を再度押すと、非表示となったブラウザーユーザーインターフェースを復元し、全画面表示モードを終了します。

9.1.2 Sitecore デスクトップ

Sitecore デスクトップアプリケーションを使用する際には、設定を変更して Sitecore の外見を変更したり、その他の設定をカスタマイズしてニーズに対応することが可能です。

Sitecore デスクトップでは下記のことが可能です：

- デスクトップの背景を変更する。
- パスワードを変更する。
- アプリケーションオプションを変更する。
- 個人情報を変更する。
- 言語設定を変更する。

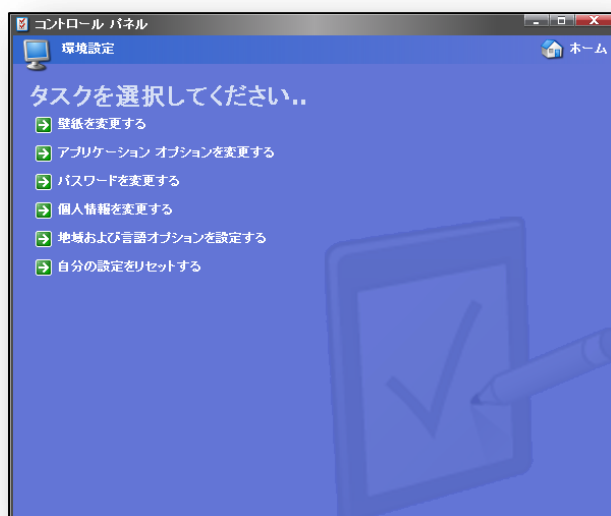
デスクトップの背景を変更する

Sitecore デスクトップにログインしたときにデスクトップの背景として表示される画像を変更することが可能です。

デスクトップの背景を変更する手順：

1. Sitecore デスクトップにログインします。

2. Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。



3. [環境設定] ダイアログボックスで [壁紙を変更する] をクリックします。

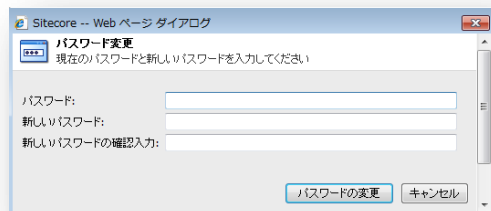


4. [背景] フィールドで使用する画像を選択します。
5. [位置] フィールドでドロップダウン矢印を使用して画像をデスクトップに配置する方法を選択します。
6. [色] フィールドで画像が全画面でない場合に画像の周囲となる色を選択します。

パスワードを変更する

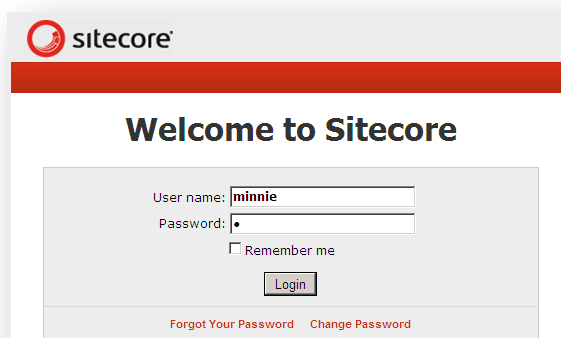
パスワードを変更する手順:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログボックスで [パスワードを変更する] をクリックします。



3. [パスワード変更] ダイアログボックスで現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

または Sitecore のログインページでパスワードを変更することも可能です。

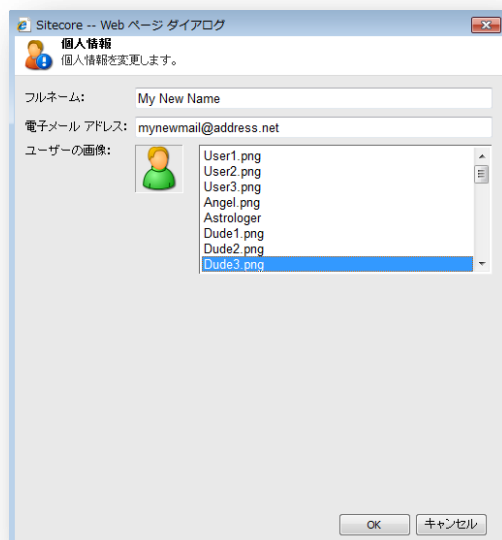


個人情報を変更する

個人情報を変更する手順:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。

2. [環境設定] ダイアログボックスで [個人情報を変更する] をクリックします。

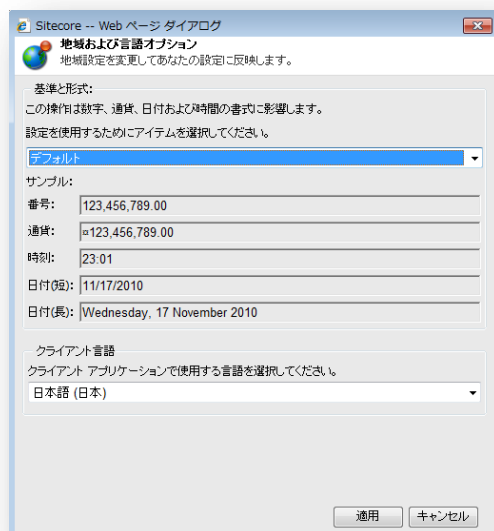


3. [個人情報] ダイアログボックスで、フルネーム、電子メールアドレス、Sitecore で使われるユーザーの画像を変更することができます。

地域および言語オプションを変更する

地域および言語オプションを変更する手順:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログボックスで [地域および言語オプションを設定する] をクリックします。



3. [地域および言語オプション] ダイアログボックスでは次のことが可能です。

- 使用する数字、通貨、日付、時間の書式を選択する。
- クライアントアプリケーションで使用する言語を選択する。

デフォルトの設定を使う

デフォルトの設定を使用する手順:

1. Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。
2. [環境設定] ダイアログボックスで [自分の設定をリセットする] をクリックします。

9.2 コンテンツエディターをカスタマイズする

コンテンツエディターには多くのカスタマイズ可能なユーザーインターフェース要素があります。

たとえば、次の方法によって作業スペースを広げることができます：

- リボンをカスタマイズする。
- コンテンツツリーをカスタマイズする。
- 編集ウィンドウのサイズを変更する。

9.2.1 リボンをカスタマイズする

いくつかの方法でリボンをカスタマイズすることができます。

次のことを行うことが可能です：

- リボンを非表示にする。
- タブを非表示にする。
- 自分用のツールバーを作成する。

リボンを非表示にする

コンテンツエディターのリボンを非表示にする手順：

1. 任意のタブをダブルクリックすると、リボンが非表示になります。



リボンは非表示になりましたが、タブは表示されています。

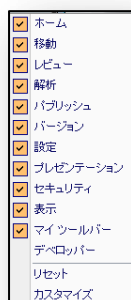
2. タブをクリックしてそのタブを開くと、リボンが表示されます。

タブを非表示にする

コンテンツエディターでどのタブを表示するかを指定することもできます。

タブを非表示にする手順:

1. リボンの任意の場所で右クリックし、ダイアログボックスを開きます。



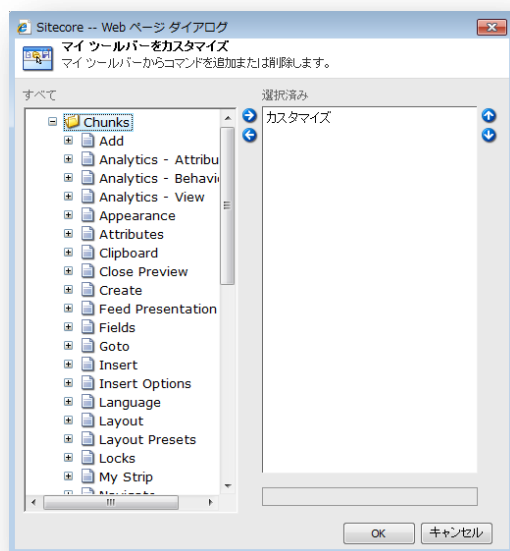
2. チェックボックスをオンまたはオフにして、コンテンツエディターで表示するタブを決定します。
3. デフォルトのタブの選択を復元するためには、[リセット] をクリックします。

自分用のツールバーを作成する

自分が必要なツールと機能だけを含む自分用のツールバーを作成することも可能です。

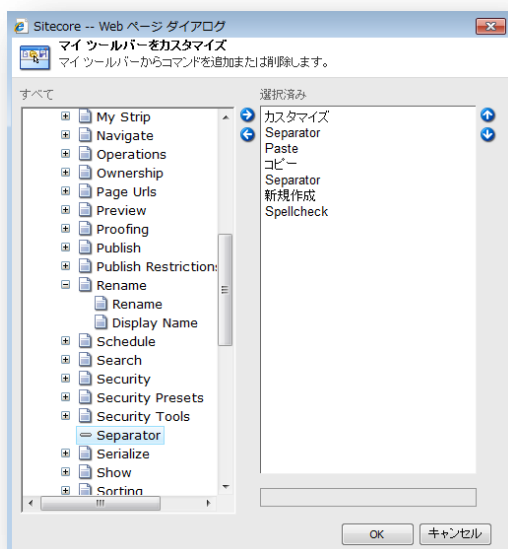
自分用のツールバーを作成する手順:

1. リボンの任意の場所で右クリックし、[カスタマイズ] をクリックして [マイツールバーのカスタマイズ] ダイアログボックスを開きます。



1. [すべて] のウィンドウでグループを展開して、自分のツールバーで必要なコマンドを選択します。

コマンドを選択することが可能ですが、グループを選択することはできません。Separator (間仕切り) を挿入してグループに分割し、上下の矢印を使ってコマンドを希望の順序に配置することが可能です。



2. 終了した後に [OK] をクリックします。
3. リボンで右クリックして [タブ] ダイアログボックスを開き、[マイツールバー] タブを選択します。このタブはリボンに追加され、そこには選択したすべてのコマンドが含まれています。



9.2.2 コンテンツツリーをカスタマイズする

コンテンツエディターでは、コンテンツツリーウィンドウのサイズを変更したり、コンテンツツリー全体を非表示にすることが容易に可能です。

コンテンツツリーを非表示にする

コンテンツツリーを非表示にする手順:

1. コンテンツエディターで [表示] タブをクリックします。



2. [コンテンツツリー] チェックボックスをオフにしてコンテンツツリーを非表示にします。
3. [ツリー全体] チェックボックスをオフにしてコンテンツツリーのルート (Sitecore) とメディアライブラリを非表示にします。このビューによってユーザーは自分の Web サイトのアイテムのみを参照できることになります。
4. [隠しアイテム] チェックボックスをオフにしてコンテンツツリーに表示されているいくつかのシステムアイテムを非表示にします。

他の 2 つの設定、[RAW 値] と [スタンダードフィールド] はシステム管理者向けです。

コンテンツツリーのサイズを変更する

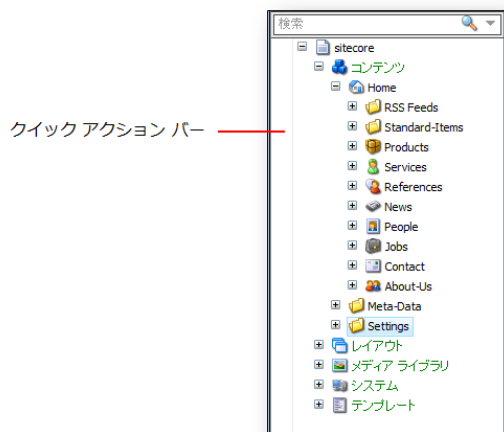
コンテンツツリーのサイズを変更することも可能です。これはアイテムを探す場合やウィンドウが場所をとっている場合に役立ちます。

コンテンツツリーのサイズを変更する手順:

1. コンテンツエディターで、マウスを [コンテンツツリー] と [編集] ウィンドウの間のバーの上に移動します。
2. バーをドラッグして左右に動かし、ウィンドウの要素のサイズを変更します。

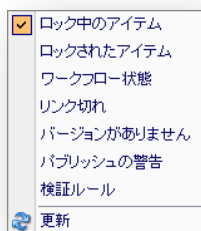
クイックアクションバーを構成する

クイックアクションバーはコンテンツツリーの脇に存在し、コンテンツ作成者やシステム管理者に有益な情報を表示するために使用されます。



クイックアクションバーを構成する手順:

- クイックアクションバーを右クリックすると、表示可能な要素のリストが表示されます。



- メニューのアイテムをクリックし、アイテムの横にアイコンを表示させたり、非表示にしたりします。

次のアイテムを選択することが可能です:

メニューアイテム	内容
ロック中のアイテム	自分がロックしたアイテム。
ロックされたアイテム	他のユーザーによってロックされたアイテムとロックしたユーザー名。
ワークフロー状態	そのアイテムのワークフロー状態。
リンク切れ	リンク切れを含むアイテム。
バージョンがありません	バージョンのないアイテム。
パブリッシュの警告	パブリッシュの警告のあるアイテム。
検証ルール	検証エラーを含むアイテム。

メモ

このメニューで表示されるアイテムは環境によって異なる場合があります。これはSitecore システム管理者によって制御されます。

このオプションはいくつでも選択することが可能です。これらのオプションのそれぞれにはパフォーマンスのオーバーヘッドがかかります。

重要

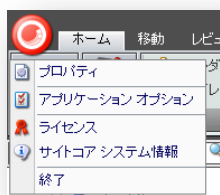
[検証ルール] と [リンク切れ] のオプションはクイックアクションバーのオプションの中で最も負荷の高いものです。コンテンツツリーでアイテムを開く都度、クライアントはこれらのオプションを更新するためにサーバーを呼び出す必要があります。

9.2.3 アプリケーションオプションを変更する

コンテンツエディターを使用する際、コンテンツエディターのアプリケーションのどの要素が表示されるかを指定することができます。

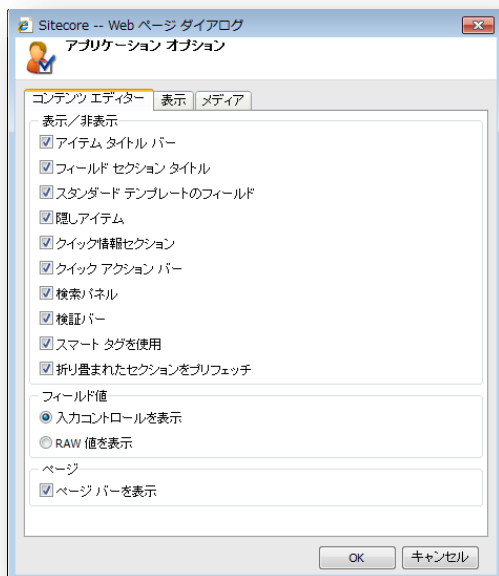
コンテンツエディターを構成する手順:

1. コンテンツエディターで左上隅の Sitecore ボタンをクリックします。



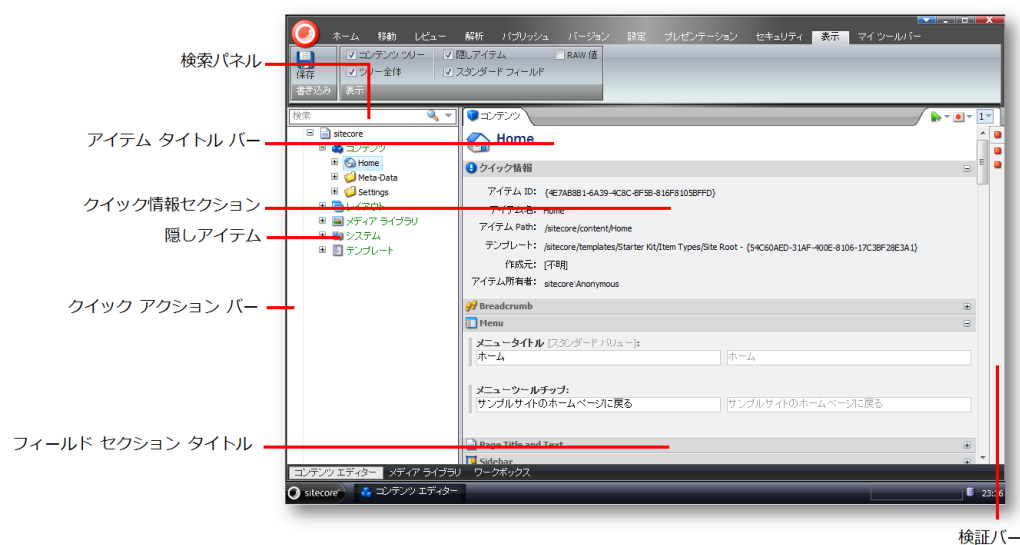
または、Sitecore デスクトップから Sitecore メニューをクリックし、次に [コントロールパネル]、[環境設定] とクリックします。

2. [アプリケーションオプション] をクリックすると、[アプリケーションオプション] ダイアログボックスが開きます。



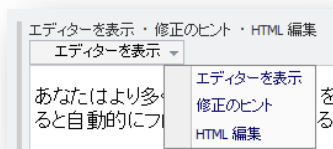
3. チェックボックスをオンまたはオフにして、それらの要素を表示または非表示にします。

次の画面例では、コンテンツエディターでそれぞれの要素がどこにあるかを示しています：



[表示/非表示] セクションのその他の要素には下記のものがあります：

- スタンダードテンプレートのフィールド—このオプションを選択すると Sitecore 内部で使用される多数のフィールドを表示します。それらはパフォーマンスの改善のために非表示になっています。
- スマートタグを使用—フィールドに関連付けられているコマンドを表示するもう 1 つの方法です。



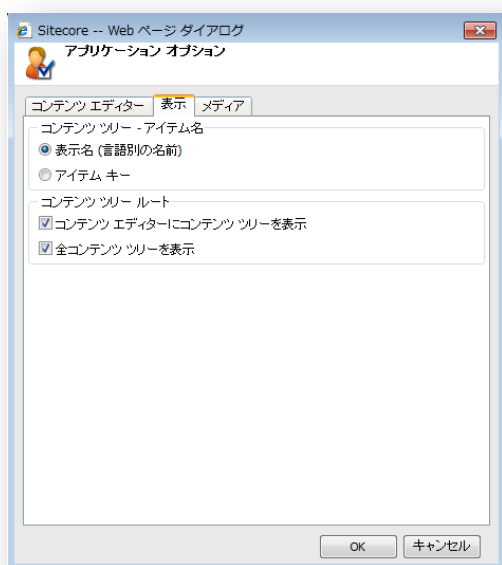
- 折り畳まれたセクションをプリフェッチセクションが開かれる以前にシステムがフィールドセクションからフィールドをフェッチしインメモリに置きます。

[コンテンツエディター] タブの他の重要なオプションは [ページ] セクションの [ページバーを表示] です。

このオプションは Sitecore アプリケーションへのショートカットを画面の最下部に表示するかどうかを指定します。



[アプリケーションオプション] ダイアログボックスの [表示] タブにはもういくつかのオプションがあります。



[コンテンツツリー-アイテム名] セクションでは、コンテンツツリーで、各アイテムがもつキーを表示するか、またはアイテムについて言語特有に命名できる表示名を表示するかを指定します。

[コンテンツツリールート] セクションでは、コンテンツエディターにコンテンツツリーを表示するかどうか、全コンテンツツリーを表示するかどうか、を指定します。

アイテムの表示名を設定する

アイテムの表示名を設定する手順:

1. コンテンツエディターで、コンテンツツリーのアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [表示名] をクリックします。
3. ダイアログボックスが表示されたら、表示する名前を入力します。
4. コンテンツツリーを更新すると、表示名が表示されます。



[コンテンツ] ウィンドウで、表示名のあとにキーが表示されます。

さらに、表示名はパブリッシュされた Web サイトのアイテムにも使用されます。

9.3 ページエディターをカスタマイズする

ページエディターをカスタマイズすることも可能ですが、ページエディターの機能で変更できる部分は限定的です。

9.3.1 リボンを使う

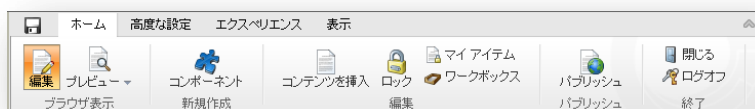
ユーザーがページエディターで利用できる機能はサイト管理者によって割り当てられたロールによって決まります。

リボンを非表示にする

ページエディターのもつ機能に限定的なアクセス権のみをもつ場合、リボンを非表示にして作業スペースを広くとりたい場合があります。

リボンを非表示にする手順:

1. ページエディターにログインします。



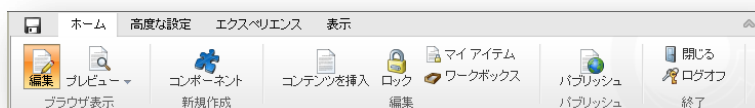
2. 画面の最上部のリボンのトグルボタン▲をクリックしてリボンを非表示にします。
3. リボンが必要な場合には、リボンのトグルボタン▲を再度クリックするとリボンが表示されます。

インターフェースを変更する

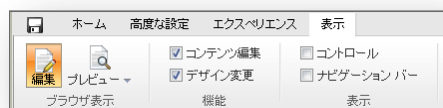
ページエディターのより多くの機能にアクセス権がある場合、編集可能なアイテムをページエディターが表示する方法を変更することができます。

インターフェースを変更する手順:

1. ページエディターにログインします。



2. ページエディターで [表示] タブをクリックします。



3. [表示] タブで:

- ページのテキストを編集するためには、[コンテンツ編集] チェックボックスをオンにします。
- レンダリングとプレースホルダーを編集するためには、[デザイン変更] チェックボックスをオンにします。
- ページ上の選択可能なオブジェクトの外枠線を表示するためには、[コントロール] チェックボックスをオンにします。この機能を使用してページがどのように構成されているかを理解します。
- ナビゲーションバーを表示するためには、[ナビゲーションバー] チェックボックスをオンにします。